

# 豊田厚生病院年報

平成 30 年度

*Toyotakosei Hospital Annual Report 2018*

## 豊田厚生病院理念

私たちはたえず  
新しい医療のあり方を追求し  
優しさと温かさを大切にして  
地域の人たちと共に歩みます



## 基本方針

私たちは、次の基本方針に基づいて患者に適切な医療・保健・福祉サービスを提供します。

1. 公的病院として、地域住民の健康増進・病気の治療と予防に努めます。
2. 患者の権利に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスの提供を行います。
3. 常に医学の進歩に目を向け、人的・設備的な質向上に努めます。
4. 地域の医療機関との緊密な連携を図り、患者中心の地域医療体系の構築に努めます。

## 患者の権利と責任

1. 個人の尊厳  
人格が尊重され人間としての尊厳を守られる権利があります。
2. 平等な医療を受ける権利  
良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
3. 知る権利  
病状・検査・治療について十分な説明を受ける権利があります。
4. 自己決定の権利  
納得できるまで説明を受けた上で、自ら治療方法を選択する権利があります。また、セカンド・オピニオンを求めることができます。
5. プライバシーが守られる権利  
ご自分の情報を承諾なしに第三者に提示されない権利があります。
6. 参加と協同の責任  
患者は、これらの権利を守るため、医療従事者との信頼関係の構築に努め、医療に参加、協力する責任があります。

# 発刊にあたり

豊田厚生病院 病院長 川口 鎮



少子高齢化が急速に進み、医療・介護需要が大きく増加する一方で、社会保障制度の担い手となる労働力人口の減少が大きな問題となっています。また、国債や借入金等の国の借金は1,100兆円を超え、社会保障費の財源を逼迫させています。国は財源確保として消費税増税を本年10月に行いましたが、医療費は基本非課税であり、増税分を加味した診療報酬改定は行われず、病院の負担は益々増加することが予想されます。

国は高齢者が急増する2025年に向けて、地域医療構想や地域包括ケアシステムの構築を進めており、平成30年度の診療報酬改定では、質の高い効率的な医療・介護の整備を促進させています。地域医療構想については、医療圏における医療機能分化、連携に向けた具体的な整備の議論がこれまで以上に進められます。

当院が所在する医療圏においては、2025年頃までは人口が微増すると推測され、高齢化は確実に進行して医療・介護の需要も増加していきますが、社会保障費の抑制政策、地域医療構想の推進、医師・看護師不足、働き方改革への対応など、医療機関を取り巻く環境は益々厳しくなることが想定されます。

こうしたなか、当院は西三河北部医療圏の中核病院として高度医療を提供するとともに、豊田市の市民病院的な役割として地域住民に安全で安心な医療を提供するため、以下の取り組みを行いました。

- ①精度の向上や増加する検査数に対応するため、MRI装置と検体検査分析装置を更新しました。
- ②地域包括ケアシステムの推進に向け、患者の入院及び退院支援・退院調整を円滑に行えるよう入退院支援センターの機能強化を行い、効果を上げています。
- ③効率的な病床運用の検討を進めるとともに、DPC制度（定額報酬算定制度）における標準的な治療を提供するため、クリニカルパスの見直しを実施し、継続しています。
- ④診療報酬改定で7対1入院基本料（患者7人対して看護師1人配置）の施設基準が厳しくなったことから、重症度、医療・看護必要度の維持、適切な入院期間の管理などの対策を実施しました。
- ⑤地元住民への情報発信として、交流館・区民会館での健康講話・健康講座、JAあいち豊田と共催して健康講話・施設見学会などを実施しました。

運営面では、外来は1日当りの患者数は1,296人（前年度1,285人）、1人当りの診療単価は22,491円（前年度20,911円）となりました。入院については、1日当りの患者数は535人（前年度542人）、1人当りの診療単価は74,973円（前年度71,261円）となりました。

外来では、新しいがん治療薬の採用による高額医薬品の使用量増加により単価が上がりました。また、入院でも、手術件数の増加、特に全身麻酔による手術件数が増加して単価が上がったことにより、診療収入としても前年を上回ることができました。

今後も診療機能の更なる向上に加え、病院経営の健全化維持に向けて職員一丸となって取り組むとともに、地域住民の健康増進に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスを提供して参ります。

令和1年12月20日

病院長 川口 鎮



▲平成 30 年度新入職員研修会

2018 年 4 月。豊田厚生病院職員としての基本ルールを学んだ



▲研修医オリエンテーション

2018 年 4 月。豊田厚生病院職員としての基本ルールを学んだ



▲高校生 1 日看護体験学習

2018 年 7 月。87 名の参加があり、スタッフステーションの内側や医薬品などの見学、患者さんの洗髪や足浴のお手伝いを行った



▲子ども医療体験

2018 年 8 月。JA あいち豊田と共催し、ファイバースコープの操作や採血などの医療体験を企画



▲ 厚生連球技大会 ▲

2018 年 9 月。厚生連の全事業所が参加する大会



▲市民公開講座

2018 年 10 月。内分泌・代謝内科および眼科医師による「糖尿病」についての講演等を行った。約 130 名参加



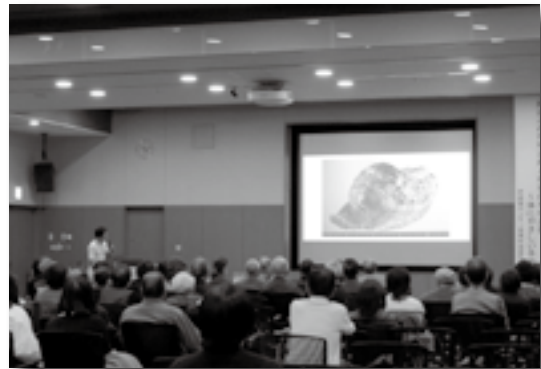
▲近隣小学校への掲示板寄贈

2018 年 10 月。内分泌・代謝内科および眼科医師による「糖尿病」についての講演等を行った。約 130 名参加



▲防災訓練

2018年11月。地域中核災害医療センターとしての体制を確認した



▲がんを考える市民公開講座

2018年12月。呼吸器内科および呼吸器外科医師による「肺がん」についての講演を行った。約80名参加



▲エンタランスコンサート

年4回開催



▲厚生連卓球大会

2019年2月。各種目で多数のメダルを獲得



▲ 愛知メディカルラリー開催 ▲

2019年2月。当院主催で開催。全国から16チームが参加し、迅速で正確な救命技能を競い合った。一般公開も行い、医療者の姿勢を評価して頂く場となった



▲病院機能評価認定更新

2019年3月。4回目の更新となった



▲臨床研修修了証授与式

2019年3月。研修医13名全員について臨床研修修了となった


 豊田厚生病院  
 TOKYOKO KOSHI HOSPITAL

# カモメイト Vol.79

1 2 3 4 5

# 70<sup>th</sup>

特集 豊田厚生病院70周年を迎えて



診療日カレンダー (Clinic days calendar) ● 午後休診 (Afternoon clinic closed) (2018年)

4月	5月	6月	7月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 17 18 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31


 豊田厚生病院  
 TOKYOKO KOSHI HOSPITAL

# カモメイト Vol.80

1 2 3 4 5



特集 心臓および大血管の手術治療

診療日カレンダー (Clinic days calendar) ● 午後休診 (Afternoon clinic closed) (2018年)

8月	9月	10月	11月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31


 豊田厚生病院  
 TOKYOKO KOSHI HOSPITAL

# カモメイト Vol.81

1 2 3 4 5

特集 豊田厚生病院のチーム医療を紹介します!



チームワークで治療にあたります

診療日カレンダー (Clinic days calendar) ● 午後休診 (Afternoon clinic closed) (2018年・2019年)

11月	12月	1月	2月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31


 豊田厚生病院  
 TOKYOKO KOSHI HOSPITAL

# カモメイト Vol.82

1 2 3 4 5

特集 豊田厚生病院でママになろう!



診療日カレンダー (Clinic days calendar) ● 午後休診 (Afternoon clinic closed) (2019年)

2月	3月	4月	5月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

# 目次

豊田厚生病院理念	1
基本方針、患者の権利と責任	2
発刊にあたり	3
主な出来事	4
カモメイト院外版	6
豊田厚生病院概要	9
豊田厚生病院組織図	11
豊田厚生病院会議・委員会組織図	12
医師名簿	13
役付職員名簿	14
職員数	15
平成30年度事業計画	16

## I. 医療実績

1. 診療科別延患者数 及び診療収入	
1) 科別延患者数	21
2) 科別診療収入	22
2. 市町村別利用状況	
1) 市町村別外来利用状況	23
2) 市町村別入院利用状況	24
3. 年齢別利用状況	
1) 年齢別外来利用状況	25
2) 年齢別入院利用状況	25
4. 救命救急センター外来利用状況	
1) 診療科別患者数	26
2) 月別患者数	26
3) 救急車受入状況	27
5. 手術件数	29
6. 分娩数・死亡数・剖検数	30
7. 退院患者統計	
1) 診療科別・月別退院患者数	31
2) 診療科別・死亡退院患者数	31
3) 地域別・年齢階層別退院患者数	32
4) 疾病別・診療科別退院患者数	34
5) 診療科別・在院期間別退院患者数	35
6) 疾病別・在院期間別退院患者数	36
7) 疾病別・年齢階層別退院患者数	37
8) 診療科別疾患順位	39



8. 剖検数	43
9. 臨床研究	44
II. 部署別業務実績	
1. 放射線技術科	49
2. 臨床検査技術科	52
3. リハビリテーション技術科	56
4. 臨床工学技術科	58
5. 栄養科	62
6. 薬剤部	64
7. 看護部	70
8. 医療安全管理部	74
9. 感染制御部	78
10. 地域医療連携課（地域医療連携係）	81
11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）	86
12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）	88
13. 豊田厚生訪問看護ステーション	91
14. 豊田厚生居宅介護支援事業所	94
15. 豊田厚生地域包括支援センター	96
16. 健康管理室	100
III. 職員活動	
1. 研究業績	105
2. 院内研修活動	
1) 全体講演会・全体発表会	130
2) 研修会・勉強会	132
3. 市民講座・市民公開講座（一般市民対象講座）	135
4. 学生実習等受入状況	
1) 実習	138
2) 職場体験・見学	138
IV. 委員会活動	
1. 委員会一覧	141



# 豊田厚生病院概要

平成 31 年 3 月 1 日現在

## ■ 名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

## ■ 所 在 地

〒 470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1  
TEL(0565)43-5000 FAX(0565)43-5100

## ■ 設立年月日

昭和 22 年 5 月 1 日（豊田厚生病院開院 平成 20 年 1 月 1 日）

## ■ 病 床 数

606 床（一般 600 床・感染症 6 床）

## ■ 標榜科目 38 科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、膠原病内科、アレルギー科、緩和ケア内科、精神科、小児科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、臨床検査科、病理診断科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓外科、救急科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、化学療法内科

## ■ 専門外来 38 科

血液内科、膠原病外来、腎臓外来、糖尿病外来、神経内科、小児循環器科、小児神経科、小児血液科、小児アレルギー科、小児外科、ストーマ外来、内分泌外来、もの忘れ外来、肝臓外来、ペースメーカークリニック、血管外科、インプラント外来、助産師外来、アレルギー外来、乳腺外来、婦人科腫瘍外来、禁煙外来、糖尿病フットケア外来、女性専門外来、小児腎臓外来、ボトックス外来、緩和ケア外来、肥満外来、セカンドオピニオン外来、ペインクリニック、胃瘻交換外来、母乳外来、耳鼻いんこう科腫瘍外来、糖尿病療養指導士外来、リウマチ外来、不整脈外来、骨粗鬆症外来、心不全外来

## ■ 関連施設

豊田厚生訪問看護ステーション、豊田厚生地域包括支援センター、豊田厚生居宅介護支援事業所、加茂看護専門学校

## ■ 施設認定

救急告示病院 / 病院群輪番制病院（二次）/ 臨床研修病院（医科）/ 臨床研修病院（歯科）/ エイズ治療協力病院 / 難病医療協力病院 / 地域がん診療連携拠点病院 / 地域中核災害医療センター / 肝疾患専門医療機関 / 救命救急センター / DMA T 指定医療機関 / 地域医療支援病院 / 脳死下臓器提供施設 / 保険医療機関 / 労災保険指定医療機関 / 生活保護法指定医療機関 / 結核医療機関 / 更生・育成医療指定 / 養育医療指定 / 原爆医療指定（一般・認定疾病）/ 第二種感染症指定医療機関 / 全国循環器撮影研究会認定被ばく線量低減推進施設 / 日本栄養療法推進協議会認定 N S T 稼働施設 / マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設 / 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設

## ■ 管理者

病院長	川口 鎮	副院長兼第1診療部長兼保健事業部長	篠田政典	患者相談部長	平松義規
副院長兼第5診療部長兼診療協同部長	鏡味良豊	副院長兼医療安全管理部長兼地域医療福祉連携部長	服部直樹	薬剤部長	三宅芳男
副院長兼第4診療部長兼感染制御部長	岩瀬 豊	副院長兼第3診療部長	久留宮康浩	看護部長	阪口浩美
加茂看護専門学校兼副院長兼第2診療部長	梶田光春	副院長兼臨床研修部長	水野敬輔	事務部長	近藤良夫

## ■ 学会認定

1. 日本内科学会認定医制度教育病院
2. 日本東洋医学会研修施設
3. 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
4. 日本呼吸器学会認定施設
5. 日本高血圧学会専門医認定施設
6. 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
7. 日本循環器学会循環器専門医研修施設
8. 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
9. 日本肝臓学会認定施設
10. 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
11. 日本消化器病学会専門医制度認定施設
12. 日本神経学会専門医制度教育施設
13. 日本認知症学会専門医制度教育施設
14. 日本糖尿病学会認定教育施設
15. 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
16. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
17. 日本甲状腺学会認定専門医施設
18. 日本透析医学会専門医制度認定施設
19. 日本腎臓学会研修施設
20. 日本急性血液浄化学会認定指定施設
21. 日本血液学会認定血液研修施設
22. 日本リウマチ学会教育施設
23. 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
24. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
25. 日本緩和医療学会認定研修施設
26. 日本小児科学会小児科専門医研修施設
27. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関
28. 日本病理学会研修認定施設 B
29. 日本臨床細胞学会教育研修施設
30. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
31. 日本消化器外科学会専門医修練施設
32. 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
33. 呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設
34. 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
35. 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
36. 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
37. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
38. 日本泌尿器科学会専門医教育施設
39. 日本眼科学会専門医制度研修施設
40. 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
41. 日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
42. 日本ペインクリニック学会指定研修施設
43. 日本口腔外科学会認定研修施設
44. 日本整形外科学会専門医制度研修施設
45. 日本手外科学会研修施設
46. 日本形成外科学会認定施設
47. 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
48. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
49. 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
50. 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
51. 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
52. 日本大腸肛門病学会認定施設
53. 日本集中治療医学会専門医研修施設
54. 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
55. 日本胆道学会指導施設
56. 日本女性医学会専門医制度認定研修施設
57. 外科周術期感染管理教育施設
58. 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度 (I&A 制度) 認定施設
59. 日本口腔科学会認定医制度研修施設

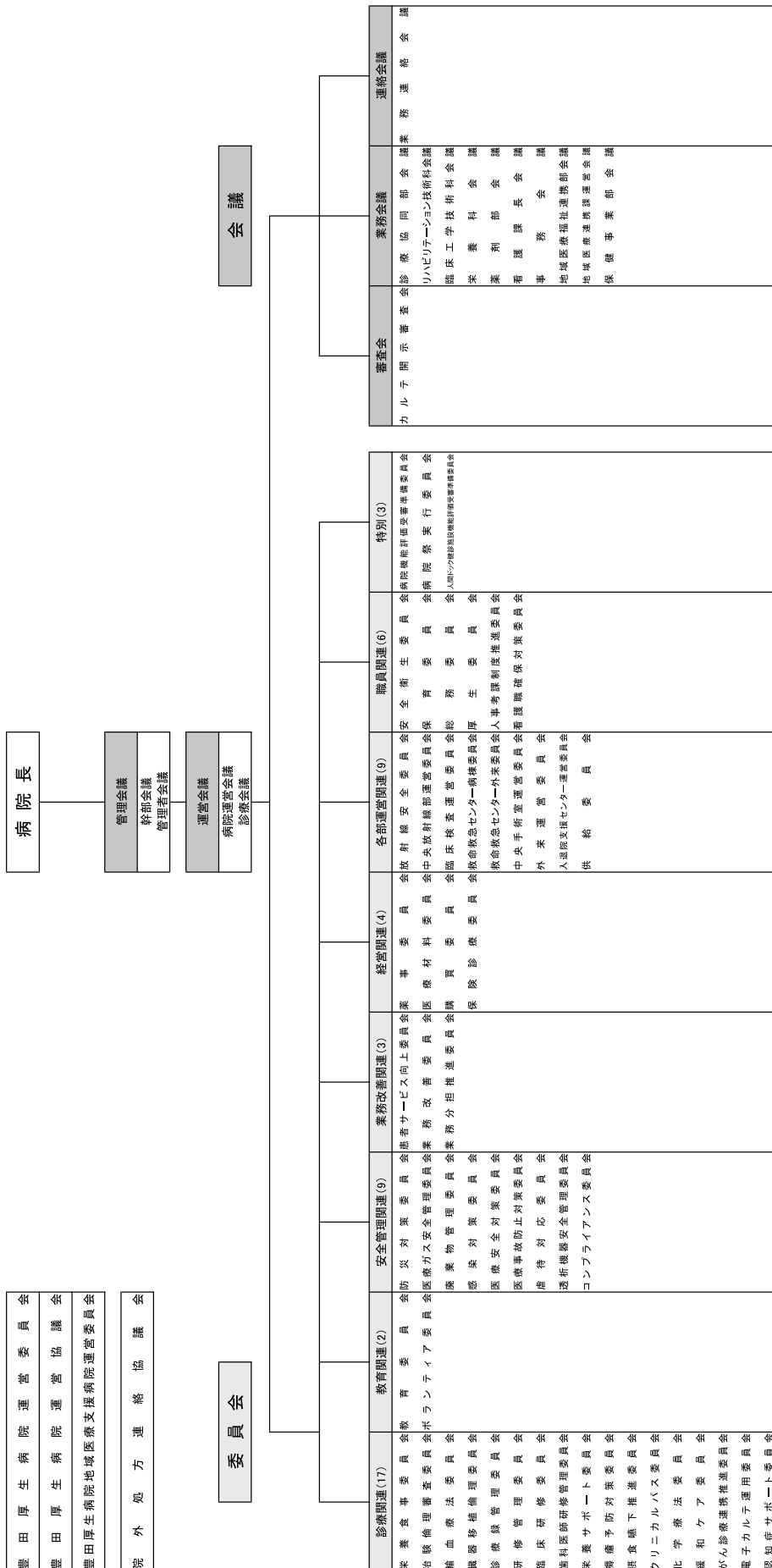
## ■ その他認定

1. 病院機能評価認定病院
2. 卒後臨床研修評価機構 ( J C E P ) 認定病院
3. 人間ドック健診施設機能評価認定病院
4. 医療ひばく低減施設



# 豊田厚生病院 会議・委員会 組織図

平成 31 年 3 月 1 日現在



# 医師名簿

平成 31 年 3 月 1 日現在

職名	診療科	氏名
院長	心臓外科	川口 鎮
副院長兼第5診療部長兼診療部副部長兼消化器センター長兼血液内科代表部長兼化学療法内科代表部長	血液内科	鏡味 良豊
副院長兼第4診療部長兼感染制御部長	泌尿器科	岩瀬 豊
加茂看護専門学校長兼豊田厚生病院副院長兼第2診療部長兼小児科代表部長	小児科	梶田 光春
副院長兼第1診療部長兼健康事業部長兼内科代表部長兼循環器内科代表部長	循環器内科	篠田 政典
副院長兼医療安全管理部長兼地域医療福祉連携部長兼神経内科代表部長	神経内科	服部 直樹
副院長兼第3診療部長兼外科代表部長兼乳腺外科代表部長	外科	久留宮 康浩
副院長兼臨床研修部長兼入院支援センター長兼血管外科代表部長	呼吸器外科	水野 敬輔
患者相談部長兼呼吸器センター長兼呼吸器外科代表部長	呼吸器外科	平松 義規
内分泌・代謝内科代表部長	内科	澤井 喜邦
健康事業部健康管理室長兼消化器内科病棟部長兼化学療法内科代表部長	内科	森田 清
内視鏡センター長兼消化器内科代表部長	内科	都築 智之
呼吸器内科代表部長兼アレルギー科部長	内科	谷川 吉政
血液浄化センター長兼腎臓内科代表部長兼医師臨床研修科代表部長	内科	倉田 久嗣
循環器センター長	内科	金子 鎮二
総合内科代表部長	内科	西本 泰浩
膠原病内科代表部長	内科	水野 伸宏
消化器内視鏡部長	内科	竹内 淳史
呼吸器内科病棟部長兼アレルギー科病棟部長	内科	青山 昌広
神経内科科部長	内科	伊藤 瑞規
呼吸器外科病棟部長	外科	岡阪 敏樹
血液内科病棟部長	内科	平賀 潤二
内分泌・代謝内科病棟部長	内科	大藤 大也
循環器内科科部長	内科	窪田 龍二
循環器内科 C C U 部長	内科	大橋 大器
神経内科科部長	内科	富田 稔
総合内科病棟医長	内科	鈴木 誓子
総合内科科医長	内科	渡口 賢隆
循環器内科科医長	内科	藤田 雅也
呼吸器内科科医長	内科	高嶋 浩司
消化器内科科医長	内科	松井 健一
循環器内科科医員	内科	豊 陽祐
医員	内科	吉岡 知輝
医員	内科	重本 絵実
医員	内科	渡邊 令奈
医員	内科	鈴木 淳也
医員	内科	鈴木 奈瑠子
医員	内科	渡邊 裕樹
医員	内科	二村 圭祐
医員	内科	牛嶋 太
医員	内科	鈴木 伯征
医員	内科	赤塚 和寛
医員	内科	佐藤 直和
医員	内科	松尾 悠志
専攻医	内科	足立 健太郎
専攻医	内科	堀 仁美
専攻医	内科	松葉 剛彦
専攻医	内科	豊島 創
専攻医	内科	伊藤 亮太
専攻医	内科	白井 義憲
専攻医	内科	田中 かずみ
専攻医	内科	林 雅
専攻医	内科	堀 貴洋
専攻医	内科	森 悠
専攻医	内科	安田 司
専攻医	内科	石川 稜恭
専攻医	内科	久納 光皓
専攻医	内科	豊田 絢恵
専攻医	内科	平岩 厚佑
顧問	内科	金山 均
顧問	内科	西村 大作
緩和ケア内科代表部長	緩和ケア内科	村松 雅人
精神科代表部長	精神科	前川 和範
医員	精神科	渡邊 周一
小児科病棟部長	小児科	生駒 雅信
医員	小児科	辻 元基
医員	小児科	宮城島 萌
専攻医	小児科	鈴木 大路
医員	放射線科	竹下 祥敬
放射線診断科代表部長	放射線診断科	松田 謙
放射線診断科核医学部長	放射線診断科	中村 篤史
病理診断科代表部長	病理診断科	成田 道彦
組織診断管理部長	病理診断科	氏平 伸子
呼吸器外科病棟部長	呼吸器外科	岡阪 敏樹
医員	呼吸器外科	渡邊 裕樹

職名	診療科	氏名
医療安全管理部医療安全管理室長(代表部長待遇)兼外科外部部長	外科	世古口 英
中央手術科代表部長兼消化器外科部長	外科	菅原 元
上部消化器外科部長	外科	井上 昌也
医員	外科	秋田 直宏
医員	外科	鳥居 直矢
医員	外科	蟹江 恭和
専攻医	外科	佐久間 政宜
専攻医	外科	稲田 亘佑
専攻医	外科	関本 晃裕
専攻医	外科	竹内 健司
専攻医	外科	今村 由人
脳神経外科代表部長	脳神経外科	立花 栄二
脳神経外科病棟部長	脳神経外科	住友 正樹
脳神経外科外来医長	脳神経外科	圓谷 幹夫
脳神経外科病棟医長	脳神経外科	松田 彰乃
専攻医	脳神経外科	深谷 宜史
心臓外科代表部長	心臓外科	荒木 善盛
医員	心臓外科	寺田 貴史
医員	心臓外科	小林 明裕
救命救急センター長兼救急科代表部長	救急科	小林 修一
救急科外来部長	救急科	畑田 剛
泌尿器科代表部長	泌尿器科	橋本 良博
泌尿器科病棟部長	泌尿器科	金本 一洋
泌尿器科内視鏡部長	泌尿器科	宇佐美 雅之
眼科代表部長	眼科	山田 麻里
医員	眼科	平原 修一郎
医員	眼科	富安 胤太
耳鼻咽喉科代表部長	耳鼻咽喉科	大野 伸晃
医員	耳鼻咽喉科	南方 寿哉
専攻医	耳鼻咽喉科	角谷 尚悟
専攻医	耳鼻咽喉科	加藤 弘恵
専攻医	耳鼻咽喉科	藤田 祐弥
麻酔科代表部長	麻酔科	上原 博和
ペインクリニック外来部長	麻酔科	小島 康裕
医員	麻酔科	太田 祐介
医員	麻酔科	長橋 究
専攻医	麻酔科	床本 光弘
専攻医	麻酔科	伊藤 雅人
専攻医	麻酔科	酒井 博生
歯科口腔外科代表部長兼歯科医師臨床研修科代表部長	歯科口腔外科	兼子 隆次
歯科口腔外科医長	歯科口腔外科	宇佐見 一公
医員	歯科口腔外科	河合 孝真
医員	歯科口腔外科	望月 大真
リハビリテーション科代表部長兼整形外科病棟部長	整形外科	稲垣 弘進
リウマチ科部長	整形外科	金山 康秀
脊椎外科科部長	整形外科	辻 太一
整形外科外来部長	整形外科	二村 尚久
専攻医	整形外科	長田 直祥
専攻医	整形外科	足立 維
専攻医	整形外科	館 寛人
専攻医	整形外科	杉本 遼介
専攻医	整形外科	等々力 一徳
形成外科代表部長	形成外科	川端 明子
専攻医	形成外科	水野 玲子
専攻医	形成外科	茂木 公佑
皮膚科代表部長	皮膚科	鈴木 伸吾
皮膚科外来部長	皮膚科	足立 秀樹
専攻医	皮膚科	吉川 真人
産婦人科代表部長	産婦人科	針山 由美
産婦人科病棟部長	産婦人科	新城 加奈子
医員	産婦人科	山本 靖子
医員	産婦人科	安井 裕子
専攻医	産婦人科	神谷 知都世

研修医(2年次)		
稲掛 優介	櫛谷 香菜子	中野 泉
岩本 和馬	近藤 大也	水野 幸奈
緒方 諒仁	高原 里奈	今井 絵利華
岡本 彩	玉腰 丈博	榮枝 幸紀
長田 祥子	長井 伸	
研修医(1年次)		
伊藤 怜花	馬場 万里子	竹中 徳子
榎本 さやか	川口 大地	佐藤 萌美
金屋 歳三	蜂谷 慶	長野 愛矢
川瀬 貴久	櫻井 礼子	前田 健登
呉山 菜梨	長 ちひろ	加藤 聡美

# 役付職員名簿

平成 31 年 3 月 1 日現在

## ◆放射線技術科

技師長	小澤 功
課長	廣瀬 宜孝
係長	羽根田 武男
技師長	小西 哲也
課長	伊藤 友彰
係長	近藤 千晃
技師長	松本 真明
課長	松下 喜敬
係長	村山 和宏
技師長	深田 真司

## ◆臨床検査技術科

技師長	中根 生弥
課長	高嶋 幹代
係長	田中 浩一
技師長	長坂 日登美
課長	鈴木 梢
係長	木村 有里
技師長	三澤 千鶴
課長	山田 幸司
係長	永田 篤志
技師長	下竹 美由紀

## ◆ICB<sup>®</sup>リテーション技術科

技師長	板倉 美佳
課長	稲吉 美枝
係長	濱井 均
技師長	佐藤 太亮
課長	岩附 史明
係長	吹留 理香

## ◆臨床工学技術科

技師長	中前 健二
課長	兵藤 好行
係長	沖島 正幸
技師長	井上 宏隆

## ◆栄養科

技師長	岩田 弘幸
課長	小林 憲司
係長	江口 真奈美
技師長	岩本 拓郎

## ◆薬剤部

部長	三宅 芳男
室長	祢宜田 和正
課長	井上 健
係長	中村 治彦
技師長	佐々木 英雄
課長	間瀬 悟
係長	各務 さとみ
技師長	植松 さゆ子
課長	中尾 圭介

## ◆看護部

看護部長	阪口 浩美
副看護部長	富川 由佳里
課長	富中 京子
係長	横山 浩子
技師長	館向 幸子
課長	黒川 延代
係長	杉山 和美
技師長	棟 古橋 美直子
課長	棟 安藤 愛子
係長	棟 福田 郁栄
技師長	棟 西森 陽子
課長	棟 伊藤 知晴
係長	棟 勝野 知子
技師長	棟 下野 京子
課長	棟 伊藤 久美子
係長	棟 中野 智子
技師長	棟 藤野 久美子
課長	棟 井口 多恵子
係長	棟 河合 千恵子
救命救急センター	杉浦 薫
内視鏡センター兼血液浄化センター兼放射線科	丹羽 孝寿
入退院支援センター	林 真千子
中央手術室	藤井 緑
看護管理課	上杉 留里子
係長	浅井 陽子
技師長	池田 秀子
課長	渡辺 かおる
係長	神藤 清美
技師長	牧 知香子
課長	渡部 志保
係長	米澤 康子
技師長	三田 洋希
課長	関 幸子
係長	伊藤 真由美
技師長	鈴木 尚子
課長	加納 千津子
係長	加藤 敏子
技師長	吉野 佐知子
課長	山内 悦子
係長	日比野 千裕
技師長	伊藤 千代美
課長	山本 かおり
係長	杉浦 公重
技師長	古野 幸司
課長	岩屋 奈央子
係長	田中 めぐみ
技師長	石川 雅恵
課長	梅村 育代
係長	塚本 浩子
技師長	武藤 聡恵
課長	齋藤 靖子
係長	小野田 結花
技師長	村井 奈津子
課長	梶原 佳代子
係長	伊藤 美幸
技師長	吉田 栄里
課長	藤原 民智代
係長	松本 早苗
技師長	安藤 真理子
課長	中王子 美保
係長	三宅 敦子
技師長	岩村 さより
課長	佐藤 修秀
看護管理課	櫛田 千景

## ◆医療安全管理部

課長	浅野 真奈美
係長	加藤 昭子

## ◆事務部

部長	近藤 良夫
企画室長	浅岡 一公
事務管理室長	加藤 信也
医事課長	安藤 理恵
総務課長	池田 真紀
企画係長	熊澤 喬士
医療情報係長	神谷 公江
診療情報係長	澤木 勇士
医事第1係長	近藤 慎哉
医事第2係長	金田 麻美
庶務係長	織田 ちずる
経理係長	河合 啓行
保育主任	飯田 香澄
施設係長	大藪 宏樹
エネルギーセンター課長	近藤 隼

## ◆地域医療連携課

課長	一柳 容子
係長	原 明子
技師長	森 めぐみ

## ◆医療福祉相談課

係長	杉村 龍也
----	-------

## ◆訪問看護ステーション

係長	伊藤美由起
----	-------

## ◆居宅介護支援事業所

係長	清水 浩子
----	-------

## ◆地域包括支援センター

主担当	小林 宏美
-----	-------

## ◆健康管理室

課長	深田 英樹
係長	浦野美和子



# 職員数

平成 31 年 3 月 1 日現在

職種		年度	平成 30 年度	平成 29 年度	備考	
常勤職員	医師		169	166	研修医 26 名含む	
	薬剤師		38	39		
	診療放射線技師		34	33		
	臨床検査技師		50	51		
	理学療法士		22	20		
	作業療法士		7	7		
	言語聴覚士		4	3		
	管理栄養士		13	10	栄養士	
	臨床工学技士		14	13		
	ソーシャルワーカー		13	12		
	歯科衛生士		4	4		
	その他		6	6	臨床心理士・視能訓練士	
	小 計		205	198		
	看護部門	保健師		5	4	
		助産師		20	21	
		看護師		605	624	
		准看護師		6	7	
		看護助手		55	60	
		小 計		691	716	
	その他	事務員		113	115	
協助部門補助			6	6	検査科・放射線科補助等	
管理技術者			31	32	ボイラ技士、保育士、調理師等	
管理補助者			16	18	調理員等	
合 計			166	171		
合 計		1,231	1,251			
非常勤職員	医師		66	68		
	看護部門		59	62	看護助手含む	
	その他		41	35		
	合 計		166	165		
総 合 計		1,397	1,416			



# 平成 30 年度事業計画

## 1. 環境認識

少子高齢化が急速に進行し、医療を取り巻く環境の大きな変化に直面している。都道府県では地域医療構想が策定される中、各医療圏ごとで地域医療構想の実現に向けての具体的な議論が進められている。西三河北部医療圏では2025年までは人口は増加するが、65歳以上の増加率が高く高齢化が急速に進む医療圏と認識されている。この地域では医療需要の高い年齢層が増加していくことで医療・介護の需要はさらなる増加が見込まれている。

当院は救急救命センターを有し、国指定の地域がん診療連携拠点病院の指定を受ける「地域の中核病院」として、高度急性期・急性期医療を担い、豊田市の市民病院的な役割を果たすとともに、地域医療支援病院として回復期・慢性期を担う医療機関や診療所等との連携を進めることが求められている。

また、当該医療圏は広大なへき地対象地域を抱えているため、医療従事者の確保や適切な救急搬送計画の推進が求められている。

## 2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）

西三河北部医療圏の基幹病院として、救命救急センター機能、がん診療機能を軸に高度医療機能を有する「高機能病院」としての役割を果たし、圏域内完結の高度急性期・急性期医療を提供していく。地域医療支援病院として紹介・逆紹介率の保持・推進を通じて地域の医療機関・診療所との連携を強化する中で、重症患者・救急患者を積極的に受け入れ、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての機能を果たしていく。

また、公的医療機関として地域住民に信頼される病院を目指し、豊田市の市民病院的な役割を果たすとともに、地域医療の中核となる病院を目指す。

## 3. 重点事項と実施目標

### （1）診療機能の充実

- ①救急医療・集中治療体制の充実（豊田・尾三消防本署および各分署との連携強化、救急車受け入れの増加（特に昼間）、救急車不応需の更なる減少への取り組み、ICU・HCUの効率的運用の構築、特定集中治療室管理料1の検討）
- ②がん医療の充実（がん医療関連の各職種専門資格の取得推進、通院治療センター機能の効率的運用、地域がん診療連携拠点病院の機能向上、地域がん診療連携拠点病院更新）
- ③看護体制の充実（7対1入院基本料の安定的な運用、適切な病棟運用（病床再編））
- ④医療提供体制の充実（ISO15189の受審ならびに国際標準検査管理加算の取得準備、治験業務の院内体制の拡充、高額医療機器の更新稼動、手術室の効率的な運用、術前検査センターの充実、入院センターの検討、持参薬管理体制の検討、医師事務作業補助者の外来配置、業務の適正・最適化、次期電子カルテ更新に向けた取り組み、診療放射線技師による日当直2人体制稼動）

### （2）医療の質、安全強化

- ①医療の質の向上（手術室専従薬剤師業務の検討、クオリティインディケーター活用の検討、薬物治療管理の検討、病棟薬剤業務の充実、栄養サポート（栄養指導）体制の強化、病院機能評価の更新、

クリニカルパスの適正化)

②医療安全の充実（医療安全研修の実施、インシデント・アクシデントの重要事例からのラウンド実施、コンプライアンスの周知徹底）

③資格取得の推進（認定・専門資格取得の推進（全職種）、論文・学会発表の推進）

### （3）地域との連携強化

①地域医療連携の強化（行政・地元医師会・薬剤師会・各医療機関などとの連携強化、地域連携パスの推進、地域医療従事者への研修会等の開催、紹介・逆紹介の推進）

②地域団体・住民との連携強化（地元J Aとの連携継続（料理教室等）、民間がん患者支援団体との連携）

### （4）保健事業

①保健事業の充実（健診コースの内容ならびに価格見直しの検討、専任医師の確保、健診業務の拡大）

### （5）福祉・介護事業

①在宅医療・介護の推進（訪問看護利用者の拡大、在宅療養支援の推進）

②地域包括ケアシステムへの参画（豊田地域密着型包括支援ネットワーク会議に参画、豊田市成年後見センター運営委員会に参画、地域のケアマネとの関わり強化（介護支援連携指導料増））

### （6）経営管理

①経営の安定（収入増加・費用削減に向けた取り組み、適正な査定率に向けた分析と取り組み、経営戦略会議の実施）

②マンパワーの充実（業務量・育成・人件費・加算等を含めた適切な人材確保、研修医の確保、看護師の離職防止）

③患者サービスの向上（患者アンケート結果の効率的な運用、患者満足度向上に向けた事業参加）

④D P Cデータに基づく運用改善（D P C分析ソフトの活用、ヒアリング・会議での活用、ベッドコントロールの効率的な運用の確立）

⑤新たな施設基準の検討（新たな施設基準取得に向けた検討、平成30年度診療報酬改定への対応）

### （7）その他

①新専門医制度への対応（基幹病院・協力病院としての体制確立）

②広報活動の充実（ホームページの充実、市民公開講座の開催、カモメイトの効率的な利用、地域への医療講演会開催）



# I 医療実績

---



# 1. 診療科別延患者数及び診療収入

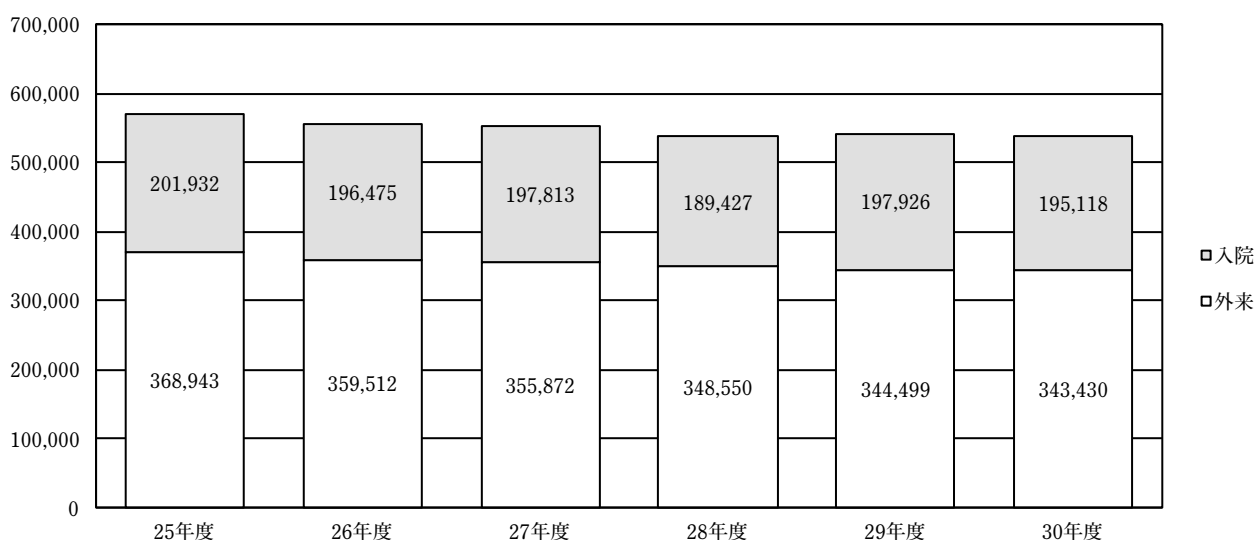
診療日数 外来：265日 入院：365日

## 1) 科別延患者数

(単位：人)

診療科	外来			入院		
	29年度	30年度	前年対比	29年度	30年度	前年対比
内科	130,085	132,294	101.7%	102,659	102,146	99.5%
精神科	7,903	8,362	105.8%	—	—	—
小児科	14,793	14,489	97.9%	4,926	5,245	106.5%
外科	23,862	23,284	97.6%	24,830	25,417	102.4%
整形外科	36,673	34,348	93.7%	20,824	17,906	86.0%
形成外科	8,294	7,808	94.1%	1,620	1,742	107.5%
脳神経外科	8,344	8,314	99.6%	10,637	9,905	93.1%
呼吸器外科	2,114	2,143	101.4%	3,015	3,412	113.2%
心臓外科	2,670	2,860	107.1%	3,195	2,557	80.0%
皮膚科	20,251	19,952	98.5%	1,918	1,967	102.6%
泌尿器科	19,135	19,397	101.4%	6,273	6,350	101.2%
産婦人科	17,350	17,943	103.4%	7,185	7,376	102.7%
眼科	14,724	12,821	87.1%	2,545	2,742	107.7%
耳鼻咽喉科	18,418	18,632	101.2%	4,946	5,138	103.9%
放射線科	4,444	4,554	102.5%	—	—	—
麻酔科	2,105	2,111	100.3%	14	36	257.1%
歯科口腔外科	13,334	14,118	105.9%	3,339	3,179	95.2%
合計	344,499	343,430	99.7%	197,926	195,118	98.6%
一日平均	1,290	1,296	100.4%	542	535	98.6%

## 年度別延患者数 (人)

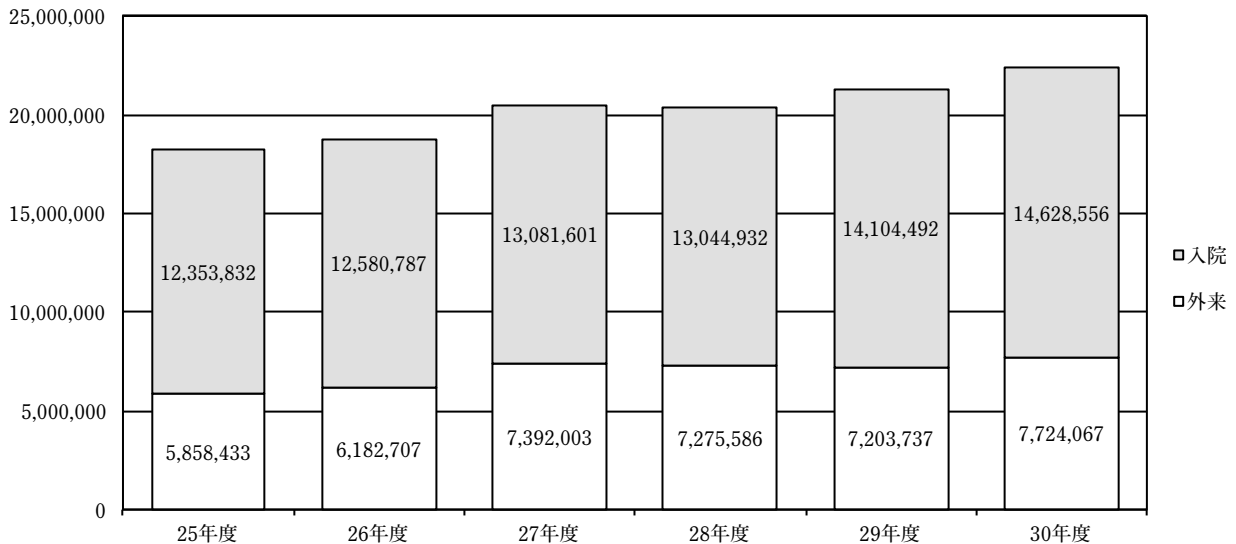


診療日数 外来：265日 入院：365日

2) 科別診療収入

(単位：千円)

診療科	外来			入院		
	29年度	30年度	前年対比	29年度	30年度	前年対比
内科	3,753,466	4,075,149	108.6%	6,775,160	7,048,367	104.0%
精神科	75,488	81,416	107.9%	—	—	—
小児科	250,975	218,873	87.2%	270,122	307,119	113.7%
外科	819,254	846,196	103.3%	1,970,890	2,084,989	105.8%
整形外科	554,293	576,522	104.0%	1,417,451	1,465,624	103.4%
形成外科	60,223	61,114	101.5%	114,601	117,137	102.2%
脳神経外科	145,683	139,732	95.9%	785,420	773,155	98.4%
呼吸器外科	107,837	123,421	114.5%	374,230	394,198	105.3%
心臓外科	25,222	31,817	126.1%	589,903	521,284	88.4%
皮膚科	141,835	154,091	108.6%	78,268	84,770	108.3%
泌尿器科	482,823	554,043	114.8%	396,564	411,730	103.8%
産婦人科	169,360	216,629	127.9%	604,489	641,660	106.1%
眼科	165,567	180,997	109.3%	211,245	236,413	111.9%
耳鼻咽喉科	225,258	225,549	100.1%	344,430	358,897	104.2%
麻酔科	87,825	90,628	103.2%	—	0	—
放射線科	16,736	16,076	96.1%	769	4,124	536.4%
歯科口腔外科	121,890	131,812	108.1%	170,950	179,091	104.8%
合計	7,203,737	7,724,067	107.2%	14,104,492	14,628,556	103.7%



年度別診療収入 (千円)

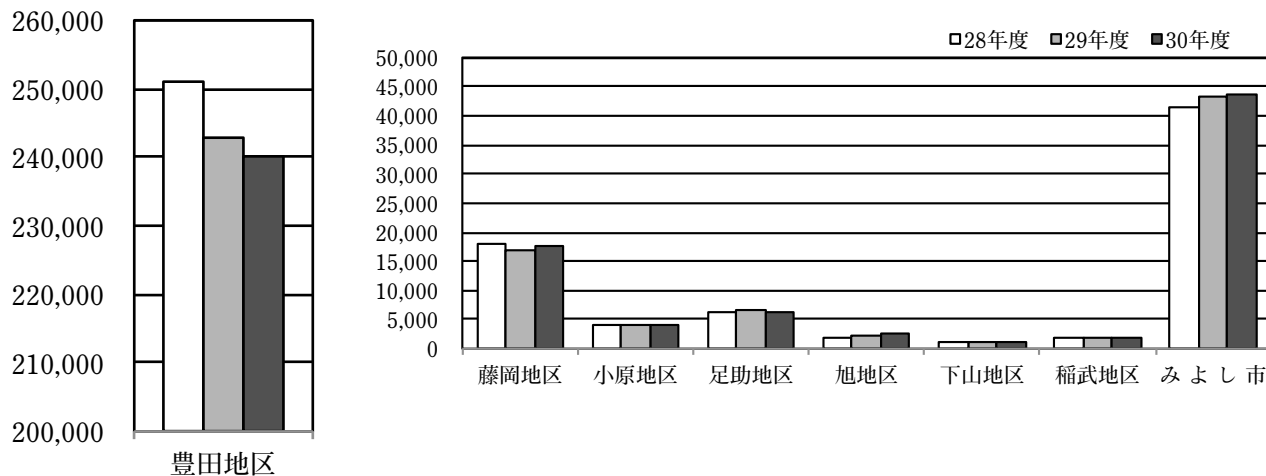
## 2. 市町村別利用状況

### 1) 市町村別外来利用状況（延患者数）

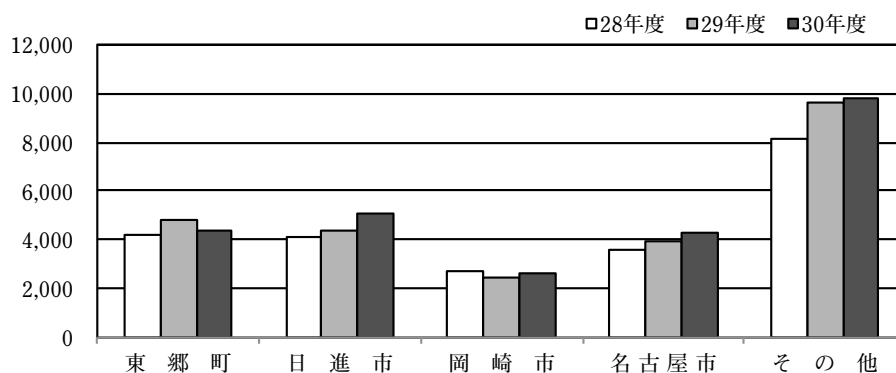
（単位：人）

市町村名		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
西三河北部医療圏	豊田市全域	284,271	81.6%	275,804	80.1%	273,562	79.7%
	*豊田地区	251,068	72.3%	243,001	70.8%	240,263	70.0%
	*藤岡地区	17,972	5.1%	16,816	4.9%	17,508	5.1%
	*小原地区	4,058	1.2%	4,186	1.2%	3,920	1.1%
	*足助地区	6,133	1.6%	6,700	2.0%	6,250	1.8%
	*旭地区	2,002	0.6%	2,115	0.6%	2,639	0.8%
	*下山地区	1,177	0.3%	1,057	0.3%	1,149	0.3%
	*稲武地区	1,861	0.5%	1,929	0.6%	1,833	0.5%
	みよし市	41,580	11.7%	43,445	12.7%	43,682	12.7%
小 計	325,851	93.3%	319,249	92.7%	317,244	92.4%	
東 郷 町	4,210	1.2%	4,793	1.4%	4,394	1.3%	
日 進 市	4,108	1.2%	4,372	1.3%	5,060	1.5%	
岡 崎 市	2,679	0.7%	2,492	0.7%	2,653	0.8%	
名 古 屋 市	3,554	1.0%	3,955	1.2%	4,297	1.3%	
そ の 他	8,148	2.6%	9,638	2.8%	9,782	2.8%	
小 計	22,699	6.7%	25,250	7.4%	26,186	7.6%	
合 計	348,550	100.0%	344,499	100.0%	343,430	100.0%	

西三河北部医療圏の外来患者数（人）



西三河北部医療圏以外の外来患者数（人）



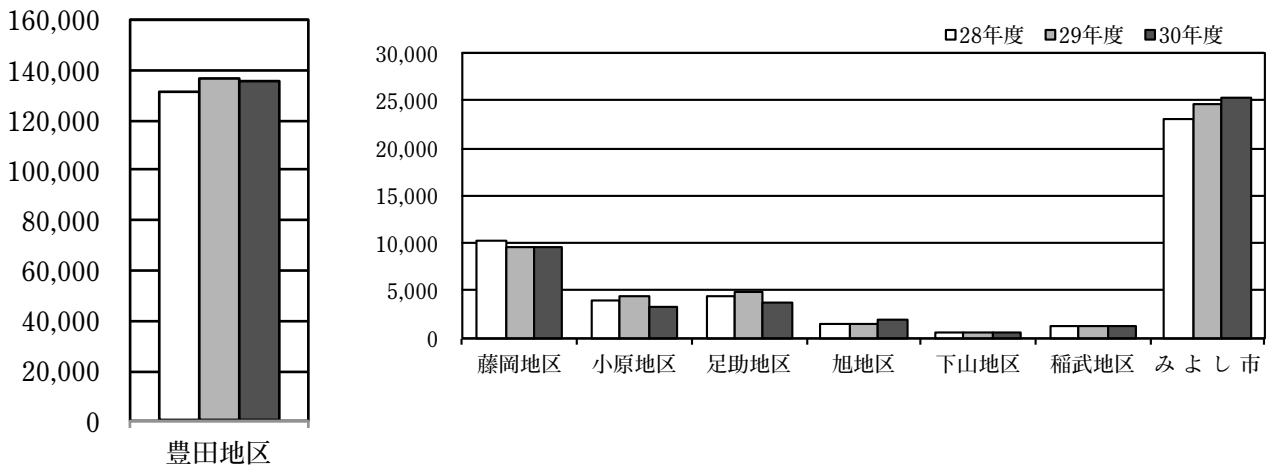


2) 市町村別入院利用状況 (延患者数)

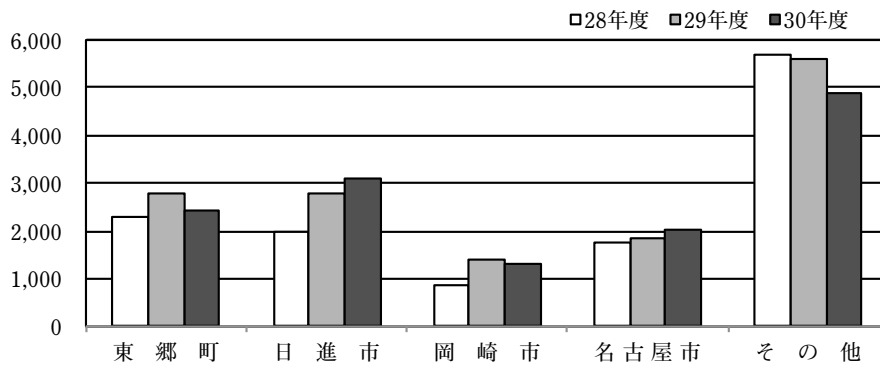
(単位:人)

市町村名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	
西三河北部医療圏	豊田市全域	153,709	82.2%	158,958	81.5%	156,127	80.0%
	*豊田地区	131,497	70.6%	136,197	69.8%	135,635	69.5%
	*藤岡地区	10,242	5.6%	9,673	5.0%	9,602	4.9%
	*小原地区	4,086	1.9%	4,543	2.3%	3,367	1.7%
	*足助地区	4,365	2.0%	4,898	2.5%	3,793	1.9%
	*旭地区	1,532	0.9%	1,626	0.8%	1,896	1.0%
	*下山地区	607	0.3%	692	0.4%	520	0.3%
	*稲武地区	1,380	1.0%	1,329	0.7%	1,314	0.7%
	みよし市	23,119	10.9%	24,523	12.6%	25,227	12.9%
小計	176,828	93.1%	183,481	94.0%	181,354	92.9%	
東郷町	2,309	1.2%	2,784	1.4%	2,426	1.2%	
日進市	1,965	1.4%	2,790	1.4%	3,108	1.6%	
岡崎市	845	0.5%	1,407	0.7%	1,305	0.7%	
名古屋市	1,776	0.9%	1,846	0.9%	2,022	1.0%	
その他	5,704	3.0%	5,618	2.9%	4,903	2.5%	
小計	12,599	6.9%	14,445	7.4%	13,764	7.1%	
合計	189,427	100.0%	197,926	100.0%	195,118	100.0%	

西三河北部医療圏の入院患者数 (人)



西三河北部医療圏以外の入院患者数 (人)

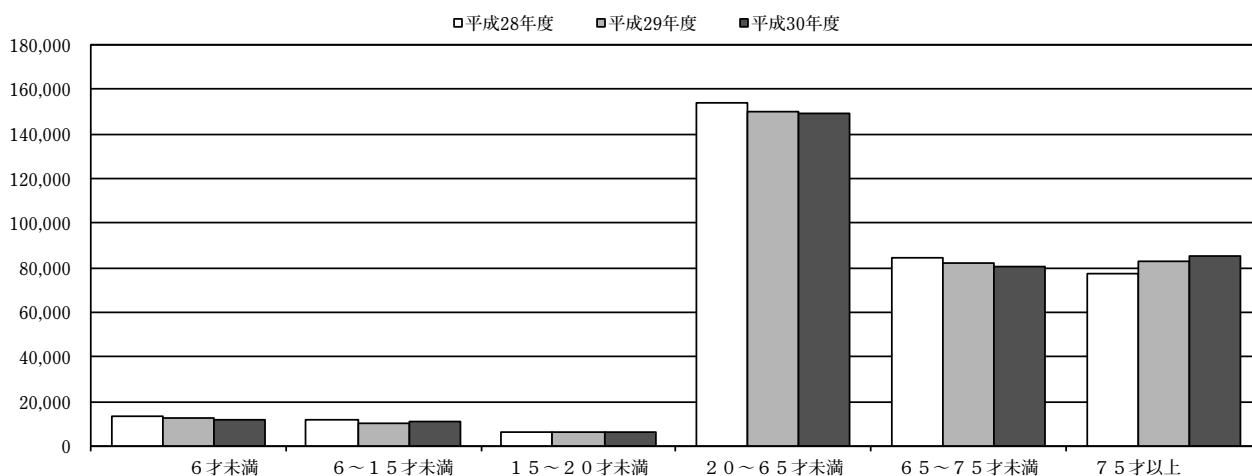


### 3. 年齢別利用状況

#### 1) 年齢別外来利用状況 (延患者数)

(単位：人)

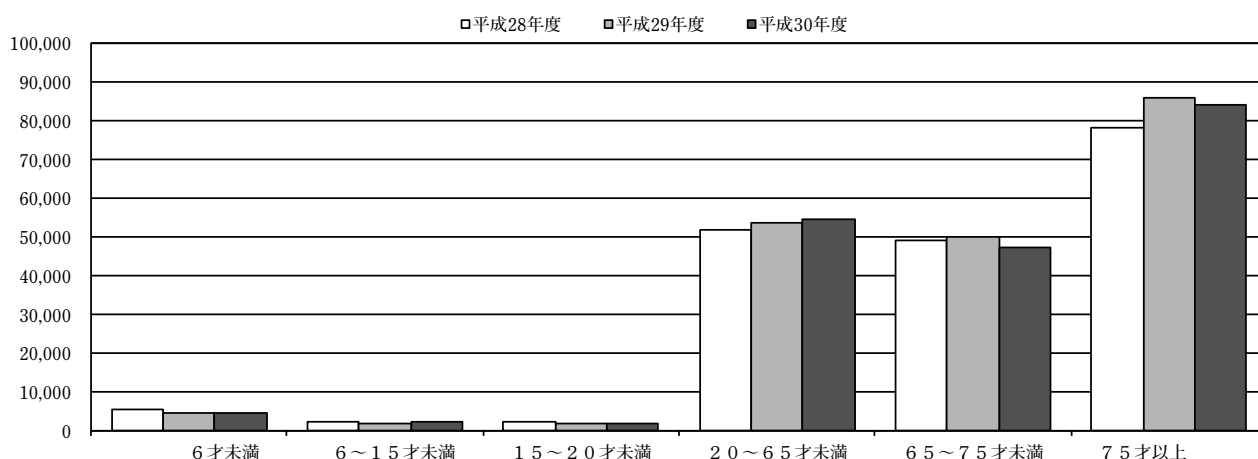
年齢	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	13,667	3.9%	12,518	3.6%	11,842	3.4%
6～15才未満	11,770	3.4%	10,449	3.0%	10,781	3.1%
15～20才未満	6,686	1.9%	6,238	1.8%	6,379	1.9%
20～65才未満	154,071	44.2%	150,200	43.6%	149,031	43.4%
65～75才未満	84,878	24.4%	82,063	23.8%	80,371	23.4%
75才以上	77,478	22.2%	83,031	24.1%	85,026	24.8%
合計	348,550	100.0%	344,499	100.0%	343,430	100.0%



#### 2) 年齢別入院利用状況 (延患者数)

(単位：人)

年齢	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	5,433	2.9%	4,457	2.3%	4,487	2.3%
6～15才未満	2,550	1.3%	1,966	1.0%	2,447	1.3%
15～20才未満	2,156	1.1%	1,946	1.0%	2,008	1.0%
20～65才未満	52,072	27.5%	53,600	27.1%	54,406	27.9%
65～75才未満	49,216	26.0%	49,835	25.2%	47,505	24.3%
75才以上	78,000	41.2%	86,122	43.5%	84,265	43.2%
合計	189,427	100.0%	197,926	100.0%	195,118	100.0%



## 4. 救命救急センター外来利用状況

### 1) 診療科別患者数

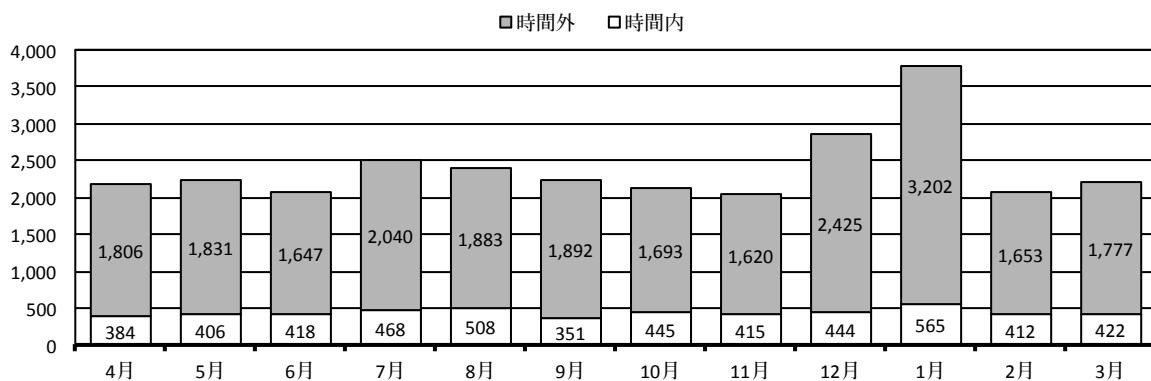
(単位：人)

診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直			
			延患者数	入院 (再掲)	延患者数	入院 (再掲)		
内科	2,815	1,004	3,236	583	7,459	1,456	10,695	13,510
精神科	12	0	8	0	29	0	37	49
小児科	430	50	1,179	122	3,041	335	4,220	4,650
外科	171	111	158	60	458	271	616	787
整形外科	742	125	911	83	1,737	139	2,648	3,390
形成外科	168	2	184	0	509	3	693	861
脳神経外科	345	104	293	66	717	138	1,010	1,355
呼吸器外科	7	4	19	3	22	17	41	48
心臓外科	4	3	8	4	12	6	20	24
皮膚科	104	12	252	18	576	24	828	932
泌尿器科	173	25	231	24	649	56	880	1,053
産婦人科	44	6	94	11	160	25	254	298
眼科	24	0	91	0	165	0	256	280
耳鼻咽喉科	173	8	346	18	722	45	1,068	1,241
麻酔科	1	0	0	0	10	0	10	11
歯科口腔外科	25	1	43	0	150	1	193	218
合計	5,238	1,455	7,053	992	16,416	2,516	23,469	28,707
前年度	5,165	1,414	7,022	932	16,367	2,457	23,389	28,554
前年対比	101.4%	102.9%	100.4%	106.4%	100.3%	102.4%	100.3%	100.5%

### 2) 月別患者数

(単位：人)

年月日	時間内		時間外				時間外 合計	合計	
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直				
			延患者数	入院 (再掲)	延患者数	入院 (再掲)			
H30年	4月	384	115	525	70	1,281	180	1,806	2,190
	5月	406	112	529	82	1,302	226	1,831	2,237
	6月	418	125	419	74	1,228	196	1,647	2,065
	7月	468	118	521	87	1,519	219	2,040	2,508
	8月	508	130	458	74	1,425	222	1,883	2,391
	9月	351	96	654	100	1,238	197	1,892	2,243
	10月	445	124	430	72	1,263	231	1,693	2,138
	11月	415	127	461	66	1,159	213	1,620	2,035
	12月	444	140	919	97	1,506	213	2,425	2,869
H31年	1月	565	114	1,167	99	2,035	243	3,202	3,767
	2月	412	130	453	80	1,200	171	1,653	2,065
	3月	422	124	517	91	1,260	205	1,777	2,199
合計	5,238	1,455	7,053	992	16,416	2,516	23,469	28,707	



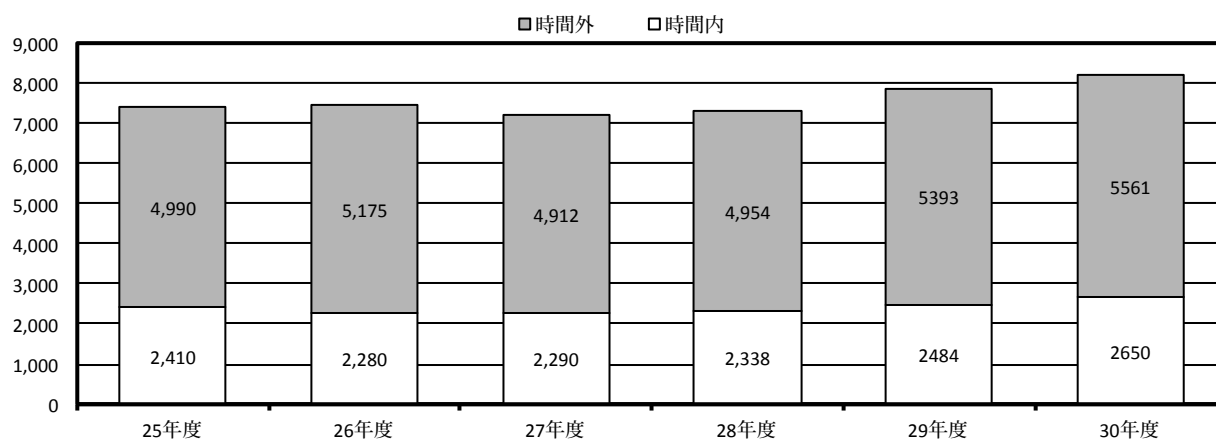


### 3) 救急車受入状況

#### ①救急車受入数推移

(単位:人)

年度	時間内	時間外	総数	前年度比
25年度	2,410	4,990	7,400	99.8%
26年度	2,280	5,175	7,455	100.7%
27年度	2,290	4,912	7,202	96.7%
28年度	2,338	4,954	7,292	101.2%
29年度	2,484	5,393	7,877	108.0%
30年度	2,650	5,561	8,211	104.2%



#### ②診療科別救急車受入数

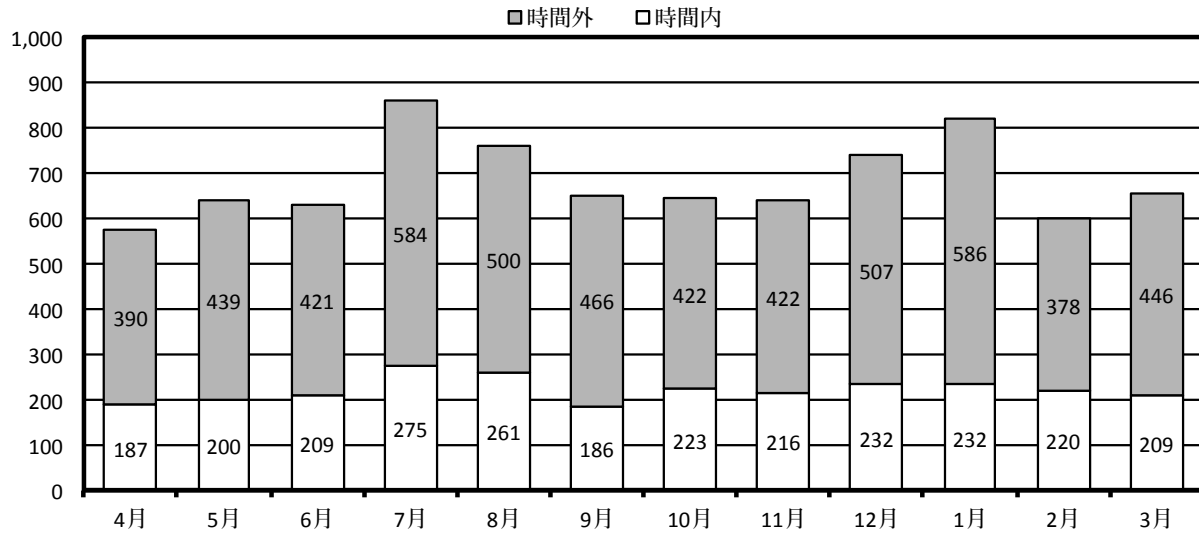
(単位:人)

診療科	時間内		時間外				時間外合計	合計
	延患者数	入院(再掲)	日直		当直			
			延患者数	入院(再掲)	延患者数	入院(再掲)		
内科	1,548	781	661	314	2,431	938	3,092	4,640
精神科	3	0	2	0	10	0	12	15
小児科	90	22	62	25	295	97	357	447
外科	100	79	32	23	159	122	191	291
整形外科	448	120	226	58	560	115	786	1,234
形成外科	48	2	24	0	77	3	101	149
脳神経外科	206	98	108	47	315	118	423	629
呼吸器外科	4	3	2	2	12	11	14	18
心臓外科	3	2	3	3	7	5	10	13
皮膚科	18	8	13	4	43	13	56	74
泌尿器科	67	14	24	8	160	33	184	251
産婦人科	14	2	7	1	27	13	34	48
眼科	6	0	3	0	8	0	11	17
耳鼻咽喉科	90	6	43	7	230	22	273	363
麻酔科	0	0	0	0	1	0	1	1
歯科口腔外科	5	0	4	0	12	0	16	21
合計	2,650	1,137	1,214	492	4,347	1,490	5,561	8,211
前年度	2,484	1,071	1,269	483	4,124	1,468	5,393	7,877
前年対比	106.7%	106.2%	95.7%	101.9%	105.4%	101.5%	103.1%	104.2%

③月別救急車受入数

(単位：人)

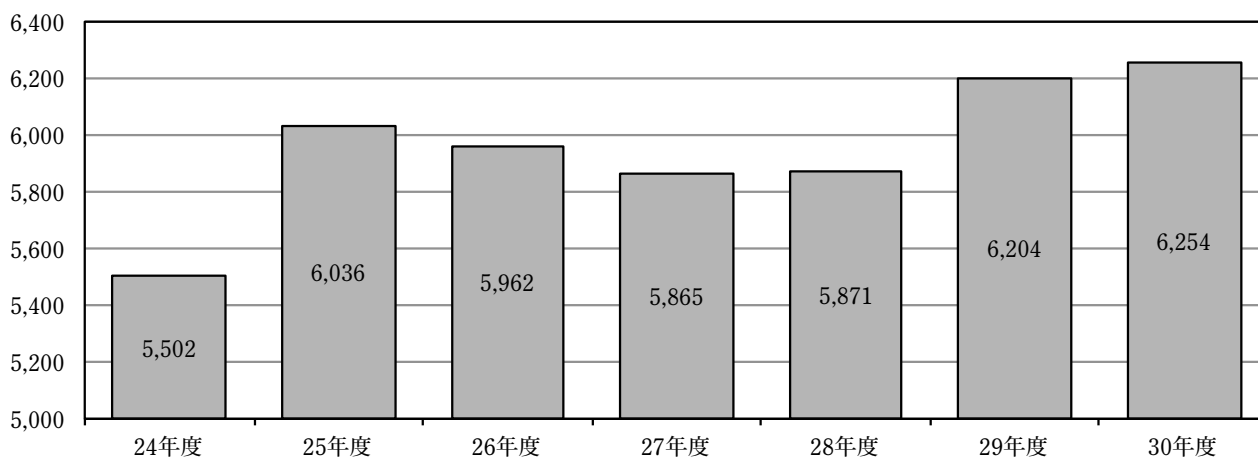
年月日	時間内		時間外				時間外 合計	合計	
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直				
			延患者数	入院 (再掲)	延患者数	入院 (再掲)			
H30年	4月	187	90	94	41	296	98	390	577
	5月	200	89	88	43	351	136	439	639
	6月	209	93	82	29	339	112	421	630
	7月	275	96	125	50	459	132	584	859
	8月	261	103	92	34	408	137	500	761
	9月	186	76	115	45	351	114	466	652
	10月	223	97	78	35	344	133	422	645
	11月	216	96	106	34	316	120	422	638
H31年	12月	232	114	123	45	384	131	507	739
	1月	232	90	140	63	446	152	586	818
	2月	220	105	82	34	296	102	378	598
合計	2,650	1,137	1,214	492	4,347	1,490	5,561	8,211	



## 5. 手術件数

診療科	29年度		30年度	
	件数	緊急（再掲）	件数	緊急（再掲）
内科	87	3	106	8
外科	1,505	324	1,470	318
整形外科	1,193	250	1,167	177
形成外科	330	9	337	6
脳神経外科	296	146	233	120
呼吸器外科	216	9	205	11
心臓外科	114	22	108	20
皮膚科	28	0	23	0
泌尿器科	362	4	308	4
産婦人科	567	53	569	65
眼科	934	17	1,144	29
耳鼻咽喉科	323	18	363	15
歯科口腔外科	236	2	208	0
麻酔科	13	2	13	1
合計	6,204	859	6,254	774

□手術件数



## 6. 分娩数・死亡数・剖検数

(単位：人)

区分	29年度		30年度		
	当院	豊田市	当院	豊田市	
分娩数	231	3,666	246	3,466	
死亡数	悪性新生物	345	850	353	943
	肺炎及び気管支炎	48	296	56	302
	心疾患	40	170	37	140
	脳血管疾患	37	229	45	217
	老衰	7	373	5	353
	腎疾患	20	106	17	78
	不慮の事故	21	55	16	68
	肝疾患	21	41	8	34
	自殺	1	40	0	56
	高血圧性疾患	0	6	0	17
	その他	240	891	200	1,002
合計	780	3,057	737	3,210	
剖検数	16	—	15	—	

(注)

- 1) 当院の死亡数は、入院中に死亡した数
- 2) 豊田市の人数は1月～12月の数字を計上

平成30年度 悪性新生物（発生臓器別内訳）

〔当院〕

順位	臓器名	件数
1	肺	64
2	胃	46
3	膵	37
4	結腸	29
5	肝	29

〔豊田市〕

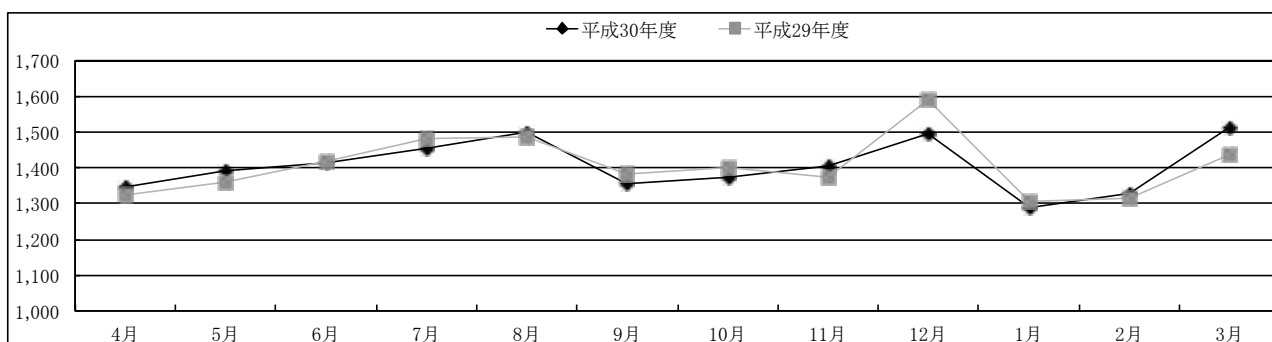
順位	臓器名	件数
1	肺	180
2	胃	127
3	結腸	82
4	膵	95
5	肝	69

## 7. 退院患者統計

計の対象は入院年月日にかかわらず、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの退院患者とした。データは退院サマリおよび電子カルテ本文より抽出した。

### 1) 診療科別・月別退院患者数

	総数	比率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	16,874	100.0%	1,349	1,394	1,413	1,453	1,500	1,356	1,375	1,406	1,496	1,289	1,331	1,512	737
内科	7,484	44.4%	594	648	637	637	644	579	619	615	633	604	608	666	523
小児科	1,218	7.2%	89	90	101	110	121	106	101	95	103	106	92	104	0
外科	1,813	10.7%	139	151	151	153	167	149	147	166	165	117	134	174	103
整形外科	1,201	7.1%	109	104	101	97	115	91	82	91	117	91	100	103	13
形成外科	186	1.1%	17	19	13	21	10	16	18	17	15	8	14	18	0
脳神経外科	478	2.8%	38	41	44	41	41	38	44	49	48	28	33	33	33
呼吸器外科	273	1.6%	15	10	20	23	33	29	27	27	27	20	21	21	10
心臓血管外科	95	0.6%	9	12	9	6	7	5	10	5	11	6	7	8	3
皮膚科	189	1.1%	15	14	17	21	28	18	16	15	12	11	10	12	2
泌尿器科	802	4.8%	60	68	66	72	66	76	69	69	64	66	69	57	30
産婦人科	973	5.8%	91	70	77	79	75	80	74	83	94	77	72	101	10
眼科	753	4.5%	61	63	81	70	48	55	60	76	63	53	51	72	0
耳鼻咽喉科	599	3.5%	47	46	41	52	64	42	47	39	70	41	49	61	8
麻酔科	14	0.1%	0	0	1	2	1	0	0	2	1	1	3	3	0
歯科口腔外科	796	4.7%	65	58	54	69	80	72	61	57	73	60	68	79	2
29年度	16,881		1,323	1,361	1,418	1,482	1,488	1,385	1,402	1,375	1,592	1,305	1,314	1,436	



### 2) 診療科別・死亡退院患者数

	総数	比率	剖検数	剖検率	平均 在院日数	48時間 以内死亡	粗死亡率	精死亡率
総数	737	100.0%	11	1.5%	20.5	103	4.4%	3.8%
内科	523	71.0%	9	1.7%	20.5	67	7.0%	6.1%
小児科	0	-	-	-	0	-	-	-
外科	103	14.0%	1	1.0%	23	8	5.7%	5.2%
整形外科	13	1.8%	0	0.0%	21	1	1.1%	1.0%
形成外科	0	-	-	-	0	-	-	-
脳神経外科	33	4.5%	0	0.0%	6.2	19	6.9%	2.9%
呼吸器外科	10	1.4%	0	0.0%	19.8	2	3.7%	2.9%
心臓血管外科	3	0.4%	0	0.0%	24	0	3.2%	3.2%
皮膚科	2	0.3%	0	0.0%	7.5	0	1.1%	1.1%
泌尿器科	30	4.1%	1	3.3%	27.4	4	3.7%	3.2%
産婦人科	10	1.4%	0	0.0%	20.8	1	1.0%	0.9%
眼科	0	-	-	-	0	-	-	-
耳鼻咽喉科	8	1.1%	0	0.0%	25.6	1	1.3%	1.2%
麻酔科	0	-	-	-	0	-	-	-
歯科口腔外科	2	0.3%	0	0.0%	18.5	0	0.3%	0.3%

※精死亡率：(総死亡数－入院後48時間以内死亡数) / 退院患者数 × 100 を表す



3) 地域別・年齢階層別退院患者数

地域	性別	総数	比率 (%)	平均年齢	～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～
総数	計	16,874	100.0	58.94	1,334	535	761	892	1,291	1,708	2,793	4,350	2,601	609
	男	9,468	100.0	59.71	721	300	324	369	670	1,034	1,746	2,705	1,406	193
	女	7,406	100.0	57.96	613	235	437	523	621	674	1,047	1,645	1,195	416
井郷地区	計	778	4.6	61.89	48	27	29	25	48	55	153	239	121	33
	男	437	4.6	62.77	24	14	6	12	27	39	89	155	63	8
	女	341	4.6	60.75	24	13	23	13	21	16	64	84	58	25
猿投地区	計	467	2.8	59.20	34	27	15	17	25	50	105	111	66	17
	男	273	2.9	58.84	22	9	7	9	19	39	68	62	32	6
	女	194	2.6	59.72	12	18	8	8	6	11	37	49	34	11
猿投台地区	計	730	4.3	63.94	38	19	29	26	58	47	108	210	166	29
	男	403	4.3	64.64	23	10	10	12	30	32	61	115	97	13
	女	327	4.4	63.08	15	9	19	14	28	15	47	95	69	16
逢妻地区	計	1,360	8.1	61.42	92	34	34	52	92	160	237	427	172	60
	男	777	8.2	61.64	49	19	11	22	51	114	132	273	88	18
	女	583	7.9	61.12	43	15	23	30	41	46	105	154	84	42
朝日丘地区	計	813	4.8	58.25	73	15	38	45	75	107	105	187	126	42
	男	434	4.6	59.00	36	9	20	21	32	55	59	125	70	7
	女	379	5.1	57.40	37	6	18	24	43	52	46	62	56	35
崇化館地区	計	1,275	7.6	61.37	92	38	63	49	67	131	197	333	233	72
	男	725	7.7	61.25	59	19	25	21	37	75	143	192	126	28
	女	550	7.4	61.53	33	19	38	28	30	56	54	141	107	44
豊南地区	計	262	1.6	55.11	23	13	13	21	22	21	44	73	28	4
	男	141	1.5	55.42	15	6	6	9	8	12	31	38	15	1
	女	121	1.6	54.74	8	7	7	12	14	9	13	35	13	3
保見地区	計	872	5.2	59.78	59	25	40	61	44	100	137	262	113	31
	男	506	5.3	61.25	29	17	17	27	21	55	98	173	58	11
	女	366	4.9	57.74	30	8	23	34	23	45	39	89	55	20
梅坪台地区	計	1,326	7.9	52.45	168	44	79	103	142	134	189	290	144	33
	男	680	7.2	53.54	80	28	37	29	66	89	99	170	77	5
	女	646	8.7	51.29	88	16	42	74	76	45	90	120	67	28
益富地区	計	257	1.5	64.39	7	5	5	20	9	17	81	58	50	5
	男	127	1.3	65.35	4	2	1	5	7	9	35	39	25	0
	女	130	1.8	63.44	3	3	4	15	2	8	46	19	25	5
美里地区	計	583	3.5	62.88	37	18	13	19	46	53	100	168	94	35
	男	317	3.3	64.19	17	10	6	10	26	21	47	108	60	12
	女	266	3.6	61.32	20	8	7	9	20	32	53	60	34	23
高橋地区	計	813	4.8	63.25	55	24	22	25	59	53	126	255	166	28
	男	438	4.6	63.92	21	17	6	13	34	29	80	148	84	6
	女	375	5.1	62.47	34	7	16	12	25	24	46	107	82	22
石野地区	計	222	1.3	64.06	18	3	8	6	6	18	43	64	47	9
	男	138	1.5	64.38	11	1	5	2	3	13	29	42	26	6
	女	84	1.1	63.52	7	2	3	4	3	5	14	22	21	3
松平地区	計	153	0.9	59.14	11	6	4	6	20	8	29	35	33	1
	男	95	1.0	57.64	9	4	0	3	16	5	20	18	19	1
	女	58	0.8	61.59	2	2	4	3	4	3	9	17	14	0
前林地区	計	345	2.0	61.31	21	11	11	17	23	40	62	88	59	13
	男	196	2.1	60.34	10	9	9	9	12	17	38	62	27	3
	女	149	2.0	62.58	11	2	2	8	11	23	24	26	32	10
竜神地区	計	500	3.0	59.29	37	12	22	25	36	51	102	140	66	9
	男	308	3.3	60.03	21	10	11	12	21	30	63	96	42	2
	女	192	2.6	58.10	16	2	11	13	15	21	39	44	24	7
若園地区	計	152	0.9	58.40	11	6	10	4	18	14	19	41	21	8
	男	77	0.8	60.12	8	1	2	1	5	11	10	24	12	3
	女	75	1.0	56.64	3	5	8	3	13	3	9	17	9	5
高岡地区	計	245	1.5	65.42	16	4	4	9	14	20	43	55	66	14
	男	151	1.6	65.49	12	3	3	3	6	11	21	42	45	5
	女	94	1.3	65.30	4	1	1	6	8	9	22	13	21	9
上郷地区	計	162	1.0	60.06	17	5	3	5	9	13	20	58	30	2
	男	76	0.8	61.24	6	3	2	2	5	6	6	33	12	1
	女	86	1.2	59.01	11	2	1	3	4	7	14	25	18	1

地域	性別	総数	比率 (%)	平均 年齢	～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～
末野原 地区	計	288	1.7	55.83	19	11	22	21	21	30	48	94	18	4
	男	186	2.0	59.33	7	6	10	11	11	24	38	65	14	0
	女	102	1.4	49.44	12	5	12	10	10	6	10	29	4	4
藤岡 地区	計	396	2.3	63.72	15	9	24	8	17	71	49	107	72	24
	男	213	2.2	61.62	10	2	16	4	10	46	25	64	33	3
	女	183	2.5	66.16	5	7	8	4	7	25	24	43	39	21
藤岡南 地区	計	392	2.3	52.18	58	15	21	15	29	48	78	75	42	11
	男	237	2.5	53.68	33	9	11	9	14	23	53	53	27	5
	女	155	2.1	49.89	25	6	10	6	15	25	25	22	15	6
小原 地区	計	261	1.5	69.53	10	4	5	7	6	24	51	55	73	26
	男	159	1.7	66.83	6	4	2	5	3	16	41	36	38	8
	女	102	1.4	73.75	4	0	3	2	3	8	10	19	35	18
足助 地区	計	313	1.9	68.25	7	3	12	12	11	23	71	67	91	16
	男	165	1.7	67.02	4	2	6	6	5	11	45	39	43	4
	女	148	2.0	69.62	3	1	6	6	6	12	26	28	48	12
下山 地区	計	63	0.4	62.44	2	2	3	1	5	9	14	13	12	2
	男	35	0.4	57.86	1	2	1	1	3	8	10	3	6	0
	女	28	0.4	68.18	1	0	2	0	2	1	4	10	6	2
稲武 地区	計	122	0.7	69.34	3	0	3	3	3	6	33	34	33	4
	男	71	0.7	69.38	2	0	1	1	2	3	21	22	17	2
	女	51	0.7	69.27	1	0	2	2	1	3	12	12	16	2
旭 地区	計	142	0.8	65.59	2	4	9	5	4	6	42	35	26	9
	男	107	1.1	64.83	2	3	7	3	4	4	36	25	17	6
	女	35	0.5	67.91	0	1	2	2	0	2	6	10	9	3
みよし市	計	2,237	13.3	55.10	235	94	98	139	214	241	294	587	295	40
	男	1,261	13.3	57.11	121	53	39	52	110	136	203	362	167	18
	女	976	13.2	52.50	114	41	59	87	104	105	91	225	128	22
東郷町	計	234	1.4	52.62	31	7	10	13	25	32	36	47	32	1
	男	136	1.4	51.56	23	6	1	6	13	18	24	26	18	1
	女	98	1.3	54.08	8	1	9	7	12	14	12	21	14	0
日進市	計	306	1.8	52.16	40	10	20	30	31	21	41	62	44	7
	男	165	1.7	53.67	21	4	9	12	16	14	28	38	20	3
	女	141	1.9	50.39	19	6	11	18	15	7	13	24	24	4
岡崎市	計	138	0.8	50.46	10	2	6	18	24	22	37	11	7	1
	男	85	0.9	51.98	9	0	2	8	10	17	25	8	6	0
	女	53	0.7	48.02	1	2	4	10	14	5	12	3	1	1
刈谷市	計	39	0.2	45.36	3	0	3	11	3	10	5	3	1	0
	男	17	0.2	47.06	1	0	1	4	0	7	3	1	0	0
	女	22	0.3	44.05	2	0	2	7	3	3	2	2	1	0
名古屋市	計	186	1.1	53.09	5	8	20	20	35	20	24	27	16	11
	男	93	1.0	51.54	4	6	9	6	14	14	18	17	1	4
	女	93	1.3	54.63	1	2	11	14	21	6	6	10	15	7
安城市	計	26	0.2	52.31	0	3	2	5	1	1	6	6	1	1
	男	16	0.2	59.06	0	1	0	3	0	0	6	6	0	0
	女	10	0.1	41.50	0	2	2	2	1	1	0	0	1	1
知立市	計	19	0.1	48.89	1	0	3	4	4	0	3	0	3	1
	男	9	0.1	53.56	0	0	1	1	3	0	2	0	1	1
	女	10	0.1	44.70	1	0	2	3	1	0	1	0	2	0
瀬戸市	計	47	0.3	48.23	4	2	7	2	6	8	7	9	2	0
	男	27	0.3	52.74	3	0	2	1	4	3	5	8	1	0
	女	20	0.3	42.15	1	2	5	1	2	5	2	1	1	0
長久手市	計	22	0.1	47.82	2	0	2	2	4	6	3	2	1	0
	男	6	0.1	45.17	1	0	0	1	1	0	3	0	0	0
	女	16	0.2	48.81	1	0	2	1	3	6	0	2	1	0
その他 市外	計	199	1.2	44.65	19	13	30	25	25	22	30	15	15	5
	男	110	1.2	48.97	10	3	13	8	14	17	23	12	8	2
	女	89	1.2	39.31	9	10	17	17	11	5	7	3	7	3
県外	計	129	0.8	45.71	11	12	19	16	10	16	21	7	16	1
	男	71	0.7	45.94	7	8	9	5	7	11	8	5	11	0
	女	58	0.8	45.43	4	4	10	11	3	5	13	2	5	1

4) 疾病別・診療科別退院患者数(大分類)

国際分類大項目分類		総数	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外科	死亡数	剖検数
総数	計	16,874	7,484	1,218	1,813	1,201	186	478	273	95	189	802	973	753	599	14	796	737	11
	男	9,468	4,715	639	1,026	611	81	271	197	63	116	651	0	356	375	4	363	463	4
	女	7,406	2,769	579	787	590	105	207	76	32	73	151	973	397	224	10	433	274	7
I 感染症及び寄生虫症	計	408	211	119	9	1	0	0	4	0	35	8	3	2	13	1	2	18	0
	男	211	113	57	5	0	0	0	3	0	21	5	0	2	4	0	1	9	0
	女	197	98	62	4	1	0	0	1	0	14	3	3	0	9	1	1	9	0
II 新生物	計	3,115	1,236	3	730	10	40	41	168	1	28	230	454	0	135	1	38	346	5
	男	1,665	864	1	322	4	18	24	114	0	12	200	0	0	85	1	20	236	2
	女	1,450	372	2	408	6	22	17	54	1	16	30	454	0	50	0	18	110	3
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	122	78	19	10	0	0	1	2	1	2	2	4	0	2	0	1	5	1
	男	59	40	9	3	0	0	0	2	1	1	2	0	0	1	0	0	4	0
	女	63	38	10	7	0	0	1	0	0	1	0	4	0	1	0	1	1	1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	399	345	15	12	2	2	3	6	0	0	0	0	6	8	0	0	6	1
	男	227	196	8	7	1	2	2	4	0	0	0	0	4	3	0	0	2	0
	女	172	149	7	5	1	0	1	2	0	0	0	0	2	5	0	0	4	1
V 精神及び行動の障害	計	17	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	11	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI 神経系の疾患	計	331	225	22	0	44	0	27	0	0	0	0	0	0	11	2	0	7	1
	男	181	146	7	0	11	0	11	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	1
	女	150	79	15	0	33	0	16	0	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0
VII 眼及び付属器の疾患	計	791	1	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	737	1	0	0	0	0
	男	361	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	343	1	0	0	0	0
	女	430	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	394	0	0	0	0	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	84	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0
	男	42	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0
	女	42	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0
IX 循環器系の疾患	計	2,612	2,202	3	102	0	2	215	0	87	1	0	0	0	0	0	0	111	1
	男	1,677	1,438	1	70	0	2	109	0	57	0	0	0	0	0	0	0	62	0
	女	935	764	2	32	0	0	106	0	30	1	0	0	0	0	0	0	49	1
X 呼吸器系の疾患	計	1,852	965	495	12	1	0	0	66	0	0	3	2	0	303	0	5	141	0
	男	1,151	602	272	6	1	0	0	52	0	0	3	0	0	210	0	5	91	0
	女	701	363	223	6	0	0	0	14	0	0	0	2	0	93	0	0	50	0
XI 消化器系の疾患	計	2,471	892	14	826	4	1	0	2	0	0	1	3	0	5	0	723	38	1
	男	1,420	540	8	543	4	1	0	1	0	0	1	0	0	4	0	318	19	1
	女	1,051	352	6	283	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	405	19	0
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	213	26	22	5	9	28	0	0	1	105	0	1	0	14	0	2	4	0
	男	132	11	13	2	7	18	0	0	0	72	0	0	0	8	0	1	2	0
	女	81	15	9	3	2	10	0	0	1	33	0	1	0	6	0	1	2	0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	428	96	36	3	280	0	2	0	1	2	0	0	0	0	8	0	7	0
	男	201	40	18	0	136	0	2	0	1	1	0	0	0	0	3	0	6	0
	女	227	56	18	3	144	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0
XIV 尿路性器系の疾患	計	946	383	33	20	0	1	1	0	0	0	345	163	0	0	0	0	16	1
	男	477	215	20	12	0	0	1	0	0	0	229	0	0	0	0	0	9	0
	女	469	168	13	8	0	1	0	0	0	0	116	163	0	0	0	0	7	1
XV 妊娠、分娩及び産褥	計	320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320	0	0	0	0	0	0
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320	0	0	0	0	0	0

国際分類大項目分類		総数	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外科	死亡数	剖検数
XVI 周産期に発生した病態	計	62	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	28	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	34	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	65	16	4	5	13	1	1	4	0	0	6	4	0	11	0	0	0	0
	男	29	2	3	3	8	0	0	3	0	0	6	0	0	4	0	0	0	0
	女	36	14	1	2	5	1	1	1	0	0	0	4	0	7	0	0	0	0
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	279	78	169	9	1	3	1	2	0	0	2	4	0	9	1	0	16	0
	男	139	37	84	7	1	2	1	2	0	0	2	0	0	3	0	0	6	0
	女	140	41	85	2	0	1	0	0	0	0	0	4	0	6	1	0	10	0
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,079	106	19	38	645	31	154	19	4	16	9	5	5	11	1	16	22	0
	男	585	60	13	25	304	16	106	16	4	9	8	0	4	8	0	12	11	0
	女	494	46	6	13	341	15	48	3	0	7	1	5	1	3	1	4	11	0
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,280	601	180	32	191	25	32	0	0	0	196	10	3	1	0	9	0	0
	男	877	400	96	21	134	6	15	0	0	0	195	0	3	1	0	6	0	0
	女	403	201	84	11	57	19	17	0	0	0	1	10	0	0	0	3	0	0

※主病名に対する死亡数であるため、死因統計とは異なる

### 5) 診療科別・在院期間別退院患者数

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1年～2年	2年～	平均在院日数
総数	計	16,874	9,852	3,409	1,457	920	994	186	55	1	0	0	11.5
	男	9,468	5,517	1,944	778	494	586	116	33	0	0	0	11.6
	女	7,406	4,335	1,465	679	426	408	70	22	1	0	0	11.4
内科	計	7,484	3,627	1,853	788	515	564	109	28	0	0	0	13.5
	男	4,715	2,399	1,170	437	291	336	64	18	0	0	0	12.9
	女	2,769	1,228	683	351	224	228	45	10	0	0	0	14.5
小児科	計	1,218	1,145	60	7	2	4	0	0	0	0	0	4.3
	男	639	602	30	4	1	2	0	0	0	0	0	4.1
	女	579	543	30	3	1	2	0	0	0	0	0	4.4
外科	計	1,813	843	507	199	111	109	32	12	0	0	0	13.8
	男	1,026	481	264	117	72	66	21	5	0	0	0	14.0
	女	787	362	243	82	39	43	11	7	0	0	0	13.6
整形外科	計	1,201	544	139	234	146	124	11	3	0	0	0	15.2
	男	611	326	73	97	43	64	7	1	0	0	0	13.6
	女	590	218	66	137	103	60	4	2	0	0	0	16.8
形成外科	計	186	140	19	6	5	5	6	5	0	0	0	10.9
	男	81	53	8	3	4	5	4	4	0	0	0	16.8
	女	105	87	11	3	1	0	2	1	0	0	0	6.4
脳神経外科	計	478	152	119	59	49	88	11	0	0	0	0	19.2
	男	271	91	68	26	27	51	8	0	0	0	0	19.3
	女	207	61	51	33	22	37	3	0	0	0	0	19.0
呼吸器外科	計	273	75	160	18	9	5	4	2	0	0	0	12.5
	男	197	53	114	15	7	3	4	1	0	0	0	12.5
	女	76	22	46	3	2	2	0	1	0	0	0	12.6
心臓血管外科	計	95	1	3	32	29	25	1	3	1	0	0	33.9
	男	63	1	3	17	20	19	1	2	0	0	0	31.9
	女	32	0	0	15	9	6	0	1	1	0	0	37.7
皮膚科	計	189	110	55	11	7	6	0	0	0	0	0	9.6
	男	116	67	32	9	6	2	0	0	0	0	0	9.8
	女	73	43	23	2	1	4	0	0	0	0	0	9.4

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1年～2年	2年～	平均在院日数
泌尿器科	計	802	602	114	31	21	29	5	0	0	0	0	8.1
	男	651	498	85	25	13	25	5	0	0	0	0	8.0
	女	151	104	29	6	8	4	0	0	0	0	0	8.5
産婦人科	計	973	720	197	25	11	16	4	0	0	0	0	7.6
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	973	720	197	25	11	16	4	0	0	0	0	7.6
眼 科	計	753	688	46	14	5	0	0	0	0	0	0	3.7
	男	356	319	25	9	3	0	0	0	0	0	0	4.0
	女	397	369	21	5	2	0	0	0	0	0	0	3.4
耳鼻咽喉科	計	599	461	99	15	6	15	2	1	0	0	0	8.5
	男	375	300	49	8	5	11	1	1	0	0	0	8.7
	女	224	161	50	7	1	4	1	0	0	0	0	8.2
麻 酔 科	計	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.6
	男	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
	女	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.3
歯科口腔外科	計	796	730	38	18	4	4	1	1	0	0	0	4.0
	男	363	323	23	11	2	2	1	1	0	0	0	4.6
	女	433	407	15	7	2	2	0	0	0	0	0	3.6

6) 疾病別・在院期間別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1年～2年	2年～	平均在院日数
総 数	計	16,874	9,852	3,409	1,457	920	994	186	55	1	0	0	11.5
	男	9,468	5,517	1,944	778	494	586	116	33	0	0	0	11.6
	女	7,406	4,335	1,465	679	426	408	70	22	1	0	0	11.4
I 感染症及び寄生虫症	計	408	256	92	23	14	15	5	3	0	0	0	10.9
	男	211	129	53	9	8	7	3	2	0	0	0	11.2
	女	197	127	39	14	6	8	2	1	0	0	0	10.5
II 新生物	計	3,115	1,235	875	393	243	282	72	15	0	0	0	15.7
	男	1,665	555	475	234	152	189	49	11	0	0	0	17.7
	女	1,450	680	400	159	91	93	23	4	0	0	0	13.5
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	122	40	44	17	6	14	1	0	0	0	0	15.6
	男	59	18	22	8	2	8	1	0	0	0	0	16.8
	女	63	22	22	9	4	6	0	0	0	0	0	14.3
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	計	399	187	116	41	25	23	5	2	0	0	0	14.2
	男	227	104	66	23	12	18	2	2	0	0	0	15.0
	女	172	83	50	18	13	5	3	0	0	0	0	13.0
V 精神及び行動の障害	計	17	8	4	1	2	2	0	0	0	0	0	13.5
	男	6	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	10.0
	女	11	4	3	1	1	2	0	0	0	0	0	15.4
VI 神経系の疾患	計	331	215	42	16	16	36	6	0	0	0	0	12.0
	男	181	111	24	9	12	20	5	0	0	0	0	13.6
	女	150	104	18	7	4	16	1	0	0	0	0	10.2
VII 眼及び付属器の疾患	計	791	728	46	13	4	0	0	0	0	0	0	3.5
	男	361	325	25	9	2	0	0	0	0	0	0	3.8
	女	430	403	21	4	2	0	0	0	0	0	0	3.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	84	54	29	0	0	1	0	0	0	0	0	7.3
	男	42	30	11	0	0	1	0	0	0	0	0	7.8
	女	42	24	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6.9
IX 循環器系の疾患	計	2,612	1,395	533	287	171	188	27	10	1	0	0	12.7
	男	1,677	967	337	147	93	114	15	4	0	0	0	11.5
	女	935	428	196	140	78	74	12	6	1	0	0	14.7

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1年～2年	2年～	平均在院日数
X 呼吸器系の疾患	計	1,852	1,038	405	127	124	129	22	7	0	0	0	12.7
	男	1,151	640	263	80	75	75	13	5	0	0	0	12.6
	女	701	398	142	47	49	54	9	2	0	0	0	12.8
X I 消化器系の疾患	計	2,471	1,659	516	148	67	67	10	4	0	0	0	8.6
	男	1,420	918	330	84	43	37	7	1	0	0	0	8.9
	女	1,051	741	186	64	24	30	3	3	0	0	0	8.2
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	213	93	70	18	9	16	4	3	0	0	0	14.4
	男	132	59	40	13	7	7	3	3	0	0	0	15.1
	女	81	34	30	5	2	9	1	0	0	0	0	13.2
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	428	106	89	116	46	53	10	8	0	0	0	21.0
	男	201	50	49	50	17	28	4	3	0	0	0	20.2
	女	227	56	40	66	29	25	6	5	0	0	0	21.7
X IV 尿路性器系の疾患	計	946	606	199	59	40	35	6	1	0	0	0	9.7
	男	477	303	101	29	20	19	4	1	0	0	0	10.1
	女	469	303	98	30	20	16	2	0	0	0	0	9.3
X V 妊娠、分娩及び産褥	計	320	198	97	10	4	8	3	0	0	0	0	9.5
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	320	198	97	10	4	8	3	0	0	0	0	9.5
X VI 周産期に発生した病態	計	62	53	5	3	1	0	0	0	0	0	0	7.6
	男	28	25	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6.9
	女	34	28	4	1	1	0	0	0	0	0	0	8.2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	65	47	9	6	2	1	0	0	0	0	0	7.3
	男	29	21	4	3	1	0	0	0	0	0	0	6.8
	女	36	26	5	3	1	1	0	0	0	0	0	7.7
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	279	229	26	8	8	6	1	1	0	0	0	6.8
	男	139	118	13	4	1	2	1	0	0	0	0	6.0
	女	140	111	13	4	7	4	0	1	0	0	0	7.5
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,079	476	178	164	132	116	12	1	0	0	0	15.3
	男	585	292	110	70	44	60	8	1	0	0	0	14.1
	女	494	184	68	94	88	56	4	0	0	0	0	16.8
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,280	1,229	34	7	6	2	2	0	0	0	0	3.1
	男	877	848	19	4	4	1	1	0	0	0	0	3.1
	女	403	381	15	3	2	1	1	0	0	0	0	3.2

### 7) 疾病別・年齢階層別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
総数	計	16,874	1,334	535	761	892	1,291	1,708	2,793	4,350	2,601	609	58.94
	男	9,468	721	300	324	369	670	1,034	1,746	2,705	1,406	193	59.71
	女	7,406	613	235	437	523	621	674	1,047	1,645	1,195	416	57.96
I 感染症及び寄生虫症	計	408	102	24	28	23	19	25	39	60	72	16	46.20
	男	211	46	13	12	15	12	17	19	29	43	5	47.50
	女	197	56	11	16	8	7	8	20	31	29	11	44.81
II 新生物	計	3,115	8	29	36	79	326	431	702	1,015	433	56	65.85
	男	1,665	3	7	5	18	70	199	416	664	254	29	69.45
	女	1,450	5	22	31	61	256	232	286	351	179	27	61.71
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	122	17	6	1	3	13	7	26	29	19	1	55.77
	男	59	8	3	0	1	6	1	14	15	10	1	57.75
	女	63	9	3	1	2	7	6	12	14	9	0	53.92
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	399	9	8	9	27	54	58	71	96	54	13	61.08
	男	227	5	5	8	17	36	36	37	55	24	4	58.60
	女	172	4	3	1	10	18	22	34	41	30	9	64.35

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
V 精神及び行動の障害	計	17	1	2	1	1	1	5	2	1	3	0	50.06
	男	6	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	59.83
	女	11	1	2	1	1	1	1	1	1	2	0	44.73
VI 神経系の疾患	計	331	18	12	7	15	33	61	59	79	38	9	58.82
	男	181	6	6	4	8	23	30	35	45	22	2	59.84
	女	150	12	6	3	7	10	31	24	34	16	7	57.58
VII 眼及び付属器の疾患	計	791	1	2	5	12	33	63	187	314	158	16	70.72
	男	361	1	1	2	11	24	25	71	169	53	4	69.08
	女	430	0	1	3	1	9	38	116	145	105	12	72.09
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	84	8	1	10	5	5	10	23	17	5	0	52.44
	男	42	5	0	5	4	3	6	9	9	1	0	49.31
	女	42	3	1	5	1	2	4	14	8	4	0	55.57
IX 循環器系の疾患	計	2,612	5	14	18	32	145	278	536	922	530	132	70.46
	男	1,677	2	9	13	25	106	207	385	592	299	39	68.70
	女	935	3	5	5	7	39	71	151	330	231	93	73.63
X 呼吸器系の疾患	計	1,852	536	84	85	79	76	62	152	305	338	135	47.74
	男	1,151	306	60	50	53	54	40	101	218	214	55	48.30
	女	701	230	24	35	26	22	22	51	87	124	80	46.81
XI 消化器系の疾患	計	2,471	76	171	337	212	199	242	340	508	317	69	54.14
	男	1,420	43	82	142	107	126	160	239	323	185	13	55.89
	女	1,051	33	89	195	105	73	82	101	185	132	56	51.79
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	213	24	4	10	20	18	25	31	30	35	16	56.04
	男	132	14	3	6	13	12	21	20	19	20	4	54.27
	女	81	10	1	4	7	6	4	11	11	15	12	58.93
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	428	43	22	14	15	22	47	71	120	70	4	57.83
	男	201	23	11	4	10	16	25	32	49	31	0	55.40
	女	227	20	11	10	5	6	22	39	71	39	4	59.98
XIV 尿路性器系の疾患	計	946	37	12	32	53	114	127	155	225	145	46	61.65
	男	477	24	10	8	15	44	65	84	139	73	15	62.58
	女	469	13	2	24	38	70	62	71	86	72	31	60.70
XV 妊娠、分娩及び産褥	計	320	0	4	74	206	36	0	0	0	0	0	33.30
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	320	0	4	74	206	36	0	0	0	0	0	33.30
XVI 周産期に発生した病態	計	62	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	男	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	34	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	65	18	14	6	7	5	2	9	4	0	0	28.82
	男	29	11	5	4	3	4	0	1	1	0	0	21.28
	女	36	7	9	2	4	1	2	8	3	0	0	34.89
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	279	152	17	4	3	10	6	15	33	28	11	29.94
	男	139	72	12	2	3	7	5	10	18	9	1	27.80
	女	140	80	5	2	0	3	1	5	15	19	10	32.06
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,079	55	60	59	63	93	100	130	226	219	74	60.43
	男	585	39	48	41	43	68	69	76	99	85	17	53.45
	女	494	16	12	18	20	25	31	54	127	134	57	68.70
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,280	162	49	25	37	89	159	245	366	137	11	55.80
	男	877	85	25	18	23	59	124	196	261	82	4	57.78
	女	403	77	24	7	14	30	35	49	105	55	7	51.48



## 8) 診療科別疾患順位（細分類）

細分類病名のままではわかりにくいものに関しては、一部修正を加え掲載

## &lt;内科&gt;

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	I500	うっ血性心不全	340	17.6	28.5	117	1
2	J690	誤嚥性肺炎	272	26.1	35	110	1
3	I480	心房細動及び粗動	238	4	6.5	14	1
4	I208	その他の型の狭心症	233	3.7	8	31	2
5	I200	不安定狭心症	180	5.2	10	79	1
6	Z136	心臓カテーテル検査入院	161	2.7	3.5	9	2
7	N185	慢性腎臓病、ステージ5	156	13.9	20.5	66	3
8	J189	肺炎、その他	152	15.7	22	144	1
9	Z122	肺生検入院	143	2.1	4.5	9	2
10	Z138	その他の検査（睡眠時無呼吸、腎生検、気管支鏡） 入院	134	2.6	7	25	2

## &lt;小児科&gt;

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	R560	熱性けいれん	116	3.6	4.5	8	1
2	J189	肺炎、その他	100	4.4	6	11	3
3	Z130	食物負荷試験	90	1	1	1	1
4	J069	急性上気道炎、その他	52	3.7	4	8	1
5	J450	小児気管支喘息	50	4.6	5	8	2
6	J209	急性気管支炎、その他	43	4.3	4.5	8	2
7	J029	急性咽頭炎、その他	36	4.2	4.5	9	1
8	M303	皮膚粘膜リンパ節症候群 [川崎病]	36	9.8	10.5	16	5
9	A080	ロタウイルス性腸炎	31	3.8	4.5	6	3
	Z016	MR I 検査入院	30	1	1	1	1
10	P071b	低出産体重（児）・出産体重 1500 - 2499 グラム	29	9.1	11	18	7

## &lt;外科&gt;

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	K409	片側単径ヘルニア	167	3.7	6	12	2
2	K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石症	95	6.8	9.5	21	5
3	K913	術後腸閉塞	82	12.7	14.5	79	3
4	K358	急性虫垂炎、その他	76	5.1	6	12	2
5	C20	直腸の悪性新生物	72	22	22	82	3
6	C162	胃体部の悪性新生物	67	19.1	18.5	123	3
7	C504	乳房上外側 4分の1の悪性新生物	61	9.2	9	67	5
8	K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石症	45	8	10.5	36	5
9	K353	限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	44	9.6	12	28	5
10	C187	S状結腸の悪性腫瘍	34	21.7	20	74	3



<整形外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	S7210	大腿骨転子部貫通骨折、閉鎖性	120	25.1	28.5	91	2
2	S7200	大腿骨頸部骨折、閉鎖性	111	23.9	27	54	2
3	Z470	術後抜釘入院	96	3.4	5	15	2
4	Z138	脊髄腔造影検査入院	94	2	1.5	2	1
5	S5250	前腕橈骨遠位端骨折、閉鎖性	51	4.5	5.5	27	2
6	G560	手根管症候群	33	2.2	5	8	2
7	M171	原発性膝関節症	32	21.7	22.5	31	14
8	S4240	上腕骨遠位端骨折、閉鎖性	29	5.2	6.5	35	2
9	M4712	頸髄症性脊椎症	26	22.2	22	58	11
	M4806	腰部脊柱管狭窄(症)	26	25.6	21.5	78	7
10	M161	原発性股関節症	21	21.1	20	46	15

<形成外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H024	眼瞼下垂	50	1.9	1.5	2	1
2	S0220	鼻骨骨折、閉鎖性	12	4.3	6.5	11	3
	Z421	術後乳房再建	12	7.7	9	11	2
3	D171	体幹の皮膚及び皮下腫瘍	8	2.3	2.5	3	2
	Z420	頭部及び頸部手術後の植皮入院	8	2.3	2	5	1
4	C443	顔面の皮膚悪性新生物	6	2	2	2	2
5	L905	皮膚の瘢痕状態及び線維症	5	2.6	3	4	2
	L059	膿瘍を伴わない毛巣のう胞	5	10.2	12	15	9

<脳神経外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	S0650	外傷性硬膜下出血	92	15.4	21	71	1
	I610	脳内出血、皮質下出血	92	27.3	30	57	1
2	Z138	脳血管造影検査入院	29	2	1.5	2	1
3	S0660	外傷性くも膜下出血	28	12.5	12	46	1
4	I652	頸動脈の閉塞及び狭窄	21	20	18.5	77	10
5	I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	19	14.1	14	31	2
6	I671	未破裂脳動脈瘤	12	12.8	15.5	22	2
	S0620	びまん性脳損傷	12	16.5	13.5	66	1
7	G408	その他のてんかん	11	17	14	55	2
8	D320	脳髄膜腫	10	22.8	18	55	5
9	I614	小脳の脳内出血	9	17	16	41	1
10	I601	中大脳動脈からのくも膜下出血	8	28.8	31	83	2

<呼吸器外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	C341	上葉、気管支又は肺の悪性新生物	57	10.8	12	29	3
2	J931	自然気胸	47	10	11.5	51	5
3	C343	下葉、気管支又は肺の悪性新生物	41	15.6	11	154	2
4	C780	肺の転移性悪性新生物	30	12.7	11	83	2
5	C782	胸膜の転移性悪性新生物	9	15.2	15.5	35	2

## ＜心臓血管外科＞

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	I208	その他の型の狭心症	26	25.6	24.5	48	18
2	I350	その他の大動脈弁狭窄(症)	11	43.6	34	133	19
3	I200	不安定狭心症	10	29.9	31	43	19
	I710	大動脈の解離	10	29.6	29	47	11
4	I340	僧帽弁閉鎖不全(症)	7	26	21	51	16
5	I060	リウマチ性の大動脈狭窄(症)	5	24.6	21.5	39	19

## ＜皮膚科＞

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	L031	四肢の蜂窩織炎	69	10.6	12	27	4
2	A46	丹毒	15	7.1	7	13	4
3	L120	水疱性類天疱瘡	9	30.1	31	53	13
	T630	へび毒	9	4.4	5	7	3
4	C443	顔面の皮膚悪性新生物	8	11.4	11	38	2
5	B029	合併症を伴わない帯状疱疹	4	8.8	9	10	7

## ＜泌尿器科＞

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z125	前立腺生検入院	194	3.1	5	9	3
2	N201	尿管結石	115	6.1	10	42	1
3	N10	急性尿細管間質性腎炎	47	9.6	9.5	56	2
4	C61	前立腺の悪性新生物	46	19.8	22.5	64	2
5	C678	膀胱境界部病巣の悪性新生物	35	16.2	19	65	4
6	C672	膀胱側壁の悪性新生物	33	12.2	11	74	4
7	N200	腎結石	29	4.8	7	14	3
8	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	26	16.3	13.5	74	7
9	N40	前立腺肥大(症)	25	7	7.5	12	6
10	N132	腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症	20	4.1	4.5	12	3

## ＜産婦人科＞

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	O800	自然頭位分娩	113	7.5	8.5	15	4
2	C56	卵巣の悪性新生物	83	7.3	12	41	2
	C541	子宮内膜の悪性新生物	83	6.3	11	35	1
3	D27	卵巣の良性新生物	67	6.8	9	13	5
4	D259	子宮平滑筋腫、その他	53	7	8	12	3
5	C539	子宮頸部の悪性新生物	41	8.7	12	37	3
6	N840	子宮体部ポリープ	39	2.9	2.5	10	1
7	D250	粘膜下子宮平滑筋腫	35	5.8	5.5	18	3
8	O342	既往帝王切開後妊娠	33	9.3	9	21	7
9	N801	卵巣の子宮内膜症	22	6.2	5.5	10	3
10	D251	壁内子宮平滑筋腫	21	7	8	10	6

<眼科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H250	老人性初発白内障	323	2.5	5	16	2
2	H251	老人性核白内障	258	2.2	4	6	2
3	H353	黄斑及び後極の変性	34	7.2	8	15	3
4	H330	網膜裂孔を伴う網膜剥離	26	13.7	13	16	7
5	H258	その他の老人性白内障	23	2.6	4	8	2

<耳鼻咽喉科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	J350	慢性扁桃炎	52	7.6	8.5	13	2
2	J36	扁桃周囲膿瘍	49	5.6	7	10	4
3	H912	突発性難聴(特発性)	44	8.1	8	11	3
4	J351	扁桃肥大	32	7.2	7	8	6
5	J358	扁桃及びアデノイドのその他の慢性疾患	27	6.7	6.5	9	4
6	J328	慢性副鼻腔炎	26	6.8	6.5	10	3
	C73	甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	26	11.5	12	25	7
7	J039	急性扁桃炎	22	5.9	7	10	2
8	J353	アデノイド肥大を伴う扁桃肥大	14	7.4	8	9	7
9	H813	末梢性めまい<眩暈(症)>	13	4.7	5	9	2
10	J342	鼻中隔彎曲症	12	6.9	7	8	6

<麻酔科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	M4802	頸部脊柱管狭窄(症)	2	2	2	2	2
	M8900	複合性局所疼痛症候群	2	4	4	5	3
	M512	椎間板ヘルニア	2	2	2	2	2
	M4806	腰部脊柱管狭窄(症)	2	2.5	2.5	3	2
	G500	三叉神経痛	2	2	2	2	2

<歯科口腔外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	K073	下顎水平埋伏歯	419	2.4	3.5	9	2
2	K011	埋伏歯<impacted teeth>	110	2.5	3.5	6	2
3	K053	慢性歯周炎	72	2.3	2.5	3	2
4	K048	歯根のう胞	28	3.1	4	7	2
5	K122	口腔の蜂窩織炎及び膿瘍	17	7.5	7	28	3

## 8. 剖検数

No.	年齢	性別	診療科	主臨床診断名
1	66	F	内科	栄養失調
2	48	F	内科	原発不明癌
3	74	M	救外	原発性肺癌
4	77	M	内科	パーキンソン病
5	79	M	救外	CPA（来院時心肺停止）
6	62	F	内科	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌
7	57	M	救外	CPA（来院時心肺停止）
8	53	M	内科	心肺停止
9	76	M	内科	悪性リンパ腫の疑い
10	77	M	外科	イレウス
11	67	F	泌尿器	心肺停止
12	70	F	内科	再発性成人 T 細胞性白血病
13	80	F	内科	多臓器不全
14	87	M	内科	癌性腹膜炎の疑い
15	76	F	内科	TAFRD 症候群

## 9. 臨床研究

	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
1	-	呼吸器病棟で安全に食事を提供するための支援の検討	看護部	岩屋 奈央子		2018/4/23 ～ 2019/12/31
2	-	体圧分散用具使用による外転枕装着中の仙骨部・臀筋部の体圧変化	看護部	加藤 敏子	当院： 50 例	2018/4/23 ～ 2018/11/30 → 2019/3/31
3	-	高齢者血液悪性腫瘍患者の治療前に総合機能評価を行うことによる観察研究	血液内科	平賀 潤二	全例	2018/5/7 ～ 2020/12/31
4	日本循環器学会、日本心不全学会	心不全医療の適正化に資するための全国規模データベースによるエビデンスの創出	循環器内科	篠田 政典	292 例 (全参加施設 10,000 例)	2018/5/17 ～ 2019/3/31
5	-	スライディングシートを使用した体位変換、床上移動時の看護師の肩部負担を軽減するベッドの高さを検証	看護部	梶原 佳代子	50 例	2018/6/4 ～ 2018/11/30
6	一般社団法人訪問看護認定看護師協議会	訪問看護ステーションにおける薬剤支援の実態と連携に関する意識調査～三河地区における在宅療養者の薬剤支援～	看護部	古賀 智美	当院：50 例 (全参加施設 124 例)	2018/6/11 ～ 2018/12/31
7	愛媛大学医学部 循環器・呼吸器・高血圧内科学	「安定冠動脈疾患患者の光干渉断層法による冠動脈構造と冠血流予備量比の相関性の検討」 Intravascular Optical Coherence Tomography -derived virtual Fractional Flow Reserve for the assessment of myocardial ischemia: Multicenter study.	循環器内科	窪田 龍二	当院：30 例 (全参加施設 300 例)	2018/7/5 ～ 2019/5/31
8	-	がん化学療法施行中患者における救急外来受診の実態調査	薬剤部	横山 美里		2018/6/28 ～ 2018/12/31
9	豊田厚生を主管とする他施設共同研究	アルツハイマー型認知症におけるてんかんの調査	精神科	渡邊 周一	全参加施設 200 例	2018/7/9 ～ 2024/12/31
10	-	プラスグレル内服患者における出血リスクの要因検討	薬剤部	加藤 恭平	全例	2018/7/9 ～ 2018/12/31
11	-	心房細動に対するクライオアブレーション施行時の撮影管電圧変化前後における患者被ばく線量の調査	放射線技術科	村山 和宏	全例	2018/7/9 ～ 2018/12/31
12	日本整形外科学会、日本人工関節学会	人工関節登録制度の確立	整形外科	金山 康秀	全例	2018/7/2 ～ 2021/3/31
13	(主管施設) 名古屋医療センター 血液内科	高齢者古典的ホジキンリンパ腫の臨床病理学的特徴と治療に関する多施設共同後方視的観察研究: HORIZON study	血液内科	鏡味 良豊	全例 (全参加施設 40 例)	2018/8/1 ～ 2021/5/14

	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
14	日本リンパ網内系学会	新たに診断された濾胞性リンパ腫患者に関する多施設前方視的観察研究 /Follicular lymphoma in Japan: a prospective cohort study of newly-diagnosed patients with follicular lymphoma (FOREST)	血液内科	鏡味 良豊	当院：全例 (全参加施設 800 例)	2018/8/1 ～ 2028/2/29
15	(主管施設) 国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部	院内がん登録・DPC データと病理・放射線診断情報のデータの一元化と活用に関する研究	病理診断科	成田 道彦	当院：全例 (全参加施設 全例)	2018/8/1 ～ 2019/3/31
16	日本脊椎インストゥルメンテーション学会	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の前向き登録調査	整形外科	辻 太一	当院 200 例 (全施設 20000 例)	2018/8/2 ～ 2020/11/30
17	-	シクロフォスファミド (エンドキサン) 投与後の低ナトリウム血症の後方視的検討	血液内科	平賀 潤二	当院：全例	2018/8/27 ～ 2019/12/31
18	-	再発難治性多発性骨髄腫に対する新規薬剤の安全性と有効性の後方視的検討	血液内科	平賀 潤二	当院：全例	2018/8/27 ～ 2019/12/31
19	-	脳神経外科病棟における車椅子乗車時の行動制限を行う看護師の視点	3 A 病棟看護師	小松 亮平	当院： 35 例	2018/10/22 ～ 2019/3/31
20	主管施設名：福井大学医学部循環器内科	日本におけるクライオバルーンアブレーションの安全性の検討	循環器内科	金子 鎮二	全参加施設 4000 例	2018/5/17 ～ 2020/3/31
21	日本不整脈心電学会 / 主管施設名：東京慈恵会医科大学循環器内科	「カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト (J-AB レジストリ)」 (多施設共同研究)	循環器内科	金子 鎮二	全施設年間 4 万例	2018/5/17 ～ 2030/3/31
22	-	看護学生の臨地実習前後の社会人基礎力の変化と臨地実習指導者・看護教員の教育活動の実際	看護専門学校	種子島 ゆかり	臨地実習指導者約 10 名・加茂看護専門学校教員 10 名・3 年生 40 名	2018/11/5 ～ 2019/11/30
23	日本心血管インターベンション治療学会	本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-PCI)	循環器内科	篠田 政典		2018/11/9 ～ 無期限
24	日本心血管インターベンション治療学会	日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析	循環器内科	篠田 政典		2018/11/9 ～ 2027/3/30
25	主管施設：名古屋大学医学部附属病院 循環器内科	急性冠症候群に対する冠動脈インターベンション後の予後に関する観察研究 Clinical outcomes following percutaneous coronary intervention in acute coronary syndrome patients	循環器内科	大橋 大器	全参加施設 1500	2018/11/26 ～ 2020/12/31
26	主管施設：名古屋大学医学部附属病院 循環器内科	若年者における冠動脈疾患の特と予後に関する観察研究 Clinical features and outcomes of coronary artery disease among young population	循環器内科	大橋 大器	全参加施設 1000	2018/11/26 ～ 2020/12/31

	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
27	-	Iliac EVT 時における ESD について、PCXMC を用いた場合と臨床値の比較患者被ばく線量、組織臓器線量の把握	放射線科	村山 和弘	当院 100 例	2018/12/10 ～ 2019/5/31
28	主管施設：藤田医科大学医学部 腎臓内科	慢性腎臓病の透析導入期における管理状況と透析導入後の予後との関連に関する多施設共同観察研究 第二版	腎臓内科	倉田 久嗣		2018/12/25 ～ 2028/8/31
29	-	当院における開腹移行した腹腔鏡下手術についての検討	産婦人科	新城 加奈子	当院： 30 例	2018/12/27 ～ 2019/2/28
30	-	心不全再入院患者への患者指導 ～HCU 看護師が思う指導の要点～	HCU 看護師	宇佐見 彩	当院： 16 例	2019/1/17 ～ 2019/4/15
31	-	当院における Clostridioides difficile の臨床的背景と重症度の検討	臨床検査科	加藤 雄大	全例	2019/1/21 ～ 2019/5/31
32	-	大腿動脈領域における炭酸ガス造影時の造影効果に影響を与える因子の基礎検討	放射線技術科	小林 晋也	当院： 30 例	2019/1/17 ～ 2019/3/31
33	-	意識障害患者に感染症があるかどうかを推測するための体温よりも有用な指標の検索	総合内科	西本 泰浩	当院： 1000 例	2019/1/28 ～ 2019/3/31
34	-	カバジタキセル療法を受ける前立腺がん患者に対するペグフィルグラスチムの費用対効果に関する研究	薬剤部	近藤 有		2019/2/28 ～ 2020/3/31
35	-	持続性心房細動患者に対する線状焼灼アブレーションと低電位アブレーションの比較検討	循環器内科	金子 鎮二	当院： 150 例	2019/3/14 ～ 2019/12/31
36	-	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍登録施設の広汎子宮全摘出術の実態調査	産婦人科	新城 加奈子	当院：1 例 (全参加施設 約 1000 例)	2019/3/11 ～ 2021/12/31
37	-	大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療薬使用率およびその傾向に関する調査	薬剤部	下野 大貴	当院： 130 例	2019/3/28 ～ 2019/12/31

## Ⅱ 部署別業務実績

---





# 1. 放射線技術科

## 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

### 1. 高額医療機器の更新

→第二 MRI 更新（平成 31 年 1 月稼動）

### 2. 日当直二人体制の本稼動

→迅速な血管撮影検査実施、患者待ち時間短縮への対応

### 3. 認定・専門資格取得 / 学会発表の推進

→胃がん X 線撮影技師検定、マンモグラフィ撮影技術認定技師、救急撮影認定技師、画像手術支援認定診療、放射線技師、臨床実習指導教員、シニア診療放射線技師、アドバンス診療放射線技師、日本磁気共鳴専門技術者、X 線 CT 認定技師等を新規取得。

\*学会発表計 8 題。

### 4. 高度放射線治療の実施

→定位放射線治療 SRS10 件 / 定位分割放射線治療 SRT2 件

## 2) 平成 30 年度実績

### 1. 放射線技術科取扱件数

	30 年度	29 年度	前年度比 (%)
一般撮影	116,083	117,286	99.0
X 線テレビ	12,780	13,340	95.8
血管撮影	3,078	2,961	104.0
C T	37,761	37,303	101.2
M R I	15,684	15,542	100.9
骨塩定量	1,902	2,034	93.5
R I	2,449	2,234	109.6
放射線治療	6,383	5,824	109.6
合計	196,120	196,524	99.8

### 2. MRI 検査件数

	30 年度	29 年度	前年度比 (%)
内科	4,504	4,589	98.1
心療精神科	72	85	84.7
小児科	203	183	110.9
外科	508	500	101.6
整形外科	1,855	2,029	91.4
脳神経外科	3,392	3,274	103.6
皮膚科	97	70	138.6
泌尿器科	553	533	103.8
産婦人科	569	574	99.1
眼科	54	61	88.5
耳鼻咽喉科	484	462	104.8
放射線科	573	567	101.1
麻酔科	23	6	383.3
歯科口腔外科	84	68	123.5
形成外科	119	97	122.7
心臓外科	87	99	87.9
呼吸器外科	46	24	191.7
健診センター	1,229	1,169	105.1
救急科	1,232	1,152	106.9
合計	15,684	15,542	100.9

### 3. 血管撮影件数

	30年度
内 科	2,097
外 科	119
整 形 外 科	16
脳 神 経 外 科	113
呼 吸 器 外 科	32
産 婦 人 科	4
合 計	2,381

### 4. X線CT検査件数

	30年度
内 科	13,512
心療精神科	8
小 児 科	59
外 科	4,405
整 形 外 科	1,501
脳 神 経 外 科	2,011
皮 膚 科	118
泌 尿 器 科	2,292
産 婦 人 科	454
眼 科	40
耳 鼻 咽 喉 科	1,375
放 射 線 科	804
麻 酔 科	13
歯科口腔外科	783
形 成 外 科	131
心 臓 外 科	393
呼 吸 器 外 科	603
健診センター	365
救急科	8,894
合 計	37,761

### 5. アイソトープ検査件数

	30年度
脳 血 流	389
甲 状 腺	8
副 甲 状 腺	7
肺 血 流	9
心 筋 負 荷	633
心 筋 無 負 荷	152
心 プ ール	0
肝	1
腎	9
副 腎	18
メ ッ ケ ル	5
消 化 管	1
骨	234
ガ リ ウ ム	12
P E T	743
そ の 他	212
合 計	2,433

その他：甲状腺治療 2, 唾液腺 3, センチリナ<sup>®</sup> 節 133,89Sr 注射 1, 肺換気 7

## 6. 放射線科使用装置の定格

平成31年4月現在

設置場所	装置（メーカー）		定格（kV、mA）		購入年月
第1撮影室	KXO-50S (DRAD-3000A)	東芝	150/80	320/630	H20.1
第2撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1
第3撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26.9 H20.1*1
第4撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26.9
第5撮影室	アマレット イカパリティ	フジ	49/35	102/200	H28.4
第6撮影室	AutoAZ3000CMR	アサヒ	100	15	H20.1
第7撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1 *2
第8撮影室	Prodigy	GE	76	3	H24.7
救急外来撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1
	AMX-4 Plus	GE	125	(200mAs)	H14.1
泌尿器科撮影室	カラスコプ アケス	シーメンス	150/81	630/800	H20.1
結石破砕室	Delta II	ドルニエ	110	4	H20.1
第1透視室	Sonialvision Safire	島津	150/80	500/1000	H20.1
第2透視室	KXO-80XM/KXO-80XM/ MDX-8000A	東芝	150/100	500/800	H20.1
第3透視室	KXO-80Z /MFX-8000A	東芝	150/100	500/800	H23.3
血管撮影室 I V R - C T	AXIOM Artis dTA	シーメンス	125/100	800/1000	H20.1
	SOMATOM Open 40	シーメンス	140/120	570/665	H20.1
循環器撮影室1	AXIOM Artis dFA	シーメンス	125/100	800/1000	H20.1
循環器撮影室2	AXIOM Artis dBC	シーメンス	125/100	800/1000	H20.1
第1CT室	Light Speed VCT 64	GE 横河	140/120	715/800	H20.1
第2CT室	SCENARIA	日立	120/140	140/510	H24.10
第3CT室	SCENARIA	日立	120/140	140/510	H24.12
第1MRI室	SKYRA	シーメンス	3.0 Tesla		H28.11
第2MRI室	Area	シーメンス	1.5 Tesla		H30.12
第3MRI室	Achieva R2	フィリップス	1.5 Tesla		H22.8
ガンマカメラ室	Infinia 3	GE 横河			H20.1
PET-CT室	Discovery ST Elite	GE 横河	140/120	380/440	H20.1
	Clinac iX	バリアン	15MeV		H20.1
リニアック室	OBI	バリアン	125	80/20	H20.1
	Light Speed RT	GE 横河	140/120	380/440	H20.1
手術室 器材庫	WHA-200 (DSA)	島津	110	(200mAs)	H17.3
	WHA-200	島津	110	200/9	H23.5
	OECBrivo Essential	GE	110	20	H25.10
手術室ポータブル	モバ イラート MUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
2Fポータブル庫	モバ イラート Evolution	島津	125	(200mAs)	H29.10
3Fポータブル庫	モバ イラート MUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
4Fポータブル庫	モバ イラート MUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
感染病棟診察室	IME - 100L	東芝	125/80	145/225	H15.3
健診胸部撮影室	KXO-50S(DRAD-3000A)	東芝	150/80	320/630	H20.1
健診マンモ撮影室	マンモート Inspiration	シーメンス	35/24	134/189	H24.11
健診透視室1 I.I	DBA-2400A (KXO-50XM)	東芝	150/80	320/630	H18.7
健診透視室2 I.I	DBX-6000A (KXO-50XM)	東芝	150/80	320/630	H17.3
健診透視室3 FPD	FLEXAVISION	島津	150/80	320/630	H29.4
歯科口腔外科	AZ3000	アサヒ	90	12	H11.1
X線撮影室	GX-70	アサヒ	70	10	H11.1

\*1: 立位管球 H26.9 臥位管球 H20.1 \*2: 第二撮影室から移設

## 2. 臨床検査技術科

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 診療機能への貢献

- ・第 15 次中期計画での新たな検体検査システム (cobas8000) の導入を図り、高品質な検査結果の迅速報告体制を構築した。
- ・検体検査システム導入に合わせ JCCLS 共用基準範囲に全面変更した。
- ・病理未読レポートについて、既読依頼を各診療科に実施し、100%既読とした。
- ・肝炎陽転時の依頼医師への報告体制を維持した。(陽転事例 44/2748 件/年)
- ・生理検査予約枠の拡大(腹部と表在を分け腹部枠の拡大)により年間 40,000 件を超える超音波検査を実施した。
- ・がんゲノム医療への連携に向け企画室を支援し、「がんゲノム医療連携病院」に指定された。
- ・病院機能評価受審を契機に、業務運用と関連資料の再構築を実施し、臨床検査 3 分野(臨床検査、輸血検査、病理検査)で全て「S」評価を得た。

#### 2. 業務改善と効率化

- ・試薬・材料・消耗品および外注項目の価格見直しを継続し、年間 800 万円以上の削減ができた。
- ・新規加算要件としている「質量分析装置」「微生物遺伝子検査」「国際標準管理加算」取得に向け順調に準備を進めた。(実稼働は 2019 年度)
- ・健康管理センターへの技師出向の合理性(事務的作業を事務員へ移管し、臨床検査に専念)を検討し、ホルター心電図解析の稼働が向上した。
- ・ISO15189 の取得に向け検査環境の改善をはかり、検査室のゾーニングを開始した。

#### 3. チーム医療および医療安全

- ・肝炎関連検査の未実施患者について、PBPM による感染症検査を実施した。295 件/年
- ・整形外科(脊椎手術)への神経モニタリング支援に柔軟に対応した。136 件/年「S」評価
- ・病院機能評価に合わせ、院内全てのホルマリンの一元化を実施し、労働安全衛生法に準じた作業環境の整備と、毒劇物の取扱いに関する啓発を実施した。「S」評価
- ・輸血療法委員会と連携し、適切な輸血療法の啓発に努め、「I & A」取得後の成果を、病院機能評価で発揮できた。「S」評価
- ・感染制御に係る診療支援(技師コメント)に努めた。血培：146 件/年 CD：22 件/年

#### 4. 人材育成と施設認証

- ・自己啓発推進を図り、学会・研修会にて 25 演題の発表及び 8 種 15 名が認定資格を取得した。  
 <認定:超音波検査士、緊急臨床検査士、細胞治療認定管理師、2 級臨床検査士(病理、呼吸生理)、認定心電図技師、ソノグラフィー、血管診療技師>
- ・施設認証：精度保証施設認証、日本臨床細胞学会施設認定、I & A 認定施設(輸血)
- ・出版物 1 (検査と技術)
- ・国際標準検査管理加算を視野に、ISO15189 取得に向けキックオフができ、各種文書作成に取り掛かった。

### 2) 平成 30 年度実績

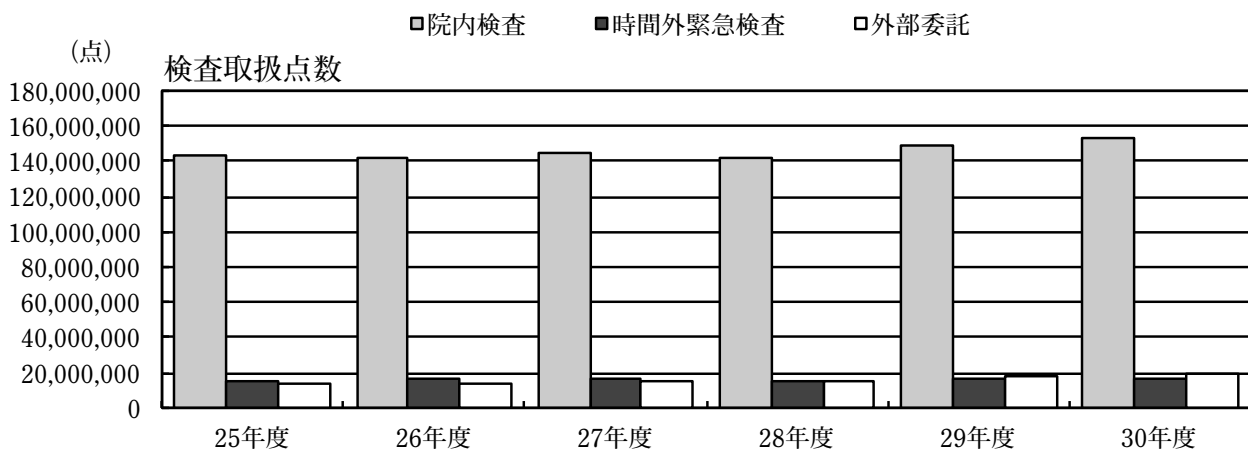
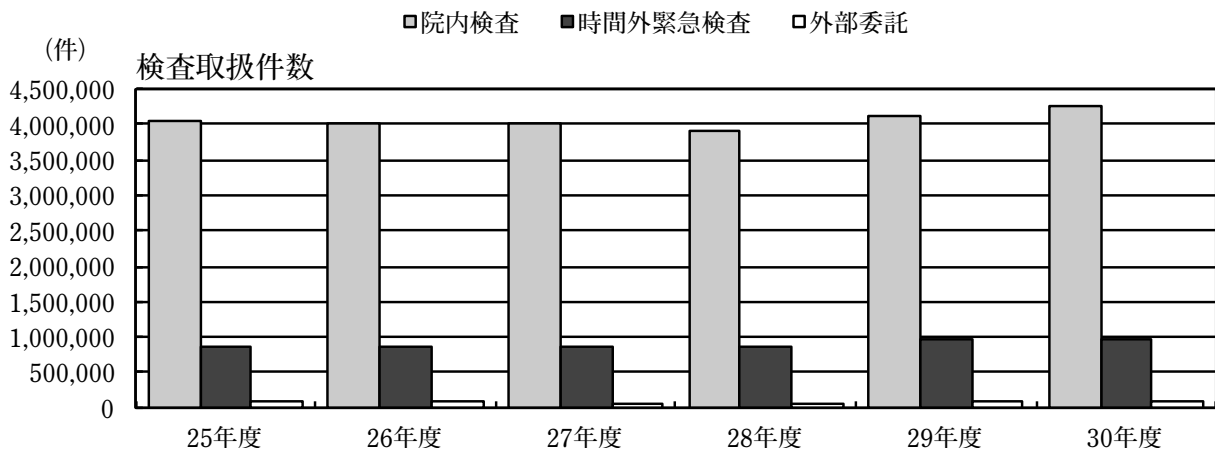
#### 1. 整備機器(高額医療機器および固定資産機器)

部署	機器名	機種名	メーカー	数量
生化学・免疫	検体検査分析装置一式	cobas8000 シリーズ	ロシュ	1
血液・一般	多項目自動分析装置	XN-1500	シスメックス	1
血液・一般	テーブルトップ遠心機	4000 型	久保田商事	1

部署	機器名	機種名	メーカー	数量
輸血	コードレスバッテリーシーラー	CS464	フタバメディカル	1
輸血	メディカルフリーザー	MDF U-443-PJ	パナソニックヘルスケア	1
微生物	微生物感受性・同定装置	マイクロスキャン	ベックマンコールター	1
微生物	自動遺伝子検査装置	Gene Xpert GX- II	ベックマンコールター	1
生理検査	心臓超音波診断装置	EPIQ 7	PHILIPS	2
生理検査	睡眠無呼吸検査システム	Embletta MPR	チェスト	1
生理検査	オージオメーター	AA-H1	東海リオン	1
生理検査	血流量計（SPP）	PAD 4000	カネカメディックス	1
救急外来	超音波診断装置（ER）	Xario 200G	キャノン	1
病理	システム生物顕微鏡	BX-53	オリンパス	1
生化学・免疫	自動採血管準備装置	BC ROBO 8001RFID	テクノメディカ	1
生化学・免疫	自動採血採尿受付機	AI-355	テクノメディカ	1

## 2. 検査取扱件数・点数

検査大項目	検査小項目	平成30年度件数	平成30年度点数
一般検査	尿	145,363	4,419,541
	便	25,739	1,054,134
	体液	4,183	85,670
血液検査	血液	434,045	9,491,998
輸血検査	輸血	49,021	2,531,279
臨床化学	化学Ⅰ	2,831,356	34,222,566
	化学Ⅱ	108,988	15,143,106
	血液ガス	28,255	3,955,700
	負荷試験	236	38,400
免疫検査	免疫	276,491	14,206,259
微生物検査	一般細菌	77,012	10,083,611
	核酸検査	406	121,800
	その他	3,203	0
病理検査	病理組織	10,495	10,731,270
	細胞診	15,787	2,751,070
生理検査	肺機能	15,051	1,436,970
	心電図	52,034	12,526,230
	超音波	40,130	23,209,130
	脳波	2,125	1,673,174
	その他	28,702	2,716,290
その他	採血・検体採取	106,935	3,017,250
	病理解剖	15	375,000
	検査外業務	1,506	0
院内合計		4,257,078	153,790,448
外部委託		87,430	19,927,506
総合合計		4,344,508	173,717,954
時間外緊急検査		972,818	16,900,432



### 3. 外注検査依頼状況

			30年度
S R L	保険収載分	件数	56,623
		点数	13,038,781
	薬物濃度	件数	1,047
		点数	492,090
保険未収載	件数	1,178	
	支払金額	3,409,486	
B M L	保険収載分	件数	19,734
		点数	3,342,826
ファルコ	保険収載分	件数	8,824
		点数	3,008,781

\*外注の保険収載・薬物分は稼動点数、未収載は支払い金額を計上

### 4. 加算件数・点数

項目	30年度	
	件数	点数
時間外加算	7,147	1,429,400
入院初回加算	353	7,060
検体管理加算Ⅰ	99,484	3,979,360
検体管理加算Ⅳ	797	398,500
外来迅速加算	72,057	3,190,350
病理診断料(加算Ⅱ含)	24,348	7,547,060
輸血管理料・適正加算Ⅰ	3,386	596,510
骨髓診断加算	186	44,640
合計	207,758	17,192,880

## 5. 検査判断件数・点数

項目	30年度	
	件数	点数
尿	31,582	1,073,788
血液検査	84,819	10,602,375
臨床化学Ⅰ	85,599	12,326,256
臨床化学Ⅱ	28,782	4,144,608
免疫血清	59,546	8,574,624
微生物検査	11,635	1,745,250
病理細胞検査	1,378	206,700
生理検査	3,616	546,200
合計	306,957	39,219,801

## 6. 外部精度管理調査結果

調査年度	外部精度管理種類	評点
平成30年度	日本医師会	97.6点 D:0
平成30年度	日本臨床衛生検査技師会	A+B: 231/231 C:0 D:0
平成30年度	愛知県臨床検査技師会	A+B: 185/185 C:0 D:0

## 7. 臨床検査室認証・認定

認証・認定団体	30年度
日臨技精度保障施設認証	認証
日本臨床細胞学会施設認定	認定
日本臨床細胞学会教育研修施設認定	認定
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度認証施設 (I & A)	認定

## 8. 学会認定資格者

学会認定資格	30年度
超音波検査士	11名
細胞検査士	6名
輸血認定技師	2名
糖尿病療養指導士	3名
第1種衛生管理士	5名
衛生工学衛生管理者	1名
認定臨床化学者	1名
認定血液検査技師	2名
認定心電検査技師	6名
認定病理検査技師	1名
認定一般検査技師	1名
救急検査認定技師	3名
緊急臨床検査士	11名
二級臨床検査士 (病理学)	4名
二級臨床検査士 (微生物学)	3名
二級臨床検査士 (血液学)	3名
二級臨床検査士 (呼吸生理)	1名
血管診療技師	1名
認定サイトメトリー技術者	1名
医用質量分析認定士	2名
分析機器・試薬アナリスト	1名
リウマチ学会登録ソノグラファー	4名
ピンクリボンアドバイザー (初級/中級)	4名
特化物及び四アルキル鉛等作業主任者	4名
検体採取並びに味覚検査及び嗅覚検査	53名
検査説明・相談ができる臨床検査技師	6名



### 3. リハビリテーション技術科

#### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

##### 1. 教育活動として、臨床実習生の受け入れの取り組み

- ・リハビリ学生：11 校 17 名
- ・他職種の臨地実習協力：4 名
- ・その他見学協力：1 回 1 名

##### 2. 地域の支援活動

- ・介護認定審査会協力 【人数】1 名派遣【期間】通年【頻度】1 回／2W
- ・JA 年金友の会 講話への講師派遣 1 回

##### 3. 職員の資質向上

- ・部署内勉強会（全体会 8 回／年、職種別勉強会 1 回／2 M・毎月）
- ・他職種勉強会・研修会への講師派遣（院内）7 回（院外）1 回
- ・学会発表 2 題
- ・呼吸療法認定士認定資格合格 1 名

##### 4. 診療機能の充実

- ・特定集中治療室早期離床・リハビリテーション加算への参加開始。
- ・脊椎手術・人工股関節・人工膝関節の予定入院患者への外来受診時からの関わり開始（術前評価・指導）。
- ・職員の増員（理学療法士 2 名、言語聴覚士 1 名）を図り、リハビリテーション供給量の増加を図った。

##### 5. 病院機能評価受審に向けた部署内準備を行い、大きな指摘事項なく受審修了した。

#### 2) 平成 30 年度実績

##### 1. 部門別件数・単位数

			理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
			外来	入院	外来	入院	外来	入院
個 別 療 法	脳血管疾患等 リハ料	患者数	409	9,987	229	10,244	16	4,881
		単位数	832	13,428	410	15,323	32	7,378
	廃用症候群 リハ料	患者数	—	4,448	—	162	—	0
		単位数	—	5,347	—	212	—	0
	運動器リハ料	患者数	1,592	18,105	3,127	3,030	—	—
		単位数	3,112	24,359	5,785	4,327	—	—
	呼吸器リハ料	患者数	32	10,269	0	784	—	—
		単位数	56	12,673	0	1,073	—	—
	心大血管疾患 リハ料	患者数	609	3,933	0	5	—	—
		単位数	1,200	4,829	0	5	—	—
がん患者 リハ料	患者数	—	1,095	—	136	—	3	
	単位数	—	1,428	—	199	—	4	
早期加算 (再掲)	患者数		38,319	0	11,406	2	3,930	
	単位数		49,740	0	16,707	4	5,759	
退院前訪問リハ指導			—	1	—	1	—	—
退院時リハビリ指導			—	1,150	—	381	—	16
リハビリ総合計画評価			175	2,902	331	919	0	58
摂食機能療法							1	4,216
件数合計			2,642	47,837	3,356	14,361	16	4,884
単位数合計			5,200	62,064	6,195	21,139	32	7,382

- ・心肺運動負荷試験 年間 16 件
- ・精密知覚機能検査 年間 16 件

## 2. 部門別点数

項目	30年度	
	外来	入院
理学療法	1,087,449	16,489,620
作業療法	1,269,975	6,165,040
言語聴覚療法	8,145	2,925,155
合計	2,365,569	25,579,815

## 3. 科別件数

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院
内科	4	14,847		3,105		449
呼吸器内科	6	3,617		162		
循環器内科	224	2,563		1		
神経内科	300	3,763	143	4,878	16	2,709
精神科						
小児科		10				
外科	1	6,582	2	338		25
整形外科	1,509	9,136	3,173	1,528		50
形成外科	32	357	21			
脳神経外科	12	3,330	12	4,171		1,488
呼吸器外科	75	1,363		55		
心臓外科	343	1,284	1	81		58
皮膚科		179	4	8		
泌尿器科		331		7		
産婦人科	23	354				
眼科						
耳鼻咽喉科	113	118		23		99
麻酔科						
歯科口腔外科		3		4		6
合計	2,642	47,837	3,356	14,361	16	4,900

## 4. 臨床工学技術科

平成30年度は「地域支援病院として安全で質の高い技術支援を行う。また、医療機器の計画的な保守・管理を行い安全に使用できる医療機器の提供と計画的な機器更新を行う」を年間目標に掲げ、特に診療報酬点数改定を意識した事業展開に取り組んだ。新規業務展開では特殊体外循環時における治療評価としての肺・心臓・下大静脈・腎エコー導入、整形外科領域における脊椎手術における Navigation 業務の充実を図り、一方、血液浄化療法における透析濾過透析 I-HDF 導入及び2クール体制への業務効率化、高気圧酸素療法適応症例の拡大及び遠隔モニタリング（ペースメーカー）の未送信患者へのアプローチ等々様々な取り組みに努め、若干では有りますが増収に貢献できた1年間であったと言える。また、病院スタッフへの医療機器教育の有り方を見直し、「ME impact」と題し3日間、基本的なME機器のレクチャーを行った。まだまだ、不十分と考えますが、継続して行う事でより良き教育に繋がっていきたいと考えます。今後も臨床支援及び教育を含めた医療機器保守管理を2本柱として、より安心で質の高い技術支援を提供していきます。

### 1) 平成30年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. スーパーICUに対応した臨床支援業務への取り組み

- ・エコーを使用し更に踏み込んだ治療の確立
- ・ICUからRSTへのスムーズな移行へ向けた取り組み
- ・新規モニターの充実した稼動
- ・業務拡充・技術支援の充実と医師及び看護部門への負担軽減

血液浄化、人工呼吸管理、補助循環業務支援において超音波診断装置を導入したことで、患者アセスメント能力の向上に繋がった。患者アセスメント能力を活かし臨床支援業務を提供することで医師及び看護部門への負担軽減にも繋がったと考える。また、ICUラウンドにも積極的に参加し、医師・看護師からのさまざまな情報を得る事で個々のスキルアップも可能にした年度であった。

#### 2. スタッフ教育及び育成と標準化

- ・各個人のスキルアップ
- ・当直業務の標準化
- ・定期的な症例検討会の実施
- ・急性期医療における知識・技術の共有化を図り、安全で質の高い技術支援の提供

各業務の標準化及びスキルアップに向けて業務内容・手順を洗い出し、マニュアルとともにレベル評価を行えるような仕組みを作成中で、当直業務に関しては標準化でき運用中であり。臨床実習指導を通じスタッフ個々の知識・技術の共有化を図り、その上で定期的な症例検討会や急性期医療に関わる勉強会などを実施する事でさらなるスキルアップをしている。

#### 3. 徹底した機器の整備及び安定した機器の提供を行う

- ・院内医療機器の定期点検と日常点検の充実
- ・厚生連技士会としての医療安全への取り組み
- ・ME機器の安全の提供と情報の発信

トリオシステム(PC)を用いて院内の医療機器をID管理する為にバーコードを用い、PC管理にて定期点検(6ヶ月毎)は予定を立て行っている。日常点検は、ICU・HCUのモニター、IABP、人工呼吸器の使用中心点検、及び病棟で使用中心の人工呼吸器・体外式ペースメーカーの使用中心点検等行い、ほ

ば予定通りに定期点検は実施できたと言える。

技師会としての取組みとして麻酔器の知識向上、部品交換を ME で行えるように GE 社の麻酔器講習会を安城更生病院で行った。また他病院所有の点検器具を使用し ME 主体の定期点検の実施できるように協力体制を構築した。海南病院から電気メスの点検機器を借用、当院からは体外式ペースメーカー点検器具を他院へ貸出、点検の実施している。その他、厚生連技士会主体でインシデント関連のインフォメーションの発行を行い医療安全への取組みも行っている。

病院スタッフへの医療機器教育の有り方を見直し、「ME impact」と題し 3 日間、基本的な ME 機器のレクチャーを行った。また、情報の発信として Mechanical Information を当科で作成し各部署に発信し情報を提供している。

#### 4. 医療安全を目的とした研修会の充実

- ・ベテランスタッフに向けた講習会の開催
- ・インシデント・アクシデント事例に基づいた研修会の開催
- ・定期的な医療機器情報の提供と安全対策を目的とした他職種への教育
- ・学生指導力の強化と標準化

ベテランスタッフに向けた講習会の開催と、インシデント・アクシデント事例に基づいた研修会の開催については、合わせて 57 回実施しており、当科内での勉強会もできている。ME 機器に関するインシデント・アクシデントは 163 件もあったので、これから、講習会や研修会回数を増やして行き、年間 100 回を目標に開催していきたい。

定期的な医療機器情報の提供と安全対策を目的とした他職種への教育は、ME から病院職員全体へのインフォメーションを毎月配信しているので、継続して実施する。他職種への教育は、実施時間等が今後の課題にする。

学生指導力の強化と標準化に関しては、教育内容の標準化を課長により実施できており、指導者の指導まで目が行き届いており強化もできていると認識している。

#### 5. 診療報酬改定に応じた増収の計画及び徹底した機器・材料の管理によるコスト削減

- ・高気圧酸素療法の適応疾患の拡大及び治療回数の見直し
- ・RMS のカルテ記載への対応
- ・消耗品の運用・管理の見直しによるコスト削減
- ・医療機器の計画的更新（第 16 次中期計画）

今回の診療報酬改定の中でも当科に関わる治療で最たるものが、高気圧酸素療法に関する改訂であった。これを機に何度もディスカッションを重ね、患者ファーストを念頭に置きつつも治療件数の増加と増収に繋げることができた。RMS も改定に応じた対応を行っているが、スタッフの負担も大きく今後の対策が必要である。コストパフォーマンスに優れた BVM への変更を行った。しかし輸液セット等は今後も関係部署と議論を重ねる必要がある。

第 16 次中期計画では心カテ室のカテラボを更新し、計画からは外れてしまったが順調に人工透析装置の更新は行えている。

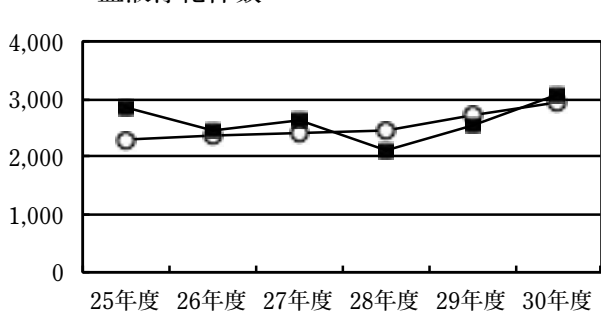
## 2) 平成 30 年度実績

### 1. 血液浄化

#### ①件数

		件数
外	来	2961
入	院	3062
計		6023
末梢血幹細胞		19
C A P D		224
腹水濾過濃縮		44
シャントエコー		923

#### (件) 血液浄化件数



#### ②浄化法別分類

	件数
血液透析 H D	5415
血液濾過透析 I-HDF	525
血漿交換 P E	18
血液吸着 D H P	33
持続血液浄化療法	17

#### ③患者動向分類

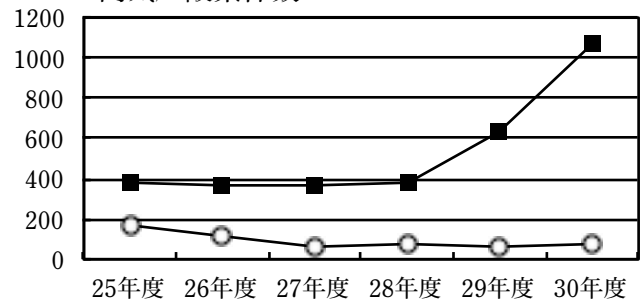
	件数
新規導入	74
急性浄化	11
他院転入	242
転出	257
死亡慢性	12
死亡急性	9

### 2. 高気圧酸素

#### ①件数

		件数
外	来	77
入	院	1066
計		1143

#### (件) 高気圧酸素件数



#### ②科別分類

	件数
内科	41
外科	430
整形外科	56
耳鼻科	297
口腔外科	93
泌尿器科	77
皮膚科	31
形成外科	107
その他	11
計	1143

#### ③疾患別分類

	件数
突発性難聴	299
急性末梢血管障害	76
骨髄炎	102
一酸化炭素中毒	33
腸閉塞	388
皮膚移植	22
難治性潰瘍	145
放射性膀胱炎	70
計	1135

### 3. 心臓カテーテル

#### ①件数

	件数
緊急症例	335
予定症例	948
計	1283

#### ②心カテ分類

	件数
P C I	378
C A G	905
アブレーション	526
3 D m a p p i n g	476
ペースメーカー交換	47
I C D 新規	2
I C D 交換	4
C R T P 新規	4
C R T P 交換	5

	件数
C R T D 新規	3
C R T D 交換	2
体外式ペースメーカー	65
I A B P	35
P C P S	8
ペースメーカーチェック	3110

#### 4. 自己血回収術件数

##### ①科別分類

	件数
心臓外科	90
血管外科	18
整形外科	65
その他	2
計	175

#### 5. 心臓血管外科

##### ①緊急・非緊急

	件数
緊急症例	10
予定症例	80
計	90

##### ②症例分類

	件数
虚血性心疾患	42
弁膜症	30
大動脈疾患	14
その他	4
計	90

#### 6. 脳神経外科・耳鼻科・整形外科 Navigation

##### ①科別分類

	件数
脳外科	27
耳鼻科	23
整形外科	20
計	70

##### ②症例分類

	件数
腫瘍	26
クリッピング	0
FESS	23
頸椎固定	20
その他	1
計	70

#### 7. 集中治療補助

##### ①件数

	件数
診療支援業務	1774

##### ②心カテ分類

	件数
人工呼吸器管理	1483
血液浄化	165
補助循環管理	26
超音波検査	100
計	1774

#### 8. 機器管理

##### ①修理事件数

	件数
院内修理	644
委託修理	77
計	721

##### ②修理機器分類

	件数
心電図モニター	179
人工呼吸器	20
輸液ポンプ	130
血圧計	77
パルスオキシメーター	50
血液浄化関連装置	97
その他	168
計	721

##### ③機器点検件数

	件数
点検件数	34891

## 5. 栄養科

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその結果

#### 1. 栄養管理の充実（栄養食事指導件数の増加）

- ・管理栄養士それぞれが担当病棟の入院栄養食事指導件数の増加を図る  
〔結果〕入院栄養指導件数の増加 前年比 232%（2176 件増）

#### 2. 在庫管理体制の見直し

- ・公認会計士の監査に対応できる業務見直しを行う  
〔結果〕在庫管理マニュアルの改訂、厚生連統一の業務記述書完成

#### 3. 厨房勤務職員の働き方改革の推進

- ・調理師の長時間労働の是正  
〔結果〕早朝出勤時間を一部変更（5：00 出勤を 5：30 出勤へ変更）  
業務を見直し月平均 40 時間の超過勤務時間を削減

#### 4. 衛生管理の充実

- ・適切な温度管理：温冷配膳車の更新（2 台）

### 2) 実績

#### 1. 平成 30 年度 食事提供数

##### ①患者食

	食数（人）	比率
常食	147,098	33.1%
軟食	122,394	27.5%
流動食	1,266	0.3%
特別食 A	149,589	33.7%
特別食 B	23,950	5.4%
合計	444,297	100.0%

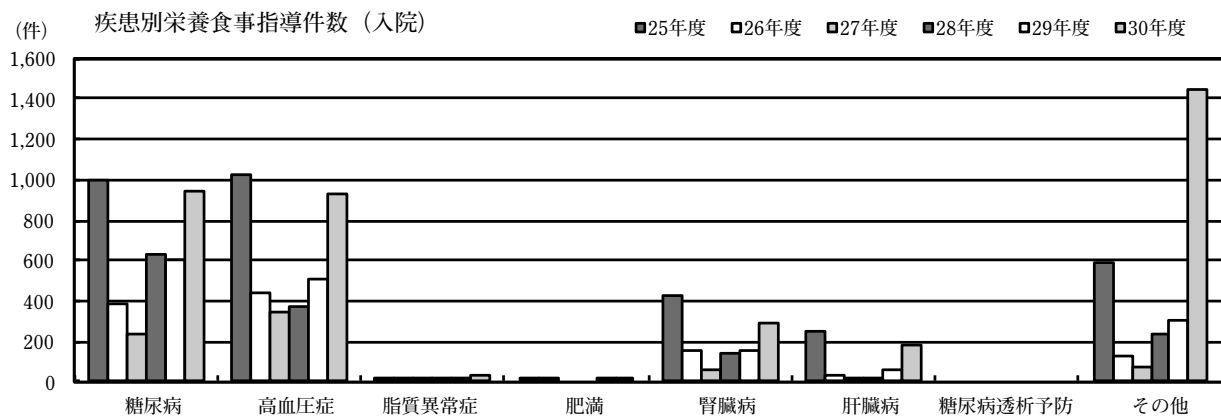
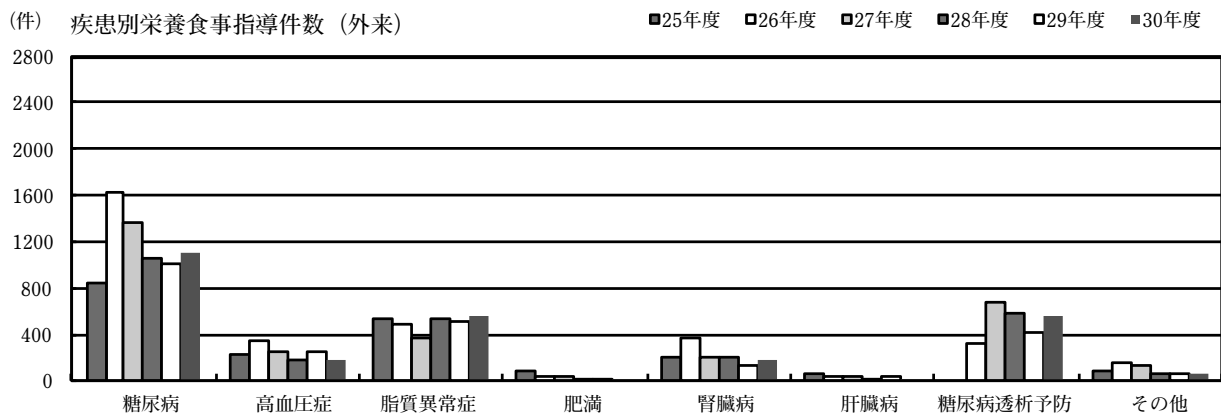
##### ②賄食

食種	食数（人）	比率
職員食	113,153	100.0%
付添食	16	0.0%
合計	113,169	100.0%

#### 2. 平成 30 年度 疾患別栄養食事指導件数

##### ①個別栄養指導

区分	外来（人）	入院（人）
糖尿病	1,103	944
心臓・高血圧症	188	928
脂質異常症	557	30
肥満	11	3
腎臓病	176	287
肝臓病	22	187
糖尿病透析予防	547	0
その他	67	1,449
合計	2,671	3,828



②集団栄養指導

区分	(人)
糖尿病	104
腎臓病	0
ワホ®ｲﾝﾄ講座	39
市民講座	107
合計	250

3. 院外業務

J A あいち 豊田料理教室	(人)
参加者	1,549



## 6. 薬剤部

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 病棟薬剤業務の充実および薬物治療管理の推進

- ・PBPM（プロトコルに基づく薬物治療管理）の推進と拡充

→ 新たに代行で実施できる項目を追加した。病棟での PBPM の件数は 29 年度 1715 件に対して 30 年度は 2212 件と 497 件 (29.0%) 増加した。

- ・病棟薬剤業務における医薬品情報室との連携強化

- ・PMDA への副作用報告

→ 1 年間で 46 件 PMDA へ副作用報告を行った。

- ・プレアボイド報告

→ 1 年間で 134 件プレアボイド報告を行った。

- ・抗 MRSA 薬以外の TDM 介入例数

→ 1 年間で 394 件の TDM の介入を行った。

- ・病棟薬剤業務の拡充

→ 5A 病棟において病棟業務完全常駐化を実施した。

- ・手術室における薬剤師常駐化への準備

→ 慢性的な人員不足により手術室における病棟常駐化は達成できず。

#### 2. DPC に向けた取り組み

- ・後発医薬品使用体制加算（後発医薬品使用割合 80%以上）

→ 後発医薬品使用割合については平成 30 年 4 月で 78.1%から平成 31 年 3 月で 78.2%と加算 3 に留まった。

- ・持参薬管理運用の見直し（持参薬処方支援）

→ 6 月より新運用を全病棟へ拡大し運用の統一を図った。現在まで大きなインシデントもなく運用できている。新運用では従来の運用方法を見直し、報告書作成時間が平均 1.6 分 / 枚短縮できた。また持参薬や情報源を正しく持参いただくよう入院案内説明書を作成した。お薬手帳持参率は平成 29 年度 37.5%から平成 30 年度 45.7%と増加した。

#### 3. 診療機能の充実

- ・通院治療センターにおける服薬指導の充実

→ 患者指導件数は 1,212 件行い、うちがん患者指導管理料は 214 件算定した。

- ・入退院支援センターへの移行に向けた体制整備

→ 平成 30 年度は対象患者を全麻患者、局麻患者、整形外科（ミエロ）、内科（PCA・CAG 等）、泌尿器科（P 生検・ESWL 等）、眼科、形成外科、口腔外科へ拡大し、科別・パスごとの取り決めを医師・看護師と協議し一覧にまとめ効率化に努めた。薬物治療を管理（休薬期間の提案、アドヒアランスの

改善、ポリファーマシーの削減、薬剤追加の提案)、また必要な情報を医師や他の医療スタッフにフィードバックし、薬剤面からの安全に寄与することができた。8月より服薬確認枠を作成し予約入院枠の全身麻酔患者より持参薬報告書を作成した。8月～3月の実績で平均101.7件/月。また入退院支援センター面談件数は平成29年度1919件であったが平成30年度は3486件と増加した。

- ・抗がん剤投与により発症するB型肝炎対策ガイドラインを順守するためのチェック機能の充実  
(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体検査 目標実施率100%)

→ 実施率 HBs抗原：98.1%、HBs抗体：92.6%、HBc抗体：92.6%

- ・手術室における薬剤師常駐化への準備

→ 平成30年度においては担当が変更になったため、薬剤師常駐化を見据えた手術室内での薬剤師業務の全体像の把握を重要視した。また、常駐化された際の薬剤師業務に関する情報収集を行った。

#### 4. 病院薬剤師連携および薬-薬連携の強化

- ・患者情報の提供及び共有化に向けての検討

→ 豊田病院薬剤師連絡協議会を2回開催し、情報交換を行った。また、今後の方向性を踏まえ、本協議会に豊田加茂薬剤師会の役員に加わっていただき、それに伴い、会の名称も「豊田みよし薬剤師連絡協議会」へ改めることとなった。さらに、これを機に薬薬連携を更に深めるため、来年度より開催頻度を年3回へ増やすことで合意を得た。

#### 5. 認定・専門資格取得の推進

- ・認定実務実習指導薬剤師の育成(長期実務実習生受け入れ)

→ 実務実習指導薬剤師の資格を1名が取得した。(全8名)

- ・各種専門・認定薬剤師の資格取得への指導・教育

→ 各種専門・認定薬剤師資格取得のため、講習会および学会等に参加した。

日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師 1名合格(全2名)

日本病院薬剤師会妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名合格(全1名)

#### 6. 供給センター(SPD)の管理体制の充実

- ・物流システム活用の充実

→ 薬品請求回数を1日1回より3回へ変更しており、物流システムによる請求入力の利用について啓蒙し、薬品管理室からの臨時請求払出し件数の削減に取り組んだ。

目標値：薬品臨時請求数30,000以下/年に対して、実績3月末計：25,322件であった。

- ・不動薬品・材料および死蔵薬品・材料の整理及び削除、部門定数外薬品・医療材料管理強化

→ 不動薬品として13品目を採用中止。

→ 不動材料として在庫無、2年間購入実績無のリストを作成し採用中止とした。

(規格違いで使用実績のあるものは除く)

- ・手術室消耗品材料のコスト削減、定数見直し、シングルユースへの取り組み

→ 手術室と協力し、単回使用材料の適正使用を推進した。

滅菌センターで手術室以外の不適切使用の監視を行い、報告される体制とした。

## 7. 治験業務の充実

- ・ 治験受託件数の拡大を目的とした院内体制の整備
- 新規治験を4件受託した。専従の院内治験コーディネータ2名を配置したことにより、従来外部の治験コーディネーターに委託していた業務について、院内治験コーディネーターを利用する形で2件治験を受託することができた。うち1件はがん領域に関連する治験であり、がん領域の治験についても受託することができた。

## 8. Quality Indicator

- ・ 退院指導実施率（退院指導患者数 / 入院実患者数）は30.5%（退院指導患者数5,098名、入院実患者数16,732名）であった。

## 2) 平成30年度実績

薬剤部は医薬品および医療材料の安定供給、適正な在庫管理とともに安全かつ適正に使用するために下記の事項に取り組んだ。

### 1. 医薬品情報提供

従来と同様に、院内医薬品情報誌『DI-News くすりの時間』と医薬品情報一元化システム『JUS-DI』の充実に努めた。また、旧薬剤部ホームページから抗癌剤化学療法のレジメン部分をJUS-DIに完全移行した。

薬事委員会の事務局業務を行い始めた。資料作成から議事進行補助まで鋭意実施している。豊田加茂薬剤師会の窓口も医薬品情報室に移譲され、院外処方協議会の準備も担当した。

### 2. 病棟業務

ポリファーマシーに取り組みを行った。その結果平成30年度は薬剤総合評価調整加算を28件算定することができた。またプレアボイド報告（134件）および副作用報告（43件）と昨年度に続いて積極的に報告を行った。

### 3. 調剤業務

お薬手帳の推進のため投薬窓口において患者への声掛けを行った。

医療安全対策としてTS-1・ゼロダのチェックシートの見直しを行い投与量・休薬のダブルチェックを行う新運用に変更した。

### 4. 持参薬管理

6月より新運用を全病棟へ拡大し運用の統一を図った。新運用では従来の運用方法を見直し、報告書作成時間が平均1.6分/枚短縮でき効率化が図れた。

### 5. 注射調剤

部門システムを利用し調剤・監査の正確性と効率性の向上に努めた。不動在庫の有効利用により経済面での効果向上に努めた。注射薬の個人別セット業務を通して適正な注射薬品の使用推進に努めた。後発薬品が使用できない場合の先発薬品への処方変更や手技・用法の修正等のPBPMに取り組んだ。

## 6. 薬品・医療材料の管理

薬品・医療材料においては実施棚卸しによる正確な在庫数の把握と、定数による実施補充システムにより適正な在庫管理、また定期的な期限チェックを行い不動・死蔵品の減少に努めた。医療材料において、病棟カセットの見直し、定数の変更と期限切迫になりやすい品目をカセットから外した。期限切迫品を使用部署へ回すなどの対応を引き続き行った。薬品管理においては、物流システムによる請求を啓蒙し、紙面による不要不急の臨時請求減少に努めた。

## 7. 化学療法における業務体制の見直し

週2日、化療担当が全日2名体制となり、調製指示をスムーズに行うことができ、午後の患者指導依頼にも対応しやすくなった。

## 8. NST（栄養サポートチーム）への参加

NSTチームの一員としてラウンドに参加し、低栄養患者栄養管理評価による栄養管理を行った。また栄養サポート委員会の一員として栄養サポート加算を算定できる体制を維持している。

## 9. 緩和ケアチームへの参加

緩和ケア回診に週2回参加し、薬学的視点から積極的に処方提案を行った。在宅療養を希望する患者を支援するため、地域医療福祉連携部や院外薬局など、院内外の関係部署と連携した。特に在宅で注射用医療用麻薬の持続投与を行う場合においては、処方提案から薬局調製に至るまで、主体的に関与した。がん疼痛コントロールマニュアル、医療用麻薬初回投与量マニュアルを更新し、全ての患者が均一な緩和ケアを受けられるよう努めた。

## 10. ICT（感染対策チーム）・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）への参加

抗菌薬使用届の集計や病棟薬剤師との情報共有をもとに抗菌薬ラウンドや血液培養ラウンドに参加し抗菌薬適性使用の評価も行った。加えて、感染防止対策加算、感染防止対策地域連携加算の対象となるカンファレンスや相互ラウンドにも参加した。これら定期的で開催されるカンファレンスなどだけでなく、ICT・ASTの一員として感染対策室、微生物検査室等と随時連絡を取り合い院内の感染対策および抗菌薬適正使用に関与した。抗菌薬適正使用マニュアルの作成や院内感染対策マニュアル改訂を行った。

## 11. 治験管理室業務

■ 下記手順書等を新たに制定・改訂し、院内掲示板に掲載し院内に周知を行った。

＜手順書等の制定＞

・ 特定臨床研究における利益相反管理に関する標準業務手順書

＜手順書等の改訂＞

・ 「愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院における医学系研究等の審査・実施に係る標準業務手順書」

■ GCP、各種倫理指針に則り、適正かつ効率的な治験、臨床研究等の実施に取り組んだ。臨床研究法が施行され、特定臨床研究として実施する研究が合計12件あったが、手順書を制定し、実施体制の整備を行った。

＜治験＞新規受託治験4件

＜臨床研究等＞新規医学系研究実施審査38件

ヒトゲノム・遺伝子解析研究実施審査 3 件

特定臨床研究 12 件

症例報告審査 12 件

<医療倫理>倫理審査 2 件

■その他

- ・厚生労働省の臨床研究倫理審査委員会報告システムに当院の治験倫理審査委員会の委員名簿、会議の記録の概要、手順書等を更新した。
- ・がん診療連携拠点病院等の整備に伴い病院ホームページを企画室と連携して作成・更新した。
- ・臨床研究セミナーの開催
- ・医療倫理全体講演会の開催

12. 院外処方箋発行

豊田加茂薬剤師会と院外処方せん発行にともなう問題について 2 回の協議を行った。

13. 豊田病院薬剤師連絡協議会

「各施設におけるポリファーマシーへの対応と課題」、「各施設における吸入指導の薬薬連携の進捗報告」、「残薬調整に伴うヒヤリハット事例の紹介」、「施設間情報連絡書（東名古屋病院の取り組み）の紹介」等のテーマにて各病院間の情報交換を行った。

14. 実務実習

長期実務実習 2～3 期（各 11 週間）、計 8 名の実習生を受け入れ指導にあたった。

	1 期 (5/7～7/22)	2 期 (8/6～10/21)	3 期 (11/5～1/27)
名古屋市立大学		1	
名城大学		2	
愛知学院大学		1	2
金城学院大学			2

15. 教育

主に医師を講師とした薬剤師勉強会を 1 回 /2 ヶ月に開催した。

4 月	51 名	整形外科 金山医師	院内外薬剤師
6 月	65 名	循環器内科 金子医師	院内外薬剤師
8 月	56 名	消化器内科 西村医師	院内外薬剤師・薬学生
10 月	60 名	薬剤部 近藤薬剤師	院内外薬剤師・薬学生
12 月	56 名	歯科口腔外科 兼子医師	院内外薬剤師・薬学生
2 月	61 名	神経内内科 服部医師	院内外薬剤師・薬学生

平成 30 年度（主な業務指標）

外来処方せん枚数	56,072 枚	薬剤情報提供（外来患者）	42,443 件
院外処方せん枚数	127,262 枚	薬剤管理指導（入院患者）	14,112 件
入院処方せん枚数	93,063 枚	無菌製剤件数	10,983 件
注射せん枚数	112,779 枚	分業率	71.9%
持参薬報告書作成件数	10,049 件	吸入指導件数	128 件
プレアボイド報告件数	134 件		

①処方せん枚数と調剤数

	外来		入院	
	30年度		30年度	
	処方せん枚数	調剤数	処方せん枚数	調剤数
内科	23,297	91,805	47,420	127,015
精神科	2,596	7,431	898	1,394
小児科	707	1,329	1,477	1,767
外科	1,927	7,383	9,044	19,137
整形外科	4,648	11,727	6,349	19,623
形成外科	669	1,201	1,064	2,219
脳神経外科	426	1,349	3,391	8,004
呼吸器外科	172	435	1,511	3,061
心臓外科	161	852	2,814	5,301
皮膚科	2,236	6,110	2,320	4,523
泌尿器科	2,599	5,978	2,696	6,022
産婦人科	1,125	2,128	4,091	5,682
眼科	1,213	2,191	3,546	4,691
耳鼻科	1,157	3,265	2,856	5,066
放射線科	52	128	12	13
麻酔科	537	1,360	28	59
歯科口腔外科	531	1,058	3,183	4,271
救急科	12,019	17,936	363	513
計	56,072	163,666	93,063	218,361

## ②注射処方せん枚数と調剤数

	30年度
処方せん枚数	118,580
調剤数	359,442

## ③無菌製剤

	30年度
無菌製剤件数	10,983

## ④薬剤管理指導

	30年度
薬剤管理指導件数	14,112
麻薬加算件数	425
退院指導件数	4,740

## ⑤薬剤情報提供

	30年度
薬剤情報提供件数	41,699

## ⑥外来患者面談件数

	30年度
吸入指導	128
レブラミド等	143

## ⑦治験協力業務

	30年度
治験協力件数	13
被験者数	29

## ⑧院外処方せん発行状況

	30年度
処方せん発行枚数	127,262
分業率	71.9

## ⑨医薬品に関する問い合わせ(医師・看護師などから)

	30年度
問い合わせ件数	1,895

## ⑩時間外業務

	30年度
外来処方せん枚数	14,043
その他件数	33,336

## ⑪NSTラウンド参加状況

	30年度
NSTラウンド件数	914

## ⑫別記：化学療法無菌製剤(③無菌製剤再掲)

	30年度
入院調製件数	1,996
外来調製件数	5,777

## 7. 看護部

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 看護の質向上へ向けた取り組み

##### (1) 看護実践に繋がる教育体制の構築

- ・ 看護協会の“急変予測”研修に 24 名参加
- ・ 29 年度の死亡事故事例の事例検討を課長会で実施
- ・ 定看護師による急変対応シミュレーション研修開催  
各部署の教育委員にて現状把握、教育計画の立案・実施  
ナラティブを用いて看護の質向上に取り組んだ

##### (2) ナーシングスキルを使った教育体制の構築

- ・ 4 月よりナーシングスキル導入  
ナーシングスキル視聴を新人研修の事前課題で実施  
部署で、夜勤導入までにどの項目を視聴するかを次年度の部署教育に盛り込んだ  
膀胱留置カテーテルの誤挿入があり、全スタッフに膀胱留置カテーテルの視聴を実施  
看護補助者の技術研修（移乗）に活用

#### 2. 看護師定着へ向けた取り組み

各部署で部署目標に入れ取り組むよう周知

目標設定ワークショップを開催（5 月 23 日）課題・対策を協議し課長間で共有

##### (1) 各部署の取り組み

###### 1) 承認の風土の醸成

- ・ 承認し合う環境づくりに関するもの ・ やりがいや看護の実感に関するもの
- ・ 満足感・達成感に関するものなど

###### 2) 業務負担軽減の推進

- ・ 業務負担軽減を効率化に関するもの ・ 知識不足・技術不足・インシデントなどによる負担と  
とらえ、安全の確保や看護力の向上に関するもの
- ・ 有休消化や時間外労働など労務環境に関するものなど
- ・ 8 月には部署分析を行い離職防止に向けての対策を追加・修正・具体化した。

###### 3) 担当副看護部長による進捗状況の確認と指導・支援を実施

- ・ ケアする時間の確保（業務削減）・面談（思いを聞く・承認・キャリア支援）
- ・ 有給付与・長期休暇付与・モチベーションシート・応援体制・マインドについて
- ・ 残務調整 ・ 新人教育の負担軽減 ・ 患者の良い変化の共有 ・ きらり看護の交換
- ・ 各種カンファレンスの充実（看護の実感 ・ スタッフ間の承認）・ナラティブ・希望を考慮した勤務表・ほめる風土・業務整理などである。

##### (2) 看護部全体の取り組み

- ・ 駐車場の利用・3ヶ月以内の入院時間診票・輸液セット・3方活栓の変更
- ・ オーダーの締め切り時間の再周知・指示簿の見直し・停電時の対応
- ・ 有休についての考え方の周知
- ・ 時間外労働の調査と結果のフィードバック

- ・ 病床管理についての協議など

職務満足度調査の昨年との比較：55 項目中、昨年より上昇した項目は 41 項目、下降した項目は 13 項目、同じものは 1 項目であった。

離職率：昨年 13.7%、今年度（H30 年度）10.9%

### 3. 診療報酬改定への対応

#### （1）急性期一般入院料 1 の適正運用と重症度、医療・看護必要度基準越え 30%の維持

- ・ 毎月の勤務表確認と有休付与（作成時・10 日・20 日）
- ・ 計画的応援実施（5C・ICU・手術室より）9 月・12 月・3 月
- ・ 10 月：看護師確保状況について看護課長会で伝達  
看護学校訪問：延 52 校 学内説明会 9 校：136 名 合同説明会 3 回：124 名  
院内説明会 13 回：106 名 インターンシップ 9 日：50 名
- ・ 11 月：入院料維持の難渋に対し対策を看護課長会で伝達（1 月を計画的に落とす）
- ・ 12 月：急性期一般入院料 1 について看護課長会で講義
- ・ 看護記録委員会による必要度の監査（5 月・11 月（全頭））  
ワイズクリッパーによる評価訓練・・・1 名を除いて、評価に関わる全職員終了  
各部署での勉強会の実施・・・11 月～12 月  
院内指導者研修（院外）参加・・・2 回：50 名合格

#### （2）16 対 1 看護職員夜間配置加算の適正運用

- ・ 毎月の勤務表確認
- ・ 週末勤務者が減ることに対し、予測患者数の算出と日当直課長への伝達・・・1 月・2 月

#### （3）25 対 1 急性期看護補助体制加算の適正運用

- ・ 今年度は 50 対 1 を算定

#### （4）DPC 特定病院群（Ⅱ群）の維持（クリニカルパス見直し・効率的なベッドコントロール）

- ・ 予約入退院の運用、時間外入院が 1 部署に集中しない運用を作成
- ・ 病床調整時の看護課長との連携
- ・ 連携部署が円滑に稼働しているかの状況把握

#### （5）入退院支援センターの立ち上げ・運用

入院にかかる処理時間が平均約 1 時間であったが現在は 20 分以内となった。

外科・整形・眼科・耳鼻科・泌尿器科・呼吸器外科に対応している。

- ・ 月 200 件程度、年間 2492 件
- ・ 入退院支援加算算定件数 年間 1566 件



## 2) 平成 30 年度実績

### 1. 合同就職説明会

日程	名称	参加人数
1月14日	ナース専科	49人
2月11日	マイナビ	40人
2月12日	中日新聞	34人
合計		123人

### 3. インターンシップ

日程	参加人数
3月	24人
8月	26人
合計	50人

### 2. 学内説明会

日程	名称	参加人数
1月27日	椋山女学園大学	9人
3月3日	人間環境大学	20人
3月17日	豊橋創造大学	14人
4月4日	日本赤十字豊田看護大学	8人
4月4日	穂の香看護専門学校	4人
4月21日	豊田地域看護専門学校	8人
8月8日	修文大学	12人
合計		75人

### 4. 就職説明会・施設見学会

日程	新卒者	既卒者	参加人数
4月21日	11人	2人	13人
5月19日	6人	0人	6人
6月2日	4人	2人	6人
6月16日	5人	1人	6人
7月7日	9人	1人	10人
7月21日	4人	0人	4人
8月4日	19人	0人	19人
8月18日	12人	2人	14人
9月1日	9人	0人	9人
2月16日	3人	0人	3人
3月2日	4人	0人	4人
3月28日	23人	0人	23人
合計	109人	8人	117人

### 5. 学生・実習生受け入れ状況

#### ①中学生体験

学校名	日程	人数
若園中学校	6/6～7	3人
猿投中学校	5/31～6/1	2人
保見中学校	6/14～15	1人
豊南中学校	11/6～7	3人
梅坪台中学校	6/21～22	3人
益富中学校	6/13～14	2人
藤岡南中学校	11/29～30	2人
朝日丘中学校	10/17～18	3人
逢妻中学校	6/6～7	3人
みよし市立北中学校	11/7～8	3人
井郷中学校	6/21～22	1人
みよし市立三好丘中学校	12/5～6	1人
合計人数	—	27人

## ②高校生体験

主催	日程	人数
愛知県主催	8/1	29人
病院主催	7/26	30人
病院主催	8/23	30人

## ③看護学生

学校名	日程	人数(延人数)
加茂看護専門学校 1年生	8日間	42人(336)
2年生	40日間	40人(1600)
3年生	106日間	38人(4028)
豊田地域看護専門学校 2年生 小児	9日間	15人(135)
内科	13日間	20人(260)
3年生 小児	9日間	24人(216)
内科	13日間	14人(182)
日本赤十字豊田看護大学 1年生 基礎	5日間	22人(242)
日本赤十字豊田看護大学 1年生 成人	10日間	23人(230)
日本赤十字豊田看護大学 3年生 統合	7日間	8人(56)
日本福祉大学看護学部 3年生 小児	6日間	11人(66)
日本福祉大学看護学部 3年生 母性	6日間	15人(90)
穂の香看護専門学校 3年生 周手術期	9日間	9人(81)
穂の香看護専門学校 3年生 手術室	14日間	23人(46)
人間環境大学 国際看護	5日	1人(5)
認定看護師教育課程実習 脳卒中リハビリテーション	23日間	3(69)
認定看護師教育課程実習訪問看護	21日間	2(41人)
県立看護大学 訪問看護	4日間	11人(44)
日本赤十字豊田看護大学 訪問看護	7日間	4人(28)
弥富看護専門学校【通信】 訪問看護	4日間	4人(16)

## 8. 医療安全管理部

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. インシデントレポート集計・分析

インシデントレポート件数は総数 4806 件と昨年度より 436 件減った。3 b レベルのインシデントについては 4 M4E 分析を実施。インシデントカンファレンスから必要と思われる部門へラウンド実施。事実確認、改善策の検討等行った。その関わりの中で必要と思われる事をセーフティーニュース、看護部お便りにして周知した。

#### 2. 医療安全対策地域連携加算ラウンド

平成 30 年度より地域の施設にて医療安全加算 I を取得している施設と加算 II を取得している施設が集まり、それぞれグループに分かれてラウンドを実施。

目的としては①自己評価の実施を通して、自施設における医療安全管理体制整備の現状評価を実施する②他施設から評価を受け、自施設の医療安全管理体制を客観視し、課題に気づく③医療安全に関わる地域連携を図る施設間での情報共有により、課題克服のヒントを得となっている。

当院とトヨタ記念病院、豊田西病院とが 1 グループとなり下記日程でラウンドを実施した。

10 月 4 日 豊田厚生病院・豊田西病院⇒トヨタ記念病院

10 月 25 日 トヨタ記念病院・豊田西病院⇒豊田厚生病院

平成 31 年 2 月 22 日 トヨタ記念病院・豊田厚生病院⇒豊田西病院

#### 3. M & M カンファレンス開催

インシデントレポートや医療事故報告から情報の共有が必要と思われる事案に対して、各部署から選出されたスタッフが参加。毎月 1 回定例化している。診療部を始め各部署からも参加。幅広い視点から有意義な意見交換ができた。

#### 4. 啓発活動の実施

全体講演会と医療事故ワークショップ、医療安全フォーラムを開催

医療事故ワークショップは、当院の顧問弁護士にて事例の振り返りを実施。診療部を中心として他部門からも参加し意見交換を行った。記録の重要性、普段から医療者間、医療者と患者家族間のコミュニケーションを円滑にしておくことが必要であるという事を学んだ。

医療安全フォーラムは各部門で 1 事例を分析・改善策立案・実践・結果を報告していただき冊子にして配布。昨年度は文字が小さくて見にくいという声があったため、今年度は電子カルテ内にも掲示し、見やすくした。冊子及び電子カルテからリアルタイムに読めるように工夫した。

#### 5. 医療事故対応（事例検討会）の実施

12 事例実施

#### 6. 医療事故調査制度にともなう死亡患者の確認

医療事故調査制度の対象事例はなし。

#### 7. マニュアルの整備

転倒転落について

転倒転落発生時初期対応フローチャート、転倒転落発生時テンプレート、転倒転落アセスメントスコアシ

一ト、患者・家族説明用紙を作成  
 内服管理について  
 内服アセスメントフローシートを作成

## 2) 平成 30 年度実績

### 1. インシデント報告件数 (平成 30 年度)

職 種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診 療 部 (臨床研修部)	66 (41)	77 (43)	45 (28)	75 (41)	54 (31)	51 (33)	80 (37)	83 (50)	52 (41)	54 (24)	64 (43)	52 (34)	753 (446)
放射線技術科	8	10	10	6	2	7	6	6	7	4	8	12	86
臨床検査技術科	14	17	18	15	18	18	9	13	15	9	12	14	172
リハビリテーション技術科	1	5	7	4	6	6	1	7	2	4	1	10	54
臨床工学技術科	4	4	3	1	2	1	6	0	6	2	6	1	36
栄 養 科	3	5	2	0	2	1	6	4	5	5	0	6	39
薬 剤 部	11	16	12	10	7	12	8	9	13	12	6	5	121
看 護 部	234	319	241	274	322	238	287	253	261	307	289	270	3295
事 務 部	10	4	6	4	4	2	8	5	4	8	9	4	68
地域医療福祉連携部	2	3	4	3	4	0	9	9	10	14	6	9	73
保 健 事 業 部	4	3	5	3	1	2	3	7	4	1	0	4	37
そ の 他	11	5	12	4	3	2	6	2	1	7	14	5	72
合 計	368	468	365	399	425	340	429	398	380	427	415	392	4806

内 容 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬 剤	100	130	98	122	147	116	120	116	113	154	126	116	1458
輸 血	4	2	3	6	4	5	2	3	3	4	4	1	41
治療、処置	58	60	37	45	50	35	51	57	36	51	47	38	565
医療機器等	10	14	13	13	8	5	20	8	13	10	18	7	139
ドレーン・チューブ	35	46	34	35	39	34	37	32	42	45	53	45	477
検 査	41	70	50	71	48	49	46	54	56	37	45	61	628
療養上の世話 (転倒・転落)	45 (24)	86 (51)	68 (43)	60 (36)	77 (44)	43 (23)	83 (51)	78 (43)	68 (35)	67 (36)	71 (38)	75 (49)	821 (473)
そ の 他	65	60	62	47	52	53	70	50	49	59	51	49	667
合 計	358	468	365	399	425	340	429	398	380	427	415	392	4796

### 2. M & M カンファレンス開催日程・参加人数

月 ・ 日	参加者	月 ・ 日	参加者
4月25日	12名	10月31日	14名
5月30日	20名	11月28日	15名
7月25日	14名	12月26日	20名
8月22日	15名	1月4日	8名
9月26日	15名	2月27日	13名

### 3. 教育活動内容

研修企画：実践

4月4日	新人職員研修	8月14日	薬剤部実習研修
4月5日	研修医研修	9月13日	看護部ラダー レベルⅡ
4月10日	看護師新人研修	11月13日	薬剤部実習研修
8月9日	看護部ラダー レベルⅠ	12月18日	看護補助者研修

体講演会開催

- ・7月10日 「症例から学ぶ医療安全」 講師：服部直樹先生（医療安全管理部長）  
ビデオ研修 7月11日 7月27日 7月30日  
参加者：760名

医療事故ワークショップ

講師：愛知県厚生連顧問弁護士 服部千鶴先生

内容：実際に起こった医療事故をもとに、原因の究明、再発防止の検討

目的：事故体験を共有することで、意識と行動の変化を促す。

平成31年2月2日参加者107名(医師58名 研修医16名 看護師22名 コメディカル11名)

平成31年2月16日参加者91名(医師46名 研修医11名 看護師22名 コメディカル8名)

第10回 医療安全フォーラム

目標：各部署が自部署事例の分析を行い、対策を見出し、改善に取り組むことが出来る

対象：全部署

方法：各部署の取り組み報告を冊子にまとめ各部署に配布及び電子カルテ内に掲示

期間：平成30年1月15日（火）～平成30年1月29日（火）冊子配布期間

電子カルテ（掲示板）には平成30年度2月15日まで掲示

平成30年度2月15日～2月28日 アンケート実施・集計

参加者 1226名

※興味をひいた取り組み内容の部署

- 1位 臨床検査技術科「病理診断結果の未読率の低減」
- 2位 3B病棟「内服薬の取り出し間違い、取り出し忘れを減らす取り組み」
- 3位 栄養科「調理師職員の働き方改革」

パトロール実施

6月15日	時刻確認パトロール
8月17日	リストバンド装着確認パトロール
2月15日	患者確認パトロール

医療安全推進週間（11月25日～11月30日）

全職員の名札に黄色リボンを付け医療安全推進週間の意識付けを行う

目的：「患者の安全を守るための共同行動（PSA）」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、またこれらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的としている（厚生省ホームページより抜粋）

対象：全患者、全職員

患者向け⇒「正しい受診の方法」ポスター展示

職員向け⇒11月26日、27日 展示

- ・行動制限用具、
- ・輸液ポンプ、シリンジポンプ、酸素マスク（低流量用を含む）
- ・便利なりハビリ用具

11月26日 実演

- ・医療機器の操作（バッグバルブマスク、低圧持続吸引器など）
- ・各種行動制限用具を実際に装着し体験する 体幹ベルトの正しい装着方法

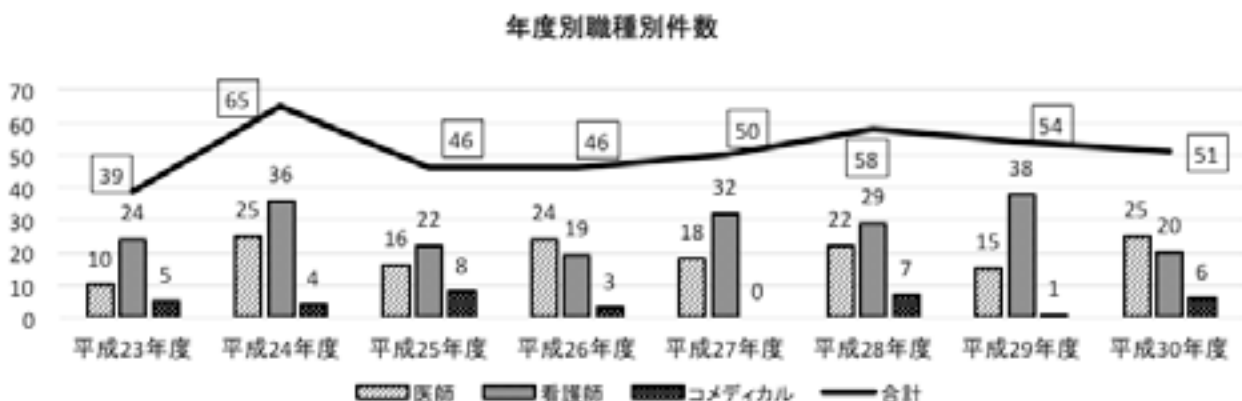
掲示物発行：医療安全情報（医療事故情報収集等事業） セーフティニュース、  
看護部お便り 1回/月

## 9. 感染制御部

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 針刺し・切創・粘膜曝露対策

針刺し・切創・粘膜曝露についてのデータ収集を前年度より継続して実施した。医療安全対策委員会・安全衛生委員会メンバーとともに、針刺し防止ワーキンググループでの活動の中で、針刺し・切創・粘膜曝露についての検討、介入を実施した。平成 30 年度は、51 件/年の事例が発生し、前年度（54 件/年）よりわずかだが減少した。また、針刺し・切創・粘膜曝露に対する職員への啓蒙として、針刺しニュースの発行（不定期）を行った。



#### 2. リンクナース活動の充実

リンクナースの感染対策に対する知識の底上げとして、計 6 回の勉強会を開催し、それぞれの部署で伝達講習を実施した。参加率はほぼ 100% を達成することができた。また、院内パトロールチーム、標準予防策チーム、血液体液曝露チームに分かれ、それぞれグループ活動を展開した。院内パトロールチームは、毎月各部署から報告があるパトロール結果をアセスメントし、改善策を検討、廃棄物の処理に焦点を絞って介入した。標準予防策チームは、毎月の擦式アルコール製剤の消費量を調査し、適切なタイミングで実施できているか直接観察法を実施した。直接観察法を実施後、擦式アルコール製剤の消費量が増加した。血液体液曝露チームは、針捨てBOXの変更、針捨てBOX使用状況等を調査するなど、看護師の針刺し件数減少に働きかけることができた。

### 2) 平成 30 年度実績

#### 1. 教育活動

開催月	研修会名
平成 30 年 4 月 4 日	新入職員研修（全職種対象）「院内感染対策の実際」
4 月 9 日	新入職員研修（看護師対象）「感染対策の概要」「針刺し、血液・体液曝露防止対策の実施と事故後の対応」他
6 月 13 日	リンクナース会「感染対策の基本①標準予防策編」
8 月 8 日	リンクナース会「感染対策の基本② CAUTI・CRBSI 編」
8 月 25 日	訪問看護師（地域）「在宅ケアにおける感染予防の基本的な考え方」
9 月 11 日	日本赤十字豊田看護大学統合実習「当院の感染対策」

開催月	研修会名
10月1日	中途採用者研修（全職種対象）「院内感染対策の実際」
10月2日	全体講演会（全職員対象）「安心のための感染対策 明日のための AMR 対策」 トヨタ記念病院 感染症科部長 川端厚 先生
10月4日	ラダーⅠ研修「標準予防策・感染経路別予防策」
10月10日	リンクナース会「感染対策の基本③針刺し・切創・粘膜曝露編」
10月16日	看護助手会議「感染対策勉強会」
10月17日	ToRIC 会議「感染対策 Q&A」
11月1日	ラダーⅡ研修「デバイス関連感染・手術部位感染」
11月7日	豊田東高校「感染対策の基本」
11月13日	ボランティア対象「最近流行の感染症対策」
11月15日	豊田市役所職員対象「正しい予防対策でインフルエンザを予防しよう」
11月20日	クラーク会議「感染対策の基本」
11月21日	リハビリテーション科対象「感染対策の基本」
11月21日	地域連携看護技術研修会「どんな感染も怖くない対策を目指して」
12月12日	リンクナース会「感染対策の基本④正しい培養検査編」
12月～1月	感染対策講習会（全職員対象）「手指衛生について（15分研修）」
1月11日	地域連携看護技術研修会「STOP! 感染拡大～感染対策の基本から、吐物処理の実際まで～」
2月21日	地域連携看護技術研修会「STOP! 感染拡大～感染対策の基本から、吐物処理の実際まで～」
3月5日	全体講演会（全職員対象）「関係ないと思いませんか、薬剤耐性菌対策」 名古屋大学 助教 森岡悠 先生
3月13日	豊田加茂医師会主催（地域対象）「医療関連感染対策～当院の取り組み～」

## 2. 地域連携

### 《感染防止対策加算Ⅰ・Ⅱカンファレンス》

開催月	内容	主催
平成30年4月18日	昨年度の感染症の統括と今年度の活動について	トヨタ記念・豊田厚生共同開催
6月20日	平成29年度の情報共有	トヨタ記念病院
8月22日	参加施設の取り組み 「抗菌薬適正使用支援チームの立ち上げ」	トヨタ記念病院
10月17日	参加施設の取り組み 「病院機能評価を受審して」	豊田厚生病院
12月19日	地域の針刺し・切創・粘膜曝露への対応	豊田厚生病院
2月20日	抗菌薬・消毒薬の使用状況報告	トヨタ記念・豊田厚生共同開催

### 《感染防止対策加算Ⅰ×Ⅰラウンド》

開催月	内容	評価施設
平成30年7月27日	豊田厚生病院ラウンド	トヨタ記念病院
平成30年9月14日	トヨタ記念病院ラウンド	豊田厚生病院

## 3. ICT ラウンド（毎週金曜日）

毎回テーマを絞って、病棟・外来系のラウンドを実施。

4月…標準予防策（ゴミの分別、滅菌物の管理等）

5月…環境整備（ゴミの分別：施設課合同ラウンド）

6月…手指衛生（アルコール手指衛生、流水と石けんの手洗いチェック）

7月…血流感染防止（点滴刺入部の観察、ミキシング台周囲の環境整備）

8月…尿路感染防止（尿廃棄時の防護具着脱等）

9月…感染経路別予防策（空気感染予防、N95 マスク等）

10月…個人防護具（防護具着脱順序の確認、嘔吐物処理時の防護具等）



- 11月…環境整備（滅菌物の管理、薬液管理等）
- 12月…手指衛生（シンク回りの乾燥、看護助手の手指衛生）
- 1月…機能評価前チェック（ゴミの分別、ノート PC キーボードカバー等）
- 2月…個人防護具（吸引時の防護具の選択）
- 3月…接触感染予防（パソコンキーボード培養、アルコール手指衛生手順確認）

4. 血液培養ラウンド（毎週水曜日）・抗菌薬ラウンド（毎週火曜日）

- ・血液培養ラウンド  
血液培養陽性：938 例に介入      うち血流感染：38 例
- ・抗菌薬ラウンド  
305 症例に介入

5. ICT ニュースの発行（毎月発行）

発行月	テーマ
平成 30 年 4 月	見直そう！手指衛生
5 月	AST（抗菌薬適正使用支援チーム）を立ち上げました！
6 月	他人事ではない！麻疹（はしか）の流行
7 月	ゴミの分別、正しくできていますか？
8 月	災害と感染症について
9 月	ドレッシング材が変更になりました！
10 月	風疹の流行が話題となっています！
11 月	インフルエンザの季節がやってきました
12 月	環境整備について考えよう
1 月	インフルエンザ警報発令中！
2 月	性感染症について①
3 月	性感染症について②

## 10. 地域医療連携課（地域医療連携係）

急性期病院として期待される要望事項の把握に努め、地域医療機関との交流を密にし、地域医療連携がスムーズに行えるように受け入れ体制を充実させる。

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 地域医療機関との連携強化

##### ①地域医療機関への表敬訪問の実施（106 件）

- ・西三河北部医療圏の医療機関との連携強化のため、副院長と共に医療機関への訪問を行うとともに、心臓外科代表部長、循環器内科部長による開業医訪問も開始した。
- ・老人施設からの CPA 救急搬送や救命救急センターの受診について、各施設へ赴き事情を把握に努め、施設の種別の一覧表を作成し職員への教育を行った。また、次年度の看取りの研修会開催に繋げた。

##### ②登録医の当院広報誌への情報掲載

- ・毎号 4 医療機関ごと掲載

##### ③ 5 大がん地域連携パス受け入れ医療機関拡大

- ・開業医訪問の際に新規届出および追加届出依頼を行うとともに、届出未医療機関との連携パスを希望する患者が発生した場合、新規届出依頼及びパス説明の訪問を行った（届出医療機関数 128 機関 → 137 機関に拡大）

#### 2. 勉強会・交流会の開催等

##### ①地域連携勉強会の開催（詳細は 2. 平成 30 年度実績⑬地域連携勉強会を参照）

##### ②豊田厚生病院地域医療支援病院運営委員会開催

- ・平成 30 年 4 月 18 日（水）第 6 回（平成 30 年度第 1 回）
- ・平成 30 年 7 月 18 日（水）第 7 回（平成 30 年度第 2 回）
- ・平成 30 年 10 月 17 日（水）第 8 回（平成 30 年度第 3 回）
- ・平成 31 年 1 月 16 日（水）第 9 回（平成 30 年度第 4 回）

##### ③平成 30 年 5 月 19 日（土）第 22 回 豊田厚生地域医療連携交流会開催

- ・全参加者：180 名（院内医師 47 名・他 34 名、院外医師 54 名・他 45 名）

##### ④平成 30 年 9 月 29 日（土）平成 30 年度 豊田加茂地域医療連携交流会参加

- ・当院参加者：45 名（医師 22 名・他 23 名）

##### ⑤平成 31 年 3 月 13 日（水）平成 30 年度 豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同 C P C 開催

- ・参加者：99 名（院外医師 10 名、院内医師 47 名・他 42 名）

##### ⑥その他

- ・豊田市地域包括ケア企画課への次年度の医療従事者等研修会情報の提供（2019 年度医療・福祉人材の研修計画一覧表に集約された）
- ・4 月連携機関への全体講演会参加募集開始。当院ホームページにて「地域医療従事者等勉強会のご案内」掲載開始。

#### 3. 医療連携向上の取り組み

##### ①紹介の推進

- ・平成 30 年 4 月 1 日（日）ホームページリニューアル  
当院ホームページリニューアルに伴い、「医療関係者の方へ」に掲載している地域医療連携課の情報についてもユーザビリティ向上の視点から全面リニューアル。

②逆紹介の推進

- ・医療資源把握調査打合せ（主催：豊田加茂医師会）に参加し、西三河北部医療圏内にある医療機関の外来及び訪問診療・往診体制等、逆紹介・後方連携に必要な情報の収集を実施。

平成30年4月24日（火）第2回

平成30年5月19日（火）第3回

平成30年6月19日（水）第4回

平成30年9月21日（金）第5回

③予約枠の拡大

- ・平成30年7月2日（月）耳鼻咽喉科紹介予約枠拡大、月～土9：30・10：00・10：30・11：00各1枠地域医療連携枠として固定。

④インターネット予約の充実

- ・平成30年4月2日（月）形成外科（眼瞼下垂）インターネット予約枠新設（月9：30・10：00各1枠、水・木・金10：30各1枠/計5枠）
- ・平成30年4月2日（月）形成外科インターネット予約枠拡大（木10：001枠→月・水・木・金9：30各1枠/計4枠）
- ・平成30年7月2日（月）耳鼻咽喉科ネット予約枠拡大、金10：001枠・土曜日10：00 2枠→月～木10：00各1枠追加。耳鼻咽喉科（新生児聴力検査）インターネット予約枠新設（月～土9：30・10：30各1枠）
- ・平成30年7月11日（土）インターネット予約システムリニューアル
- ・平成30年11月21日（水）皮膚科インターネット予約枠拡大（月・火・水・金9：00各1枠、土9：003枠/計7枠→木9：00・9：30・10：30各1枠追加/計10枠）

⑤その他

- ・平成30年10月地域医療福祉連携部壁新聞「みつばち通信」掲示開始

2) 平成30年度実績（地域医療支援病院運営委員会資料より抜粋）

1. 登録医数・登録医療機関数（平成30年度末）

	登録医数	登録医療機関数
医 科	261	204
歯 科	165	155
合 計	426	359

2. 紹介実績

	延べ紹介患者数	紹介率
医 科	30,521	74.8%
歯 科	2,665	

3. 逆紹介実績

	延べ逆紹介患者数	紹介率
医 科	23,209	82.0%
歯 科	2,072	

## 4. 地域医療連携課利用実績（紹介総数）

連携課経由	25,675
連携課経由外	7,511
延紹介患者数	33,186
経由割合	70.9%

## 5. 診察紹介患者の入院実績

診察紹介	30,315
入院（再掲）	6,553
入院割合	21.6%

## 6. 科別紹介実績

（単位：人）

科別	計	内 訳	
		外来	入院
内 科	14,140	11,306	2,834
精 神 科	226	224	2
小 児 科	1,679	1,110	569
外 科	2,392	1,851	541
整 形 外 科	2,565	2,107	458
形 成 外 科	637	575	62
脳神経外科	713	581	132
呼吸器外科	185	163	22
心 臓 外 科	235	223	12
皮 膚 科	1,156	1,040	116
泌 尿 器 科	1,413	1,135	278
産 婦 人 科	1,048	732	316
眼 科	936	670	266
耳鼻咽喉科	2,097	1,746	351
放 射 線 科	1,071	1,069	2
麻 酔 科	28	23	5
歯科口腔外科	2,665	2,078	587
合 計	33,186	26,633	6,553

## 7. 科別逆紹介実績

（単位：人）

科 別	計	内 訳		
		紹介元へ	紹介元以外へ	当院患者を紹介
内 科	12,814	9,611	421	2,782
精 神 科	181	60	27	94
小 児 科	360	217	11	132
外 科	1,437	1,154	61	222
整 形 外 科	2,416	286	58	2,072
形 成 外 科	396	238	16	142
脳神経外科	501	214	15	272
呼吸器外科	22	10	2	10
心 臓 外 科	322	271	6	45
皮 膚 科	494	351	17	126
泌 尿 器 科	279	56	23	200
産 婦 人 科	278	121	5	152
眼 科	880	536	21	323
耳鼻咽喉科	1,729	1,647	16	66
放 射 線 科	1,091	1,089	1	1
麻 酔 科	9	2	0	7
歯科口腔外科	2,072	1,619	14	439
合 計	25,281	17,482	714	7,085

8. 地域別紹介件数

豊田市	24,116
みよし市	3,989
二次検診	1,663
その他	3,418
合計	33,186

9. インターネット予約システム利用状況

地域医療連携課経由	25,675
インターネット予約（再掲）	5,647
インターネット予約割合	22.0%
新規利用開始機関数	25

10. 高度医療機器利用実績

内容	計	内訳	件数
放射線関係	1,566	CT	814
		MRI	585
		RI	4
		PET-CT	2
		骨密度	156
		上部消化管透視	1
		下部消化管透視	4
内視鏡・ 生理検査関係	1,305	上部内視鏡	252
		下部内視鏡	298
		腹部超音波	243
		心臓超音波	221
		甲状腺超音波	56
		頸動脈超音波	40
		その他超音波	21
		脳波	8
		その他	166
		合計	2,871

※その他の超音波は下肢血管

※その他はホルター心電図・トレッドミル・神経伝導検査・肺機能検査など

11. 開放病床（25床）利用実績

紹介患者延利用日数	1,653
利用率	18.1%

12. 紹共同回診実績

共同回診数	10
回診医師数	3

13. 地域連携勉強会

日程	研修会等の名前	内容	主催	対象	参加者数
4/25 (水)	第13回看護技術研修会 (第16回地域連携勉強会)	急変対応～バイタルサインから異常をキャッチ～	地域医療連携課	連携医療機関看護師	26
5/31 (木)	第14回看護技術研修会 (第17回地域連携勉強会)	急変対応～バイタルサインから異常をキャッチ～	地域医療連携課	連携医療機関看護師	24
6/12 (火)	第1回豊田市学童指導員研修会 (第18回地域連携勉強会)	アレルギーを持った小児への対応～エピペンの操作～	地域医療連携課・豊田市役所次世代育成課	豊田市学童指導員	109
6/28 (木)	第15回看護技術研修会 (第19回地域連携勉強会)	アレルギーを持った小児への対応～エピペンの操作～	地域医療連携課	連携医療機関看護師	32
7/4 (水)	第16回看護技術研修会 (第20回地域連携勉強会)	スキントラブル・おむつのあて方	地域医療連携課	連携医療機関看護師	15
8/2 (木)	第17回看護技術研修会 (第21回地域連携勉強会)	スキントラブル・おむつのあて方	地域医療連携課	連携医療機関看護師	21
8/8 (水)	第4回乳腺勉強会（第22回地域連携勉強会）	検診発見乳がんの検討～画像と病理の対比～	外科	健診機関、豊田市乳がん検診協力医療機関、乳がん地域連携パスを依頼した医療機関の医療従事者	62
8/30 (木)	第1回介護技術研修会（第23回地域連携勉強会）	スキントラブル・おむつのあて方	地域医療連携課	介護職（介護福祉士・ヘルパー）	18
9/5 (水)	第18回看護技術研修会 (第24回地域連携勉強会)	尿道留置カテーテル交換	地域医療連携課	連携医療機関看護師	15
10/25 (木)	第19回看護技術研修会 (第25回地域連携勉強会)	尿道留置カテーテル交換	地域医療連携課	連携医療機関看護師	15
11/21 (水)	第20回看護技術研修会 (第26回地域連携勉強会)	経路別感染予防	地域医療連携課	連携医療機関看護師	12
11/29 (木)	第21回看護技術研修会 (第27回地域連携勉強会)	経路別感染予防	地域医療連携課	連携医療機関看護師	20
11/7 (水)	第5回乳腺勉強会（第28回地域連携勉強会）	検診発見乳がんの検討～画像と病理の対比～	外科	健診機関、豊田市乳がん検診協力医療機関、乳がん地域連携パスを依頼した医療機関の医療従事者	57
12/5 (水)	第2回介護技術研修会（第29回地域連携勉強会）	STOP! 感染拡大	地域医療連携課	介護職（介護福祉士・ヘルパー）	15
1/24 (木)	第1回居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション研修会（第30回地域連携勉強会）	がん化学療法患者の在宅療養の検討～抹消神経障害により在宅療養が困難になった事例を通して～	地域医療連携課	居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションに勤務している職員	20

## 11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 院内における退院支援体制の質の向上を図る

退院支援担当者会に毎月 1 回参加

退院支援加算、算定要件の見直しを行い施設基準の体制整備

在宅支援コーディネーター係、医療相談課にて専任会を 1 回 / 2 ヶ月開催

医療と介護の連携のために、ケアマネジャーの訪問件数の把握と介護支援連携の充実

介護支援連携のためのフローシートの作成

#### 2. 退院支援における看護師の育成 退院支援の充実

退院支援担当者会に在宅支援コーディネーター係より 1 名参加

5 月 退院支援加算 1 の維持、内容の充実について検討

6 月 ケアマネジャー来院における手引きについての検討

7 月 介護支援等連携について伝達

8 月 訪問看護の同行訪問についての検討

9 月 退院支援カンファレンスの運用についての検討

10 月 訪問看護の同行訪問のマニュアルの周知

11 月 退院支援カンファレンスへの医師参加の検討

12 月 訪問看護の同行訪問の報告 1 事例

1 月 退院支援カンファレンスの充実のための検討

2 月 訪問看護同行の報告 3 事例 年間目標の評価

3 月 次年度からの病棟専任の役割について伝達

退院支援カンファレンスの充実を図り、退院困難な要因に対しての計画書の作成が行えるよう働きかけた。

訪問看護と同行訪問を行う事で、患者の自宅での生活状況を確認する事から、入院中の退院支援につなげられるよう働きかけた。

#### 3. 地域関係機関との連携強化

【地域連携勉強会】 ケアマネジャー・訪問看護師研修会

平成 31 年 1 月 24 日 在宅移行困難事例の検討

「がん化学療法中の注意すべき症状」講師：がん化学療法認定看護師 中王子 美保氏

【在宅医療】

豊田市在宅医療シンポジウム・多職種合同研修会への参加

在宅医療に関するアップ研修参加

認知症・他職種連携ブロック研修会参加

#### 4. 地域クリニカルパス推進

【脳卒中地域連携パス運用会議】年 2 回開催

平成 30 年 8 月 2 日 「嚥下障害と嚥下調整食について」講師：三九朗病院副院長 小池 知治氏

平成 31 年 3 月 14 日 「急性期病院実績報告」

**【大腿骨頸部骨折地域連携パス運用会議】年3回開催**

- 平成30年6月28日 「フレイルと骨折の関連性について」 帝人ファーマ  
 「平成29年度実績報告」 豊田地域医療センター  
 平成30年11月15日 「回復期病院からの情報提供」 辻村外科病院  
 平成31年3月1日 「急性期病院実績報告」

**5. 在宅支援コーディネーターとしての質向上とキャリアアップを図る**

- がん患者サポーターブケア研修「AYA世代がん患者の支援」  
 緩和ケア研修会  
 相談対応力向上研修会  
 学術講演会「よりよい在宅医療考える」

**2) 平成30年度の実績**

看看護師4名体制。退院調整件数は新規751件（前年度比102%）。年々増加となっている。  
 疾患分類で見ると悪性新生物が389件で依頼の51.8%を占め、がん患者の在宅療養の件数が増えてきている。

退院支援計画書は、7967件（前年度比115.2%）と増えた。

在宅療養を希望される件数も増え、多職種での退院前カンファレンスの件数も増えている。

**①疾患分類**

	平成30年度
新生物	389件
神経系	54件
循環器系	78件
呼吸器系	63件
消化器系	33件
その他	134件

**②退院時転帰先**

	平成30年度
在宅	562件
施設	13件
転院	76件
死亡	100件
合計	751件

**③対応件数**

	平成30年度
新規件数	751件
継続延べ件数	324件
合計	1075件

**④退院支援計画書・介護支援連携**

	平成30年度
退院支援計画書	7967件
地域連携診療計画加算	245件
介護支援連携	268件
多機関共同指導加算	20件

**⑤地域連携パス件数**

	平成30年度
大腿骨頸部骨折	121件
脳卒中	152件
胃がん	46件
大腸がん	71件
乳がん	113件
肝がん	1件
肺がん	54件
喘息	2件
COPD	2件
PCI後（循環器）	0件
CKD	2件
在宅緩和ケア	15件
合計	590件



## 12. 医療福祉相談課 (兼がん相談支援センター)

平成 30 年度の医療福祉相談課の対応件数に関して、援助内容としての総件数では平成 29 年度対比で 97.1%とやや下回っているが、新規対応依頼の件数が平成 29 年度比で 111.8%と増加（平成 29 年度 2,130 件、平成 30 年度 2,382 件と実数で 252 件の増加）となっている。総件数の減少に関しては、年度途中で 1 名が地域包括支援センターに部署移動となり、対応人数が減ったことが大きい要因となっている。新規依頼件数は一昨年度が前年比 13%増であり、今年度が前年比 11%増であることを考えると、相談依頼に関してはかなり大幅に増加する傾向もあると言える。ソーシャルワーカーの介入を求められる事例は毎年のように増加傾向であるが、8050 問題に代表されるような家族形態の変化、家族と疎遠の独居世帯の増加など、家族背景に起因する問題が増えてきている。内訳では、昨年までのように退院相談に偏重している部分は変わらないが、身元保証問題や成年後見人制度の活用など、相談そのものが複雑化している傾向にある。

がん相談支援センターとしても、前年比 13%増となっており、相談件数は増加傾向にある。内容としては治療そのものに対する不安や悩みが多いのが例年通りの特徴である。自宅退院は援助内容項目では「治療・療養生活等」に含まれるため、一般の患者に比べると、がん患者の方が自宅復帰の比率が高いとも言えるのも平成 29 年度と同様となった。

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 後方病院や在宅関係機関との連携強化

- ・西部地区 5 か所の地域包括支援センターと豊田市在宅医療サポートセンターとの共催でケアマネジャー向けに医療機関の機能分化についてシンポジウムを行い、医療機関の退院について理解を求めた。合計で 100 名以上の参加があり、在宅支援者の医療機関に対する理解が深まった。その結果、介護等支援連携指導料の算定数増加に繋がった。
- ・豊田市では総合相談窓口（健康と福祉の総合相談窓口）を市内 2 か所の支所に設置されているため、その総合相談窓口の活用により、より地域に密着した支援がスムーズに行えるようになった。
- ・後方医療機関との定期的な情報交換により、空床状況の把握や転院の障壁となる問題について事前に把握し、あらかじめ対処をすることでスムーズな転院に繋がっている。

#### 2. 退院支援計画書の算定率確保のための取り組み

- ・在宅支援コーディネーター係と協働で前年に引き続き、月 600 件を超える退院支援計画書を維持できた。
- ・保険請求の要件整備を見直し、カンファレンスの人員配置も含めて体制整備の検討を行い、平成 31 年度に向けての人員確保を検討できた。

#### 3. 部署内の体制整備

- ・昨年度から引き続き、チーム制による新人教育体制を作っている。今年度は 2～3 年目職員のフォローアップにも注目し、チーム会による資質向上のための勉強会を継続した。
- ・がん相談支援センターとして「治療と仕事の両立支援」の算定要件の整備を行った。実際に相談は何件も対応したが、50 名以上の従業員がいる事業所にしか産業医の配置が無く、結果的に企業側に産業医が居ないことで算定に繋がった事例は無かった。

#### 4. 地域包括ケアシステム作りへの協力

- ・ 豊田市成年後見・法福連携推進会議に豊田市における医療ソーシャルワーカーの代表として参加している。成年後見人制度の活用については、成年後見人制度利用促進法の影響もあり、地域にも浸透してきたことで利用者数が増加している。医療機関における患者本人の意思決定にも関係してきており、1年を通して課題の共有を行った。公的センターとしての後見人受任の件数が予想を上まわる状況で推移しているため、今後には市民後見人の活用を市役所と一緒に協議を続けている。
- ・ 豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議に参加し、今後の豊田市の基盤整備への話し合いに医療機関の代表として提言を行っている。
- ・ 認知症初期集中支援チームと連携を行い、地域の中で問題となっている事例の解決に協力している。

## 2) 平成 30 年度実績

### 1. 援助内容別対応件数

援助内容	H 30 年度	
	件数 (件)	構成比 (%)
1. 心理・社会的処遇	241	1.0%
2. 治療と療養生活	650	2.7%
3. 家族関係・在宅生活	240	1.0%
4. 受診・入院	560	2.3%
5. 退院・転院	18,873	78.9%
6. 医療費・生活費・経済	1,302	5.4%
7. 手続き・診断書・保険	1,869	7.8%
8. 職業等社会生活	27	0.1%
9. その他	158	0.7%
合計	23,920	100.0%

### 2. がん相談支援センター 援助内容別対応件数

援助内容	H 30 年度	
	件数 (件)	構成比 (%)
1. 治療・療養生活等	1,458	66.1%
2. セカンドオピニオン	11	0.5%
3. 治療実績・受診・入院・退院・医療機関紹介	350	15.9%
4. 医療費・生活費・社会保障制度	276	12.5%
5. 不安・精神的苦痛・告知・コミュニケーション	35	1.6%
6. その他	75	3.4%
合計	2,205	100.0%

### 3. 関係機関との会議等への参加状況

豊田市要保護児童・DV 対策協議会、愛知県児童虐待対応医療機関連絡会、豊田加茂児童虐待等関係機関連絡調整会議、地域連携パス会議（脳卒中・大腿骨骨折・在宅緩和ケア）、豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議、豊田市成年後見・法福連携推進会議、難病ネットワーク三河ブロック連絡員会議、愛知県難病医療協議会、難病対策協議会（衣浦東部保健所・豊田保健所）、保健所・難病医療ネットワーク連携会議、認知症医療連携協議会、医療福祉関係機関と名古屋刑務所との連絡協議会、豊田市母子医療保健福祉ネットワーク会議、西三河地域母子保健推進会議、豊田市精神保健福祉関係機関連絡会議、豊田市アルコール問題支援推進会議 等

#### 4. 地域貢献

- ・愛知県医療通訳派遣システム 講師派遣
- ・がん相談支援センター基礎研修会Ⅲ（国立がん研究センター） ファシリテーター派遣
- ・名古屋刑務所視察委員会 委員派遣
- ・豊田市介護保険認定審査会 委員派遣
- ・日本福祉大学「医療ソーシャルワーク演習」 講師派遣
- ・愛知県医療ソーシャルワーカー協会認定社会福祉士医療分野研修委員会 委員派遣
- ・実習生対応（他職種含む） 等

#### 5. 患者会開催状況（事務局が医療福祉相談課のもののみ）

##### ①オストミー友の会（人工膀胱・人工肛門患者会）— 事務局 医療福祉相談課

- ・第36回 オストミー友の会  
日 時：平成31年2月15日  
テ ー マ：「オストメイトの災害対策～災害は忘れたころにやってくる～」  
講 師 福岡沙織（皮膚排泄ケア認定看護師）  
イ ベ ント：楽器演奏（銭太鼓） 演奏 いきいき会  
座 談 会：意見交換会  
参 加 者：会員43名、付添い18名、病院スタッフ15名

##### ②ひまわり会（在宅酸素療法患者会）— 事務局 医療福祉相談課

- ・第40回 ひまわり会  
日 時：平成30年7月7日  
テ ー マ：「呼吸筋体操」 講 師 鈴木香奈（理学療法士）  
イ ベ ント：「太鼓演奏」 披露 早川流やぐら太鼓  
座 談 会：意見交換会  
参 加 者：会員11名、付添い8名、病院スタッフ21名、酸素業者3名
- ・第41回 ひまわり会  
日 時：平成30年10月7日  
小 旅 行：「大須演芸場」  
参 加 者：会員11名、付添い3名、病院スタッフ12名、酸素業者2名、開業医1名

## 13. 豊田厚生訪問看護ステーション

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 新規利用者拡大と訪問件数増への取り組み ～収支改善を目指して～

##### (1) 1 人 1 日当たり訪問件数 3.0 件以上の維持

- ・ステーション会議における実績報告と訪問実績のグラフ化によるモニタリングの実施継続
- ・利用者の状態変化に合わせた訪問回数の調整及び、緩和ケア病棟リセット入院の為の短期集中訪問の実施等により、訪問枠を空けない取り組み
- ・小児訪問看護の積極的受け入れ→県内病院からの超重症児の新規受け入れ 2 名及び豊田市立小学校における医療的ケア支援業務委託事業への参画

##### (2) 新規利用者数を増やす取り組み ～院内外へ向けて P R 活動の実施～

- ・病棟看護師を対象に「病院から在宅へのスムーズな移行の為に」と題した勉強会を実施（6 月）
- ・第 24 回豊田加茂在宅医療講演会 テーマ「在宅療養における栄養管理」一般演題への発表（6 月）
- ・退院支援担当者会を通じて、3B・3C・5B 病棟看護師、計 6 名との同行訪問を実施（7 月、8 月 10 月）  
→退院支援における病棟看護師との連携強化と訪問看護業務への理解促進につながった

\*平成 30 年度を通じて、全ての月で一人 1 日当たり訪問件数 3.0 件以上を維持することが出来た

#### 2. ターミナルケア看護の質向上に向けた取り組み

利用者が人生の最期までその人らしく暮らし続ける為に、主体的な意思決定が出来るよう、利用者・家族等の意向を踏まえた上での支援が出来たとスタッフ一人一人が実感できることを目標とした

##### (1) ACP（アドバンスケアプランニング）に関する勉強会の実施と研修会への参加

- ・地域医療福祉連携部看護師を対象に「ターミナルケアに関する診療報酬改定見直しについて」「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおけるガイドライン」の学習会の実施（6 月）
- ・愛知 ACP プロジェクト相談対応力向上研修への参加（11 月・1 月）
- ・多職種合同研修会「ACP について学ぶ」への参加（12 月）
- ・ステーション会議にてスタッフへの伝達講習の実施（3 月）

##### (2) 意思決定支援における受け持ち看護師の能力強化を図る

- ・ターミナルケア体制を取る利用者の洗い出しと、朝のミーティングでステーション全体への周知と看護計画作成
- ・日々のカンファレンスで意思決定支援に対するチーム内での情報共有と方向性の話し合い
- ・がん末期患者の困難事例に対し、地域医療福祉連携部看護師会でナラティブカンファレンスを実施

→ 訪問看護師の視点で大切にしている看護を多職種と共有（12 月）

- ・訪問看護認定看護師教育課程の実習生による「在宅看取りに関する勉強会」の実施（1 月）
- ・利用者宅での意思決定支援に関するカンファレンスの実施→記録内容を在宅チームと情報共有

\*在宅看取りまでの一連の過程や身体変化を理解し、個別性に合わせた説明を深めることが出来たその結果、直近 12 ヶ月毎のターミナルケア加算 15 件の算定が可能となり、機能強化型訪問看護管理療養費Ⅱ（医療）を維持することが出来ている

### 3. 部署内教育体制の充実と人材育成

#### (1) 部署内教育係りによる教育計画の立案と実施 ～毎月のステーション会議に合わせて実施～

- ・4月「人工呼吸器トリロジー勉強会」・8月「栄養補助食品の種類と選択方法について」
- ・9月「訪問看護師が出来る災害時の支援」に関する伝達講習・10月「最新の糖尿病治療薬について」
- ・11月「呼吸器リハビリ勉強会～身体すっきり体操～」・12月「人工呼吸器装着中の補助換気手技」
- ・訪問看護手順マニュアルの見直しと作成(膀胱瘻カテーテル交換、ウロストマ、腎瘻、ポート管理等)

#### (2) 院外研修参加への自己申告と資格取得の推進

- ・介護支援専門員実務研修 修了者1名・資格取得(3月～9月)
- ・訪問看護 e-ラーニング修了者1名(4月～6月)
- ・愛知県看護協会訪問看護職員講習会 e-ラーニング 修了者1名(8月～2月)
- ・第49回 日本看護学会・在宅看護学術集会 訪問看護認定看護師 発表(7月)
- ・日本災害看護学会 第20回年次大会 訪問看護師発表(8月)

### 4. 豊田市在宅医療・福祉連携推進計画「訪問看護推進事業」への参画と地域とのネットワークづくり

- ・豊田加茂訪問看護ステーション会(5・1月を除き毎月)への出席と研修会、交流会への参加協力
- ・豊田市 介護・福祉就職フェア参加(7月)
- ・豊田加茂訪問看護ステーション会研修会「在宅における感染管理」(8月)
- ・豊田産業フェスタでの訪問看護PR活動への参加(9月)
- ・第2回 かかりつけ医と訪問看護師交流会 企画～当日運営の実施(10月)
- ・豊田加茂訪問看護ステーション研修会「災害看護研修会」当ステーションの取り組み発表(11月)
- ・仮)訪問看護師人材育成センター立ち上げに関する説明会出席(2月、3月)

### 5. 業務のスリム化と業務量の調整を図る

- ・翌月訪問予定の日時連絡方法について、各事業所に送信していたFAXでの連絡を取りやめ、「サービス提供票」での確認をケアマネジャー等に依頼し、了解を得ることが出来た
- ・医療保険利用者の予定表作成について、チームリーダーから事務スタッフへの業務移行を実施
- ・訪問看護システム「すこやかさん」と連動した記録システム「I B O W」への検討については、今後記録及び連携におけるICT化の推進に点数がつく為、重要な課題である

### 6. 安心して訪問ができる環境づくり

- ・特定医療行為に位置づけられた膀胱瘻カテーテル交換のリスク管理について、①医師の具体的な指示②常時連絡が取れる体制の確保③手順書の見直しと看護師教育④経過観察チェックリスト作成等、実施基準の明確化を行った。かかりつけ医の理解と協力を得ながら、利用者・家族の説明と同意を得て、実施することが出来ている
- ・悪天候や地震等の災害時における訪問体制について、利用者への周知と理解を行った(3月)

## 2) 平成30年度実績

前年度比において、利用者数はマイナス74人、95.6%と減少したが、のべ訪問件数は+27件100.3%とほぼ横ばいであり、一人1日当たり訪問件数3.0件以上の目標も毎月達成することが出来た。訪問看護収益でみると、+1,930千円 前年度比では102.1%と若干の増加ではあるが、年々右肩上がりであり、

その結果、損益も昨年度の▲375万から▲225万と減少し、改善傾向である。

医療保険では、診療報酬改定に伴い「訪問看護情報提供療養費」1500円/人/月が豊田市の方針もあり、算定不可能となったため、年度当初は減収が懸念された。しかしがん末期状態や神経難病利用者などの医療的ケアに伴う加算や重症化に伴う頻回訪問の実施、小児の超重症児加算等で単価も上がり、119%の増収につながった。介護保険については、1人暮らし高齢者、認知症高齢者世帯など、デイサービス・ショートステイ利用を最大限に利用することで、在宅生活を何とか継続出来ている利用者が増えている現状である。その為、訪問回数を増やすことが出来ないケースや状態悪化に伴う入院でとなり、利用者数、訪問件数、訪問看護収益共に昨年度より減少に転じる結果となった。

### 1. 訪問実績

	利用者数(人)	訪問件数(件)	訪問看護収益(千円)	事業費【支出】(千円)
医療保険	588	3,558	43,751	96,285 損益 ▲225万円
介護保険	1,048	4,712	49,929	
計	1,636	8,300	93,680	

### 2. 新規依頼の紹介元

\*平成30年度末現在、西三河北部医療圏の訪問看護ステーション事業所は22ヶ所と年々増えている中で、昨年に引き続き、院外のケアマネジャーからの依頼が依然として多く、更に地域の医療機関、包括支援センターからの依頼も増えている。その一方で院内在宅支援コーディネーターからの依頼は減少している。要因として、がん末期利用者の重症化に伴い、利用者一人当たりの訪問回数も増えており、その結果、訪問枠がなく、新規依頼を断わらざるを得ないケースが月に2～3件発生していた。トータルとして新規依頼件数は昨年度の130名から106名と減少する結果となった。

紹介元		介護	医療	計
院内	在宅支援コーディネーター	7	28	35
	居宅介護支援事業所	2	5	7
	地域包括支援センター	1	0	1
	小計	10	33	43
院外	他施設より(他病院・診療所等)	2	11	13
	居宅介護支援事業所	23	16	39
	地域包括支援センター	6	5	11
	小計	31	32	63
合計		41	65	106

### 3. 終了者数

	終了者数(人)
医療保険	57(内入所等10人)
介護保険	40(内入所等18人)
計	97名

### 4. 学生・実習生受け入れ状況

学校名	実習日数	人数(述べ人数)
加茂看護専門学校	9クール 93日間	39名
愛知県立看護大学	3クール 12日間	11名
日本赤十字豊田看護大学	2クール 15日間	4名
弥富看護学校	2クール 4日間	8名
訪問看護認定看護師教育課程	1クール 21日間	2名

## 14. 豊田厚生居宅介護支援事業所 (豊田厚生介護保険センター)

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

1. H30/4 介護保険法改正にて、新設されたターミナルケアマネジメント加算が算定できる
  - ・ターミナルケアにおいて人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン・法改正について 6/20 勉強会を開催。
  - ・訪問看護・在宅支援コーディネーター等他部署との 3 人以上のミニカンファレンスに参加
  - ・倫理カンファレンス等ミニカンファレンスの事例の中から 1 事例ナラティブカンファレンスを 12/19 開催。ケアマネ含めそれぞれの思いを共有し意味づけできたことで、お互いの立場を理解し、支えあうことの重要性を理解できた。
  - ・ターミナルケアマネジメント加算について、部署内で周知し、算定。H30/4～H31/2 までの間に 7 件算定。主治医含め、各関係者と連携しながらターミナルケアの充実を図ることができるようにケアマネジメント業務ができた。次年度、他の要件を満たせば、特定事業所加算Ⅳも算定可能となる。
2. 居宅介護支援事業所の特定事業所加算Ⅲを継続算定できるように諸条件を満たす (H30/11～)
  - ・4 月からスタッフの部署異動に伴い、1 名欠員。特定事業所加算Ⅲ取り下げたが、10 月から補充あり、11 月から特定事業所加算Ⅲ算定開始。(主任ケアマネ 1 名+常勤ケアマネ 2 名必要)
  - ・週 1 回ケアマネ会議を開催し、新規ケースや問題ケースなどの情報を共有した。
  - ・時間外携帯当番を 365 日対応。特に大きなトラブルはなし。
  - ・ケアマネごとに個別的な研修目標を設定し受講した。
  - ・運営基準減算に該当しないように今後も条件を満たしていく。
  - ・短期間で終了するケースや状態悪化にてプラン発生につながらないケースが多いため、今後も新規ケースの継続対応が必要である。
  - ・ケアマネ実務研修における実習受入協力事業所へ登録。H30/5/11～5/28 の間に 2 名 3 日間ずつ実習受入完了。主任ケアマネ更新の個人要件ともなるため今後も対応できるようにしていく。
  - ・特定事業所加算基準の遵守状況に関する所定の記録を毎月末まで作成し、5 年間保存。
  - ・豊田市集団指導・講習会の情報を適宜スタッフと共有。

### 2) 平成 30 年度実績

#### 1. ケアプラン作成

平成 30 年度	
件数	収益
888	13,193,581

- ① H30/4～1 名部署異動に伴い、1 名欠員状態となり、H 30/4～特定事業所加算Ⅲは算定取り下げた。H30/10～1 名補充あり、H30/11～特定事業所加算Ⅲ算定開始。
- ② スタッフの欠員や特定事業所加算取り下げに伴い、活動実績は、ケアプラン件数は前年度比 77%、収益は前年度比 72%となった。
- ③ また、母体病院の役割に添うように、主に医療依存度の高いケースやがん末期のケースが安心して自宅療養できるように関係者と連携しながら受け持ち対応しているが、医療依存度の高い場合やがん末期ケースの場合、状態変化しやすいケースが多く、急変にて、相談対応は行ってもプランにならないケースが 47 名、死亡者 27 名、介護負担などから施設入所など中止 (終了) 者 21 名あった。また、

スタッフ 1 名 H30/4 ~ 部署異動に伴い 12 名院外ケアマネヘケース移行を行った。

- ④ H 30 年度の受け持ち利用者の時間外携帯相談対応件数は 22 件あり、前年度比 92%であった。
- ⑤ H29/2 ~ 居宅介護サービス計画作成依頼届出書の提供開始日は、提出月の 1 日まではさかのぼりが可能だが、前月にさかのぼりができなくなった。そのため、要介護・要支援どちらの認定結果がでるか見極めが困難な場合は、各地域の包括支援センターとも連携を図っている。
- ⑥ ターミナルケアマネジメント加算 7 件算定。

## 2. 要介護別件数

要介護度別	平成 30 年度
要介護 1	216
要介護 2	228
要介護 3	138
要介護 4	191
要介護 5	115
計	888

## 3. その他

	平成 30 年度件数
新規利用契約者	41
中止者(入所等)	21
死亡者	27
利用者(電話相談・訪問対応以外)	1512
他事業所へのケース紹介(再掲)	12

- ① 愛知県厚生連のケアマネジャーとの情報交換を年 2 回開催協力できた。さらに、愛知県厚生連で、高齢者福祉事業を担う職員のスキルアップ、モラル及びモチベーション向上の一環として、平成 30 年度高齢者福祉研究会を 11/18 開催。開催運営協力できた。
- ② 院外ケアマネから主治医連絡・入院時情報提供書対応件数(地域医療連携課事務担当)

主治医連絡票(平成 21 年度から対応開始)対応件数	355
介護保険医療連携用情報提供書対応件数	597

- ③ 要介護認定者の主治医の意見書取り扱い件数(地域医療連携課事務担当)

平成 30 年度	
件数	収益
1,610	7,321,320

主医師意見書取り扱い件数(地域医療連携課事務担当)

平成 30 年度	
件数	収益
23	9,720



## 15. 豊田厚生地域包括支援センター

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

\*平成 30 年度より事業計画の様式が変更となり、活動目標は 3 年後を見据えた長期的な活動目標を設定し、各年度で目標達成に向けての事業計画を立て取り組んでいる。

#### 【活動目標】

- ・地域とのつながりが少ない高齢者の実態把握ができ、高齢者が閉じこもらずに出かけられる場所が増えている
- ・認知症になっても、地域の理解と協力により自宅での生活が継続できる地域を目指す
- ・心も身体も健康でいられるように、地域の高齢者の健康づくりに関する意識向上を目指す

1. 地域とのつながりが希薄になりがち、ひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯、他の地域から呼び寄せられた高齢者の実態を把握し、地域とのつながりのきっかけづくり、出かけられる場所づくりのために働きかける

#### (重点事項)

- ①ひとり暮らし高齢者の実態把握 目標 70 件
- ②高齢者世帯の実態把握
- ③高齢者クラブ・ふれあいサロンの訪問による閉じこもりがち高齢者の情報収集
- ④自主的に活動するサロン活動の訪問、周知など活動の継続支援
- ⑤新規サロンの新設に向けた支援
- ⑥高齢者が参加できる場所や機会の情報収集
- ⑦ささえあいネット会議（地域ケア地域会議）の開催

#### (成果) すべて予定通り実施

- ①ひとり暮らし高齢者登録数 83 名。民生委員とボランティア部の中学生が実施する「ひまわり活動」で同行訪問したのは 42 件、その他、電話や訪問、サロン訪問時等で 39 件の実態把握を行い、計 83 件全ての実態把握を行うことができた。「ひまわり活動」時に介護保険について聞きたいと思っていた、という声を伺い、その後に改めて個別訪問し介護保険申請、サービス利用につながったケースがあった。
- ②民生委員より提供していただいた 5 世帯の高齢者世帯の実態把握を行った。4 世帯はすでにケアマネジャーが担当していたが、実際に訪問させていただく事で実態把握ができた。1 世帯はサービス利用がない支援が必要な世帯であったため、介護保険申請、サービス利用調整に至っている。
- ③高齢者クラブやサロン等、各活動を訪問し、足が悪くなるなどの病気や車の運転をやめたことにより参加ができなくなった方の情報を得た。名前が挙がった方はすでに把握していた方ではあったが、地域の方々が気かけ、見守りをしてくださっていることを知る事ができた。
- ④地域ふれあいサロンに登録されていない 3 つの自主サロンを訪問。あそぼう会では、世話人自身が「高齢化してやれなくなったらやめようと考えている」との話を伺ったが、一方同自治区の民生委員は手伝いたいという思いがあることを聴き、双方の想いを伝えている。現状では、すぐにやれなくなる状況ではないため、様子を見ていくこととしている。逢妻おしゃべり会は、参加者を増やすための内容を検討していることを知り、浄水交流館に情報提供し浄水交流館の出前講座とマッチングすることができた。
- ⑤高齢者が集える場所の新設について、地域住民の意向を確認しつつ協議を重ねている。次年度に新し

いサロンが立ち上がり支援をしていく予定。

- ⑥高齢者クラブやサークル活動、サロンを訪問し情報収集を行った。実際に見学、体験をする中で、参加者の様子や活動の内容を知る事でき、地域住民へ具体的に活動の紹介ができるようになった。次年度には、閉じこもりがちな高齢者に、出かけられる場所として紹介できるよう、冊子にまとめていきたいと考えている。
- ⑦ささえあいネット会議（地域ケア地域会議）は、53名の方に参加を頂く事ができた。社会福祉協議会より他地区の活動（子ども食堂やお助け隊）、「健康と福祉の相談窓口」の役割の情報提供をしていただいた。当センターから、今年度が高齢者クラブやサークル、サロン等を訪問した住民活動の様子を紹介した。情報提供に時間を要してしまい、グループワークの時間が短くなってしまったが、活動に参加できない方（特に男性）の参加をどのように促すかという共通課題が明らかになり、新たな活動のきっかけとなったのではないかと考える。

## 2. 認知症に対する正しい理解と対応の啓発活動を継続し、地域に見守りの目を増やすことができる

（重点事項）

- ①認知症サポーター養成講座の開催 2 自治区
- ②認知症ポーターステップアップ講座の開催 年 1 回
- ③「かえるメールとよた」の登録手順スライドを活用し登録者を増やす
- ④すべてのささえあいネット登録機関を訪問、3 事業所以上に新規登録勧奨
- ⑤まごころフェスタにおいて全世代に認知症に関する啓発、情報発信を実施
- ⑥認知症カフェ「SuiCafe」を毎月共催し、認知症に関する啓発、情報発信、相談対応を実施

（成果）すべて予定通り実施

- ① 2 自治区で開催した認知症サポーター養成講座では、26 名の認知症サポーターを養成した。アンケートでは「認知症に対する理解が深まった」と回答した方が 100% であった。その他「認知症の方との接し方がわかった」「今後は周囲にも目を向けたい」という意見も聞かれ、地域の見守りの目が増えていると考えられる。次年度には、他の 2 自治区で開催予定としている。
- ② 認知症サポーターステップアップ講座では、27 名の方に参加していただき、過去にオレンジリングを取得し時間が経っている方にも、改めてサポーターとして何ができるかを考えるきっかけとなるようグループワークも実施した。参加者の意識は高く、活発な意見交換がなされた。認知症サポーターとして当センターが開催する事業に協力いただけるボランティアを募り、19 名の方に登録していただく事ができた。
- ③ チラシだけでは後日登録に至らないケースが多いと考え、講座内での登録を働きかけた。説明だけでは携帯電話の操作等分からない方が多く、職員が操作を手伝う等個別で対応することで登録につながられるようにした。
- ④ 4 月、10 月に全てのささえあいネット登録機関を訪問し、気になる高齢者の方がいないか、困っていることはないか聴き取りするとともに、引き続き今後の見守り活動と当センターへの通報の依頼をした。また、認知症カフェや介護者のつどいのチラシを配布し広報活動も行った。困ったことがある際には警察へ通報していることが多いようであったが、定期的な訪問を通して、気になる高齢者の事例を伺うこともでき、今後も地域との顔つなぎを続けていく必要がある。また、今年度、高齢者も多く利用される場所としてミニストップ上豊田駅前店、一般社団法人あおい（エスライフ）、竜泉寺の湯を新たに登録機関として増やす事ができた。
- ⑤ 11/11 のまごころフェスタでは、認知症の中核症状のタペストリーを掲示、間違い探しや折り紙等での脳トレを紹介した。209 名の方が当センターのブースに寄っていただいた。小さい子ども向け

に認知症のキャラクターロバ隊長の塗り絵を用意することで、多くの親子連れも参加され、子どもが塗り絵に夢中の際に親が認知症のタペストリーを読んでいる姿もあり、若い世代にも認知症啓発を行う良い機会となった。

- ⑥認知症カフェ「SuiCafe」を毎月第4月曜日に老健さなげと共催にて実施。1時間はイベントとして音楽療法、浄水地区で活躍されている団体へ依頼しオカリナの演奏や尺八の演奏等、毎回工夫を凝らして実施している。イベントを考える際には、脳に良い刺激となることを念頭に、また地区で活躍されている高齢者の方の活躍の場を提供できるように努めている。(30.4月～31.3月述べ参加者261名、平均参加者数22名)

### 3. 心も身体も健康に過ごすために、セルフケアに取り組む高齢者の方を増やす

(重点事項)

- ①地域や自治区が取り組むテレビ体操、ラジオ体操への参加勧奨
- ②包括が実施する講座・講演会にラジオ体操を取り入れ、ラジオ体操の浸透と体操や運動の習慣化を目指す
- ③交流館と豊田厚生病院共催講座として、健康寿命の延伸、健康に対する意識啓発を目的とした講演会の企画、開催

(成果)すべて予定通り実施

- ①「浄水地区健康づくりを考える会」が開催するウォークラリー、浄水小学校でのラジオ体操は、市役所地域保健課が作成したチラシを活用し、利用者や地域住民宅への訪問時に配布し参加勧奨を行った。また、今年度から始まった自治区のラジオ体操についても、各自治区からチラシを頂き、訪問時に配布し参加勧奨を行った。
- ②6/14 気楽なおしゃべり会(向山サロン)、6/13・10/10・12/12 介護者のつどい、9/29・10/28 認知症サポーター養成講座、12/10 伊保原女性会講座、2/13 介護者のつどい、2/16 認知症サポーター養成講座、3/16 認知症サポーターステップアップ講座にて名古屋弁・沖縄弁のラジオ体操を実施。沖縄弁は方言が分かりづらかったが、名古屋弁はなじみがあり好評であり、自治区にも音源を提供している。
- ③「かっこいいシニアは50代で決まる」と題し、40～50代(実際は40～60代が参加)をターゲットに開催。第1回(11/24)は豊田厚生病院篠田医師、豊田市役所地域保健課の保健師が講演、2回目(12/15)は豊田厚生病院健康管理センター阿部保健師による講演を実施。働き盛りで自身の健康を省みることの少ない40～50代に対して振り返るきっかけとなる講座を開催することができた。

## 2) 平成30年度実績

### 1. 相談に対する対応件数(件)

※ほのぼの(地域包括支援センター支援システム)実績

電話	訪問	来所	その他	合計
2,760	1,096	338	319	4,513

### 2. 介護予防支援実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
456	1,980,080	86.7%

## 3. 介護予防ケアマネジメント実績

件数 (件)	収入 (円)	前年度比
309	1,236,125	281.9%

## 4. 介護機器展示室における相談

相談・対応件数 (件)
307

## 5. 会議・研修等参加実績 合計 247 回

会議・研修名等 (一部)・回数	
民生委員児童委員地区協議会	10 回
サービス連絡調整会議	24 回
地域包括支援センター連絡会議	12 回
ケース検討会議 (スクリーニング会議、コア会議含む)	3 回

## 6. 委託加算事業の実績

事業区分	加算項目数・回数
事業評価	全体
事業評価	3 項目
地域ケア個別会議	2 回
事例検討会議	2 回
包括改善プロジェクトへの参加	14 回

## 16. 健康管理室

### 1) 平成 30 年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 豊田市がん検診に胃カメラ追加

豊田市胃がん検診に胃カメラ検査（生検あり）が今年度より採用となり、これに伴い人間ドックの胃カメラ検査にも生検を行う事としました。また、生検が安全に行える様に服薬情報の確認方法を確立して、安全面にも考慮しています。その結果、3月末で1,086件（前年度比132.1%）となり、前年度比で264件増加しました。内訳は、人間ドック642件（59.1%）豊田市がん検診444件（40.9%）でした。そのうち、生検を92件実施しました。

#### 2. 保健指導の充実 全国協会健保の充実・拡大（当日指導の充実）

平成24年度より全国協会健保等の当日保健指導を開始し、30年度は保健指導の受診者が動機付け支援44名、積極的支援39名と前年度に比較し増加しました。要因は、新たに1団体と保健指導の契約を締結したものです。また当日の保健指導の実施率は98.2%と好調であった。当日の保健指導実施率は県下でもトップクラスの評価を頂きました。

#### 3. 予約電話増設

毎年3月末から6月は、予約電話が殺到して掛かり難い状況が続いていました。この対策として、予約電話1台（合計4台）と不在応答メッセージ機器1台を増設し、電話交換手も3名から4名に増員して、3月末から6月にかけて対応しました。その結果、苦情件数が激減しました。また、不在件数も同時に調査を行い、3月末から4月初めが、不在件数が多いことが判明し更なる対応を次年度に行える様に検討しました。

### 2) 平成 30 年度の実績

平成30年度の受診者総数は19,789名（職員健診含む）、総収入553,079千円、予算は556,939千円に対して予算対比3,860千円減99.3%と予算を少し下回りしました。平成30年度の稼働日は264日で1日当たり平均の受診者数は75.0名（職員健診含む）、また一日当たりの平均収入は2,094千円で、平成30年度の一人当たりの平均単価が27,948円であった。各種健診別の受診者の増加率はドック102.7%、企業健診等90.2%、全国協会健保112.3%、豊田市国保特定健診1112.6%、豊田市がん検診99.2%と前年度に比べ、全体的に見れば収益・受診者数ともに同等となりました。

#### 1. 平成 29 年度のがん検診の

平成 31 年 4 月 1 日現在

	総受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
胃がん	9,948	806	8.1%	530	65.8%	11	0.10%
肺がん	16,715	285	1.7%	156	54.7%	2	0.01%
大腸がん	12,297	787	6.4%	466	59.2%	14	0.11%
前立腺がん	2,365	124	5.2%	48	38.7%	7	0.30%
子宮がん	4,709	268	5.7%	178	66.4%	0	0.00%
乳がん	6,011	241	4.0%	201	83.4%	16	0.27%

※胃がん検診にて、食物残渣多量、描出不良、撮影不可等の理由にて検査未実施者は総数に含まず

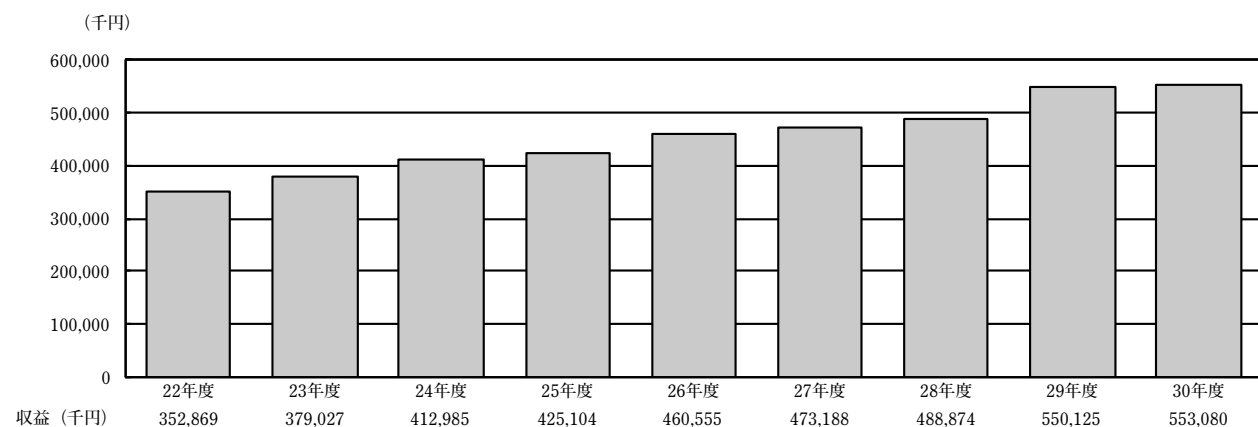
※各精検受診者数については、上記日までに当センターに報告されたもののみとする

※精査率は1年遅れで集計します

## 2. 健康管理室利用者数前年対比

	平成 30 年度
人間ドック	3,478
JA 組合員人間ドック	60
脳ドック	1,227
PET 検診	134
肺ドック	364
レディースドック	185
甲状腺ドック	51
もの忘れドック	6
豊田市国保特定健診	4,534
特定健診（集合契約 A）	516
保健指導（動機付け）協会健包含む	210
保健指導（積極的）協会健包含む	219
全国協会健保 一般	1,654
“ 付加・差額	341
“ 乳・子宮がん	620
“ 肝炎	9
企業健診・身体検査	3,836
被爆健診	72
職員健診	2,619
保健指導（動機付け）	44
保健指導（積極的）	13
豊田市がん検診 胃がん	3,876
“ 大腸がん	4,936
“ 肺がん	4,021
“ 子宮がん	1,297
“ 乳がん	1,843
“ 前立腺がん	1,012
“ 肝炎	496
“ 総合健診	286
“ 乳がん検診（無料券）	140
“ 子宮がん検診（無料券）	14
受診者数（職員健診含む）	19,8789
収益（円）	553,079,610

## 3. 健康管理室収益推移





## Ⅲ 職員活動

---





# 1. 研究業績

## 1) 呼吸器内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	びまん性肺疾患における multidisciplinary discussion(MDD) 症例 1)「上肺陰影を伴った間質性肺炎の一例	○高嶋浩司	第113回日本呼吸器学会東海地方会	2018.5.26
2	Toxic shock-like syndrome をきたした C 群溶連菌感染症の 1 例	○高嶋浩司、谷川吉政	第92回日本感染症学会学術講演会	2018.6.1
3	肺腺癌、悪性リンパ腫の多重がん患者の胸水貯留とリンパ節腫大	○安田司、牛嶋太、二村圭祐、高嶋浩司、青山昌弘、谷川吉政、平賀潤二	日本内科学会第236回東海地方会	2018.9.30

## 2) 循環器内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	ステント留置に I V U S がスタックして抜去に難渋した一例	○豊陽祐、鈴木淳也、鈴木伯征、藤田雅也、林大介、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	第39回日本心血管インターベーション治療学会東海北陸地方会	2018.5.11
2	負荷心筋シンチグラフィと FFR の虚血評価にミスマッチを認めた労作性狭心症の 1 例	○玉腰丈博、窪田龍二、大橋大器、金子鎮二、林大介、豊陽祐、鈴木伯征、鈴木淳也、井村仁美、足立健太郎、伊藤亮太、白井義憲、篠田政典	第39回日本心血管インターベーション治療学会東海北陸地方会	2018.5.11
3	Stent 位置決めに息止め+頻拍 pacing が有用であった一例	○白井義憲、窪田龍二、井村仁美、鈴木淳也、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	第39回日本心血管インターベーション治療学会東海北陸地方会	2018.5.11
4	Stent cross に GUIDEZILLA II が有用であった 1 例	○鈴木淳也、窪田龍二、白井義憲、足立健太郎、井村仁美、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	第39回日本心血管インターベーション治療学会東海北陸地方会	2018.5.11
5	冠動脈内巨大血栓の治療に難渋した急性心筋梗塞の 1 例	○堀仁美、鈴木淳也、鈴木伯征、足立健太郎、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第39回日本心血管インターベーション治療学会東海北陸地方会	2018.5.11
6	確定診断・責任病変同定に難渋した急性心筋梗塞の 1 例	○窪田龍二	T O P I C 2018	2018.7.12
7	RCA ostial の ISR を含む、びまん性石灰化病変に対し P C I を施行した一例	○豊陽祐、井村仁美、鈴木淳也、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	T O P I C 2018	2018.7.12
8	A Case of 14 Years Observation after Pacing Lead Stuck to the Thymus Vein	○伊藤亮太	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.12
9	Approach to Non Paroxysmal Atrial Fibrillation without Low Voltage Zones	○藤田雅也	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.12

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
10	Comparison of the predictor for atrial fibrillation recurrence between within a year and over a year diapauses	○金子鎮二、足立健太郎、井村仁美、鈴木淳也、鈴木伯征、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.13
11	Low-voltage zone ablation vs Linear ablation for non-paroxysmal atrial fibrillation	○鈴木淳也、白井義徳、伊藤亮太、堀仁美、足立健太郎、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.13
12	A successful case of mitral isthmus ablation by energization from the left atrial appendage	○白井義徳、金子鎮二、堀仁美、足立健太郎、鈴木伯征、鈴木淳也、豊陽祐、藤田雅也、林大輔、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.13
13	a difficult case of left atrial roof line block ablation	○足立健太郎、白井義徳、伊藤亮太、堀仁美、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.14
14	A difficult case of atrial tachycardia	○堀仁美、足立健太郎、鈴木淳也、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第65回日本不整脈心電学会各術集会	2018.7.14
15	Pit in AFL ablation, How to improve successful ablation	○金子鎮二	A P H R S 2018	2018.10.17
16	Comparison of low voltage zone ablation and complete linear ablation against persistent atrial fibrillation	○鈴木伯征、堀仁美、足立健太郎、鈴木淳也、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	A P H R S 2018	2018.10.18
17	末梢塞栓を起こした止血デバイスの使用方法に対する考察	○大橋大器、堀仁美、足立健太郎、鈴木淳也、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第59回日本脈管学会総会	2018.10.25
18	両心房底部を回路とする頻拍に対してカテーテルアブレーションを行った1例	○金子鎮二、藤田雅也、窪田龍二、大橋大器、豊陽祐、鈴木淳也、鈴木伯征、足立健太郎、堀仁美、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2018	2018.11.10
19	心不全を合併したHis近傍VPCに対してカテーテルアブレーションが奏功した1例	○藤田雅也、金子鎮二、足立健太郎、堀仁美、鈴木伯征、鈴木淳也、豊陽祐	カテーテルアブレーション関連秋季大会2018	2018.11.10
20	両親棒底部を回路とする頻拍に対してカテーテルアブレーションを行った1例	○金子鎮二、藤田雅也、窪田龍二、大橋大器、豊陽祐、鈴木淳也、鈴木伯征、足立健太郎、堀仁美、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2018	2018.11.10
21	Roof lineの判定が困難であった1例	○足立健太郎	カテーテルアブレーション関連秋季大会2018	2018.11.10
22	心房細動のアブレーション中に bump 現象により電位の確認が困難となった1例	○堀仁美、足立健太郎、鈴木淳也、鈴木伯征、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2018	2018.11.10



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
23	Wire perforation に気付くのが遅れてしまった RCA CTO PCI の 1 例	○窪田龍二、足立健太郎、堀仁美、鈴木伯征、鈴木淳也、豊陽祐、藤田雅也、林大介、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	ARIA (Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement) 2018	2018.11.22
24	Dabigatran b ridge during hospitalization for atrial fibrillation ablation is safty	○足立健太郎	第 8 3 回日本循環器学会総会	2019.3.31

### 3) 消化器内科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	アナフィラキシーを発症した Raoultella ornithinolytica による胆管炎の一例	○松葉明彦、都築智之、松井健一、竹内淳史、森田清	第 128 回日本消化器病学会東海支部例会	2018.6.13
2	主膵管狭窄所見を契機に発見された膵神経内分泌腫瘍の 1 例	○安田司、都築智之、森田清、竹内淳史、松井健一、松葉朋彦、久留宮康浩、植月康太、石川卓哉、廣岡芳樹	第 1 2 9 回日本消化器病学会東海支部例会	2018.11.17

### 4) 脳神経内科

著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	15 神経・筋疾患 血管炎性ニューロパチー P977-979	○服部直樹	今日の治療指針 2019 (医学書院)

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	地域基幹病院における高齢者運転免許に係る認知機能診断の現状と問題点	○森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子	第 59 回日本神経学会学術大会、札幌	2018.5.24
2	新しい進行性核上性麻痺の診断基準の有用性	○伊藤瑞規、富田稔、赤塚和寛、森悠、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第 59 回日本神経学会学術大会、札幌	2018.5.24
3	Trousseau 症候群と非弁膜症性心房細動に起因する脳梗塞との鑑別に関する検討	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第 59 回日本神経学会学術大会、札幌	2018.5.24
4	当院における細菌性髄膜炎の検討、高 CK 結晶の意義について	○久納光皓、服部直樹、伊藤瑞規、富田稔、赤塚和寛	第 59 回日本神経学会学術大会、札幌	2018.5.24
5	幻覚、認知機能低下で発症した髄膜癌腫瘍の 1 例	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第 151 回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2018.6.23
6	脳生検により原発性中枢神経系血管炎の確定診断に至り、経過良好であった 1 例	○富田稔、水野幸奈、森悠、赤塚和寛、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第 151 回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2018.6.23
7	早期治療が奏功した脳卒中合併の結核性髄膜炎の 1 例	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第 3 7 回 The M t . F u j i W o r k s h o p o n C V D	2018.8.25

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
8	脳生検により確定診断に至った中枢神経系血管炎の1例	○久納光皓、水野幸奈、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、氏平伸子、成田道彦、服部直樹	第37回The Mt. Fuji Workshop on CVD	2018.8.25
9	脳卒中・脳炎など多彩な中枢神経症状を呈した血管内リンパ腫の1例	○櫛谷香菜子、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第37回The Mt. Fuji Workshop on CVD	2018.8.25
10	血清IgG4高値を認めたANCA関連血管炎に伴うニューロパチーの1例	○富田稔、森悠、赤塚和寛、伊藤瑞規、服部直樹、加藤誓子、水野伸宏	第29回日本末梢神経学会、名古屋	2018.9.7
11	JAK2遺伝子変異陽性骨髄増殖性疾患による脳梗塞3例の検討	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第152回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2018.11.1
12	奇前大脳動脈の解離により、脳梗塞と脳出血を認めた1例	○長井伸、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第152回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2018.11.1
13	脊髄障害で発症し、PET-CTが診断の一助となった血管内大細胞型B細胞リンパ腫の1例	○近藤大也、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第152回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2018.11.1
14	IVIg反復投与にて寛解維持中の易再発性CIDP患者にRS3PE症候群が併発した1例	○田中かずみ、櫻井礼子、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第152回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2018.11.1
15	左心室内血栓による脳塞栓症を呈した先天性プロテインC欠損症にワーファリンが有効であった1例	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第36回神経治療学会、東京	2018.11.23
16	脳生検により原発性中枢神経血管炎の確定診断に至り、ステロイドパルス療法にて経過良好であった1例	○水野幸奈、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、氏平伸子、成田道彦、服部直樹	第36回神経治療学会、東京	2018.11.24
17	発症早期に陰性ミオクローヌスを主徴としたクロイツフェルト・ヤコブ病の1例	○馬場万里子、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第153回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2019.3.2
18	部分発作、行為障害で発症し1年半後新規前頭葉病変の生検で確定診断したPCNSLの1例	○森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第153回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2019.3.2
19	脳梗塞と鑑別を要した脊髄硬膜下血腫2例の臨床特徴	○佐藤萌美、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第153回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2019.3.2
20	Trousseau 症候群に対する当院におけるDOACの使用経験	○伊藤瑞規、森悠、赤塚和寛、富田稔、服部直樹	第44回日本脳卒中学会、横浜	2019.3.21
21	脳梗塞発症を契機に診断されたJAK2遺伝子変異陽性骨髄増殖性疾患3例	○赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第44回日本脳卒中学会、横浜	2019.3.23

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	症例から学ぶ医療安全	服部直樹	豊田厚生病院・医療安全全体講演会	2018.7.1
2	認知症の理解	服部直樹	とよた市民福祉大学家族介護コース、豊田	2018.7.2



No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
3	認知症の理解と対応	服部直樹	豊田市認知症介護家族会、豊田	2018.7.4
4	認知症の理解と予防—賢く生きてアンチエイジングを目指す	服部直樹	福祉講演会 豊田市浄水自治区	2018.10.2
5	自己免疫性ニューロパチーの病態と治療	服部直樹	第9回埼玉神経感染症・アレルギー研究会	2018.11.7
6	認知症の理解と対応—予防と共助の観点から	服部直樹	みまもりささえあい講演会、豊田下山	2019.2.23

## 5) 内分泌・代謝内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	グランギン又はデグルデク / DPP-4 阻害薬併用による B O T からオマリグリプリンに変更後の有効性・患者満足度の検討 (K O U - R A N -4study)	○加藤大也、渡邊令奈、前田佳照、澤井喜邦	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	2018.5.25
2	糖尿病透析予防外来の指導、及び24時間塩分推定摂取量測定の効果検証について	○加藤大也、渡邊令奈、澤井喜邦、前田佳照	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	2018.5.26
3	DPP-4 阻害薬と自己免疫疾患	○澤井喜邦	第27回豊田加茂医学会	2018.7.7
4	先進デバイスの有用性と糖尿病チーム医療	○加藤大也	第2回 T-Frends セミナー三重	2019.1.17

## 6) 腎臓内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	選択的単純血漿交換を施行した ANCA 関連血管炎の3症例	○佐藤直和、重本絵美、吉岡知輝、倉田久嗣	第48回日本腎臓学会西部学術大会	2018.9.28
2	梅毒感染によるネフローゼ症候群と肝炎を発症した1例	○林雅、佐藤直和、重本絵美、吉岡知輝、倉田久嗣	第236回東海地方会	2018.9.30
3	当院における腹膜透析カテーテル閉塞例の検討	○吉岡知輝、鈴木康弘、小島博、丸山彰一、伊藤泰彦、水野正司	第24回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	2018.10.7

### 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	倉田久嗣	第5回愛知透析 QOL カンファレンス	2018.8.25

## 7) 血液内科

### 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	Partial restoration of CD20 protein expression and rituxmab sensitivity after treatment with azacitidine in CD20-negative transformed diffuse large B cell lymphoma after using rituximab	○平賀潤二、富田章裕、鈴木奈瑠子、高木雄介、同病理診断科成田道彦、鏡味良豊	Annals hematology Published online : 03 May 2018
2	Composite Lymphoma comprising extranodal NK. T-cell lymphoma and diffuse large B-cell lymphoma	○長井伸、平賀潤二、鈴木伯征、鈴木奈瑠子、高木雄介、同病理診断科成田道彦、鏡味良豊	Case Report in Hematology 2018、Article ID 1583925 4 pages.

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	表面抗原 CD20 陰性の節性辺縁帯リンパ腫に対してリツキシマブの有効性が確認された 1 例	○鈴木奈瑠子、平賀潤二、高木雄介、同病理診断科成田道彦、鏡味良豊	第 7 回日本血液学会東海地方会	2018.4.24
2	再発びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対して大量化学療法後に重症低 Na 血症を来した 1 例	○伊藤亮太、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、同病理診断科成田道彦、鏡味良豊	第 7 回日本血液学会東海地方会	2018.4.24
3	80 歳以上の高齢者 DLBCL の予後因子の検討	○鈴木奈瑠子	第 105 回ブルー・アーベント	2018.5.30
4	陽性荷電ポリマー存在下で樹立できた IL-2/IL-4 依存性 ATL 細胞株の性状	○鏡味良豊、内山進、加藤春美、山本一仁、瀬戸加大	第 58 回日本リンパ網内系学会総会	2018.6.30
5	骨髄増殖性腫瘍における多重がんの検討	○平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、鏡味良豊	第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2018.7.21
6	対麻痺で発症し診断に難渋した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例	○長田祥子、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、鏡味良豊、同神経内科近藤大也、富田稔	第 236 回日本内科学会東海地方会	2018.9.30
7	結核合併 MTX 関連リンパ増殖性疾患に化学療法を施行した 1 例	○前田健登、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、鏡味良豊、同呼吸器内科牛嶋太	第 236 回日本内科学会東海地方会	2018.9.30
8	肺腺癌、悪性リンパ腫の多重がん患者の胸水貯留とリンパ節腫大	○安田司、牛嶋太、二村圭祐、高嶋浩司、青山昌広、谷川吉政、同血液内科平賀潤二	第 236 回日本内科学会東海地方会	2018.9.30
9	A single center retrospective study of immune thrombocytopenia induced by vonoprazan fumarate	○Naruko Suzuki、Junji Hiraga、Yusuke Takagi、Tomoyuki Tsuzuki、Natsuko Uemtatsu、Yoshitoyo Kagami、Hematol、Gastroenterol、Pharmacol、Toyota Kosei Hospital	第 80 回日本血液学会学術集会	2018.10.12
10	節外性 NK/T 細胞リンパ腫とびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の同時発症	○長井伸、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、同病理診断科成田道彦、鏡味良豊	第 80 回日本血液学会学術集会	2018.10.13
11	肝硬変合併再発末梢性 T 細胞性リンパ腫・非特異群に対するフォロデシン投与の安全性と有用性	○平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、成田道彦、鏡味良豊	第 80 回日本血液学会学術集会	2018.10.13



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
12	プラトレキセート投与後に間質性肺炎 (IP) を発症した 1 例	○石川稜恭、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、鏡味良豊	第 237 回日本内科学会東海地方会	2019.2.17
13	サルコイドーシス、M 蛋白血症にホジキンリンパ腫を合併した 1 例	○安田司、平賀潤二、鈴木奈瑠子、高木雄介、鏡味良豊	第 237 回日本内科学会東海地方会	2019.2.17

## 8) 総合内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	痙攣で救急搬送され心原性と判断された症例の検討	○西本泰浩、加藤誓子、渡口賢隆	第 115 回日本内科学会総会・講演会	2018.4.13
2	10 年間の救急搬送症例の年齢と主訴・主要症候の推移	○西本泰浩、都築通孝、畑田剛、小林修一	第 46 回日本救急医学会総会	2018.11.19
3	顔面浮腫で発症したループス腸間膜血管炎の 1 例	○呉山菜梨、平岩厚佑、加藤誓子、渡口賢隆、水野伸宏、西本泰浩	第 236 回日本内科学会東海地方会	2018.9.30
4	Tolosa-Hunt 症候群を呈した下垂体卒中の 1 例	○馬場万里子、今井絵利華、田中かずみ、加藤誓子、渡口賢隆、西本泰浩、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第 237 回日本内科学会東海地方会	2019.2.17
5	Chlamdophila pneumoniae 感染に併発した腸間膜脂肪膜炎の 1 例	○長井伸、渡口賢隆、加藤誓子、西本泰浩	第 237 回日本内科学会東海地方会	2019.2.17

## 9) 緩和ケア内科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	多発骨転移、肝転移を伴う悪性褐色細胞腫の緩和医療経験	○村松雅人、西村大作、近藤有、横山尚美、植松夏子、安居円、齋藤靖子、井口多恵子	第 23 回緩和医療学会学術大会	2018.6.15
2	両下肢 3 重屈曲反射が出現した乳がん多発骨転移による脊髄圧迫症候群の 1 例	○村松雅人	第 10 回 AGPAL 研究会	2019.3.23
3	ナラティブ看護に取り組んで	○齋藤靖子、安居円、井口多恵子、村松雅人	第 10 回 AGPAL 研究会	2019.3.23

## 10) 小児科

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	学校健診における成長曲線の活用について 2) 平成 29 年度豊田厚生病院受診結果	○梶田光春、鈴木大路、伊藤卓冬、辻元基、生駒雅信	平成 30 年度第 1 回豊田加茂学校 (園) 医研修会	2018.4.11
2	Fabry 病の 1 家系	○梶田光春、鈴木大路、伊藤卓冬、辻元基、生駒雅信、倉田久嗣、明治薬科大学生体機能分析学会研究室 兎川忠靖、同臨床遺伝学研究室 櫻庭均	第 109 回東海臨床遺伝・代謝懇話会	2018.6.12
3	眠ると医療的ケアが必要な 2 例 (CCHS)	○梶田光春、鈴木大路、伊藤卓冬、辻元基、生駒雅信、高嶋浩司	第 13 回三機関合同勉強会	2018.6.13



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
4	アボカドオイルを用いた不適切な民間療法により著明な発育障害をきたしたアトピー性皮膚炎の乳児例	○辻元基、中西久美子、伊藤卓冬、西田大恭、生駒雅信、梶田光春、吉川真人、足立秀禎、鈴木伸吾	第 67 回日本アレルギー学会学術大会	2018.6.22
5	著明な低ナトリウム血症、高カリウム血症、代謝性アシドーシスを呈した続発性偽性低アルドステロン症の 1 例	○西田大恭、伊藤卓冬、辻元基、中西久美子、生駒雅信、梶田光春	第 2 7 3 回日本小児科学会東海地方会	2018.7.1
6	尻餅についてから腰痛で歩けなくなった 2 歳女児（高カルシウム血症 + AL L）	○伊藤卓冬、鈴木大路、辻元基、生駒雅信、梶田光春	第 6 4 回豊田加茂小児科医会例会	2018.8.4
7	遷延・増悪する喘鳴を認めた 1 0 か月児（P A S l i n g）	○生駒雅信、伊藤卓冬、鈴木大路、辻元基、梶田光春	第 6 4 回豊田加茂小児科医会例会	2018.8.4
8	血漿中 Lyso-Gb3 高値のために酸素補充療法を開始した Fabry 病姉妹例	○梶田光春、鈴木大路、伊藤卓冬、辻元基、生駒雅信、明治薬科大学生体機能分析学会研究室月村考宏、兎川忠靖、同臨床遺伝学研究室櫻庭均	α -Seminar 2018 in Yokyo ~ Fabry disease Expert Meeting	2018.9.15
9	乳児の即時型食物アレルギー初発時の臨床情報と予後についての検討	○辻元基、鈴木大路伊藤卓冬中西久美子生駒雅信梶田光春 / あいち小児保健医療総合センターアレルギー科杉浦至郎	第 55 回日本小児アレルギー学会学術大会	2018.10.21
10	熱射病による心肺停止と診断した一例	○辻元基、梶田光春鈴木大路、伊藤卓冬、生駒雅信	第 2 7 4 回日本小児科学会東海地方会	2018.11.4
11	頸部リンパ節炎の再燃を繰り返す 12 歳男児例（菊池病）	○宮城島萌、鈴木大路、辻元基、生駒雅信、梶田光春	第 6 回尾張東部・豊田小児医療研究会	2019.2.8
12	気道感染後に弛緩性麻痺をきたした 2 例（急性弛緩性髄膜炎）	○宮城島萌、鈴木大路、辻元基、生駒雅信、梶田光春	第 6 5 回豊田加茂小児科医会例会	2019.2.9
13	発熱、循環不全、腹部膨満をみとめた生後 2 か月の一例（ヒトパレコウイルス感染症）	○鈴木大路、宮城島萌、辻元基、生駒雅信、梶田光春	第 6 5 回豊田加茂小児科医会例会	2019.2.9
14	アボカドオイルを用いた不適切な民間療法に傾倒していた重症アトピー性皮膚炎の乳児例	○鈴木大路、辻元基、宮城島萌、中西久美子、生駒雅信、梶田光春	第 2 7 5 回日本小児科学会東海地方会	2019.2.10

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	第 13 期アレルギー大学：医学 - 基礎	中西久美子	アレルギー支援ネットワーク	2018.6.10
2	アレルギーを持った小児への対応～エピペンの操作～（放課後児童クラブ指導員対象）	中西久美子	豊田厚生病院	2018.6.12
3	豊田厚生病院看護技術研修会「アレルギーを持った小児への対応～エピペンの操作～」	中西久美子	豊田厚生病院	2018.6.28
4	第 13 期アレルギー大学：医学 - 基礎（魚國本社にて）	中西久美子	アレルギー支援ネットワーク	2018.7.7
5	アレルギー対応研修会：学校現場における / 食物アレルギーの知識と適切なアナフィラキシー対応について	中西久美子	豊田市教育委員会保健給食課	2018.7.26、 2018.8.9
6	園生活における食物アレルギーの対応について	中西久美子	豊田市子ども部保育課	2018.10.19



## 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	中西久美子	豊田加茂小児科医会総会	2018.5.12
2	座長	梶田光春	第109回東海臨床遺伝・代謝懇話会	2018.6.12
3	座長	梶田光春	西三河ファブリー病セミナー	2018.7.19
4	座長	梶田光春	第64回豊田加茂小児科医会例会	2018.8.4

## 11) 病理診断科

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	高齢発症 Anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma	○氏原伸子、成田道彦、立花栄二	第36回日本脳腫瘍病理学会	2018.9.26

## 12) 外科

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	胆道再建を伴う肝切除術後の周術期抗菌薬投与に関する前向き検討	○菅原元、横山幸浩、江畑智希、伊神剛、水野隆史、山口淳平、尾上俊介、國料俊男、角田伸行、深谷昌男、上原圭介、宮田一志、相場利貞、柳野正人	第118回日本外科学会	2018.4.7
2	術前胆汁培養で多剤耐性菌陽性であった胆道再建を伴う肝切除症例の検討	○菅原元、江畑智希、柳野正人	第118回日本外科学会	2018.4.7
3	困難であった腸結核の一例	○緒方諒仁	第295回東海外科学会	2018.4.15
4	胸腔鏡下食道亜全摘術後にポートサイト再発をきたした食道がんの一例	○久留宮康浩	第72回日本食道学会学術集会	2018.6.29
5	右側および左側大腸癌の周術期で性差がおよぼす影響について	○久留宮康浩	第73回日本消化器外科学会総会	2018.7.13
6	V P シャント感染により汎発性腹膜炎を呈した2例	○鳥居直矢	第73回日本消化器外科学会総会	2018.7.13
7	下部消化器穿孔の予後—当院における手術症例の治療成績から—	○桐山宗泰	第73回日本消化器外科学会総会	2018.7.13
8	乳房温存術後断端陽性例に対する1次1期乳房再建	○久留宮康浩	第6回日本乳房オンコプラスチックサージェリー学会	2018.9.20
9	術後膺液瘻に対する内視鏡的経胃ドレナージが奏功した1例	○竹内健司	第296回東海外科学会	2018.10.14
10	術前範囲診断が困難であった diffuse cystic malformation に合併した胃がんの1例	○蟹江恭和、久留宮康浩	第26回日本消化器関連学会週間	2018.11.3
11	盲腸癌術後の異時性孤立性脾転移に対して脾摘後長期無再発生存中の1例	○久留宮康浩、世古口英、小林聡、菅原元、河合清貴、桐山宗泰	第73回日本大腸肛門病学会	2018.11.9
12	糖尿病併存胃がん患者における術後耐糖能の検討	○久留宮康浩	第80回日本臨床外科学会総会	2018.11.21

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
13	皮下植込み型中心静脈カテーテル先端が奇静脈に迷入し縦隔炎をきたした1例	○井上昌也	第80回日本臨床外科学会総会	2018.11.24
14	肝膿瘍を契機に発見された胃癌・直腸癌に対し腹腔鏡下幽門側胃切除、低位前方切除を施行した1例	○菅原元、世古口英、久留宮康浩、水野敬輔、河合清貴、桐山宗泰、鳥居直矢、蟹江恭和、佐久間政宜、稲田亘佑	第31回日本外科感染症学会	2018.11.29
15	前立腺全摘術後鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下ヘルニア修復術 - 当院における手術症例の検討から -	○桐山宗泰、久留宮康浩、世古口英、菅原元、河合清貴、鳥居直矢、蟹江恭和、稲田亘佑	第31回日本内視鏡外科学会	2018.12.6
16	大腿ヘルニア陥頓に対する腹腔鏡下手術 (TAPP 法) の安全性	○蟹江恭和、久留宮康浩、世古口英、河合清貴、桐山宗泰、鳥居直矢	第31回日本内視鏡外科学会	2018.12.7

### 13) 呼吸器外科

#### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	肺悪性腫瘍に対する胸腔鏡下手術における切除組織回収の問題点	○平松義規、岡坂敏樹、渡邊裕樹	第118回日本外科学会	2018.4.7
2	神経線維腫症 I 型に合併した肋間動脈瘤破裂による血胸の1例	○渡邊裕樹、○岡坂敏樹、○渡邊裕樹	第61回関西胸部外科学会学術総会	2018.6.21
3	快適に気胸手術を受けていただくために～術前待機日数の短縮と手術当日の待機時間の短縮を目指して～	○岡坂敏樹、渡邊裕樹、平松義規	第22回日本気胸嚢胞性肺疾患学会総会	2018.9.1
4	施設あたりの常勤呼吸器外科医師を3名以上確保せよ～増員前後の業務効率の検討からの考察と提言～	○渡邊裕樹、平松義規	第71回日本胸部外科学会定期学術集会	2018.10.5
5	CYFRA21-1 高値を示し原発性肺癌との鑑別困難であった肺放線菌症の1手術例	○渡邊裕樹、岡坂敏樹、平松義規	第80回日本臨床外科学会総会	2018.11.22
6	末梢性小型肺病変に対するCTガイド下皮膚マーキング法の有用性の検討	○渡邊裕樹、岡坂敏樹、平松義規	第59回日本肺癌学会学術集会	2018.11.29

### 14) 脳神経外科

#### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	C E A における縦切開と横切開の術野展開の違い - 当院における高位展開の工夫 -	○圓若幹夫、河村彰乃、住友正樹、立花栄二	第94回日本脳神経外科学会中部支部学術集会	2018.4.21
2	頸椎前方手術における術後起動閉塞の予測因子	○深谷宣央、山木優、赤堀翔、原政人	第33回日本脊髄外科学会	2018.6.15
3	もやもや病に対する深側脳動脈 (DHA)-中大脳動脈 (MCA) 直接吻合術	○河村彰乃、深谷宣央、圓若幹夫、住友正樹、立花栄二	第95回日本脳神経外科学会学術集会中部支部学術集会	2018.9.8
4	くも膜下出血における予後規程因子	○圓若幹夫、深谷宣央、河村彰乃、住友正樹、立花栄二	第44回日本脳卒中学会学術総会	2019.3.23



## 15) 心臓外科

## 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	Pericardial Sandwich Technique for end-to-end Anastomosis of Artificial Graft	○ Araki Y, Konishi Y, Terada T, Teramoto C, Kawaguchi O.	Ann Thorac Surg. 2018 May 28.
2	Left Ventricular Outflow Tract Obstruction of Double Valve Re-Replacement Using Bioprosthesis.	○ Araki Y, Teramoto C, Konishi Y, Terada T, Kawaguchi O.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug 9.
3	左前側方開胸による心拍動下心膜切開術が有効であった結核性収縮性心膜炎の1治験例	○寺本慎男、荒木善盛、寺田貴史、小西康信、川口鎮	日本心臓血管外科学会雑誌 48 巻 1号 60-64, 2019
4	A functional evaluation of cerebral perfusion for coronary artery bypass grafting patients.	○ Teramoto C, Mutsuga M, Kawaguchi O, Araki Y, Matsuda J, Usui A.	Heart Vessels. 2019 Jan 31.

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	Trifurcate graft と Open stent を使用した再弓部置換術	○小西康信、寺田貴史、荒木善盛、川口鎮	第 61 回関西胸部外科学会学術集会	2018.6.22
2	術前気管切開施行のため Clam shell thoracotomy にて施行した CABG の 1 例	○寺田貴史、荒木善盛、小西康信、川口鎮	第 61 回関西胸部外科学会学術集会	2018.6.22
3	前立腺癌治療剤フルタミドの影響でワーファリンの効果が著しく増強した一例	○小西康信、寺田貴史、荒木善盛、川口鎮	第 151 回日本循環器学会東海地方会	2018.6.30
4	発症後 3 か月後に待機的に根治術を施行した前壁梗塞に合併した心室中隔穿孔の 1 例	○寺田貴史、荒木善盛、小林明裕、芦田真一、川口鎮	第 110 回東海心臓外科懇話会	2019.2.2
5	開心術後心房細動に対する盲目的マグネシウム補充療法の効果と安全性	○寺田貴史、荒木善盛、小林明裕、川口鎮	第 49 回日本心臓血管外科学会学術総会	2019.2.13

## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	Medical Seminar 2018「糖尿病と心臓手術」	荒木 善盛	豊田加茂医師会 / 武田薬品工業株式会社	2018.6.20

## 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	川口 鎮	第 61 回関西胸部外科学会学術集会	2018.6.21
2	座長	荒木 善盛	第 61 回関西胸部外科学会学術集会	2018.6.21

## 16) 救急科

## 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	肺動脈カテーテル（スワン・ガンツ・カテーテル）留置法	○畑田剛	今日の治療指針 2018

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	I C Uにおける心不全疑い例での intrarenal Doppler ultrasonograohy と P E E P / C P A P の効果	○都築通孝、大橋大器、伊藤岳司、森佳子、佐藤直和、倉田久嗣	日本超音波学会第 9 1 回学術集会	2018.6.9
2	I C Uにおける intrarenal Doppler ultrasonograohy が非心機能低下患者の輸液管理方針に有用と思われた 1 例	○都築通孝、大橋大器、佐藤直和、重本絵実、吉岡知輝、倉田久嗣	日本超音波学会第 39 回中部地方学術集会	2018.10.8
3	I C U入室中に腎うっ血によると考えられた腎機能悪化が見られた 2 症例	○都築通孝、寺田貴史、沖島正幸、戸田州俊、太田祐介、中前健二	第 4 6 回日本救急医学会総会	2018.11.9
4	豊田厚生病院救命救急センターにおける「異物」の確認された症例 4 年分の解析	○都築通孝、西本泰浩、畑田剛、寺田貴史、小林修一	第 4 6 回日本救急医学会総会	2018.11.19

17) 泌尿器科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	当院での E R I C 手術症例の検討	○山田健司、海野奈央子、金本一洋、橋本良博、岩瀬豊	第 1 0 6 回日本泌尿器科学会総会	2018.4.19
2	B B N 誘発浸潤性膀胱がんモデルマウスにおいてゲノム D N A コピー数が増幅する新規遺伝子 c y p 2 a 2 2	○金本一洋	第 1 0 6 回日本泌尿器科学会総会	2018.4.19
3	B C G 膀胱内科注入療法後に発症した結核性大腿部膿瘍の 1 例	○橋本良博	第 6 6 回化学療法学会西日本支部総会	2018.11.17

18) 眼科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	黄斑部毛細血管拡張症 I 型の毛細血管異常の分布	○富安胤太、平野佳男、安田優介、江崎雄也、鈴木識裕、小椋祐一郎	第 3 5 回日本眼循環学会	2018.7.20

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	第 1 回 糖尿病と網膜症 予防のための連携会 糖尿病網膜症～内科医と眼科医の連携の重要性について	山田 麻里	豊田加茂医師会 糖尿病研究会	2018.6.23
2	豊田厚生病院 第 22 回市民講座 糖尿病で失明しないコツとは	山田 麻里	豊田厚生病院	2018.10.6
3	第 7 回 日本くすりと糖尿病学会学術集会 教育講演 糖尿病網膜症・診断と治療の進歩～より良い QOV(quality of vision) を求めて	山田 麻里	一般社団法人日本くすりと糖尿病学会	2018.10.14

19) 耳鼻咽喉科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	蝸中内カルシウム制御に関与する新たな分子機構の検討	○南方寿哉	第 2 8 回日本耳科学会総会・学術講演会	2018.10.5



## 20) 麻酔科

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	関節リウマチ患者に対して意識下挿管を試みる局所麻酔中毒を起こし緊急的に気管支ファイバーを用いて経鼻挿管した一例	○酒井博生、上原博和、長橋究、小島康裕、太田祐介	第16回日本麻酔科学会東海・北陸支部学術集会	2018.9.8
2	高齢腎性貧血患者に対する赤血球造血因子製剤（ESA）の及ぼす影響	○長橋究、正木克由規、早川富博	第67回日本農村医学会学術総会	2018.10.12

## 21) 歯科口腔外科

## 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	術後性上顎嚢胞を契機として発見した嚢胞腺腫の1例	○宇佐見一公、兼子隆次、河合孝真、望月大督、浅井英明、水野肇、鶴迫真一、鈴木英治	Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery, Vol.30 No.1, 2018
2	Ophthalmoplegia considered to be Tolosa-Hunt syndrome	○Kazuto Okabe, Ryuji Kaneko, Takamasa Kawai, Daisuke Mochizuki, Shuhei Tsuchiya, Hideharu Hibi	A case report Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 30(5): 461-465, 2018
3	下顎歯肉癌の手術中に重篤な心筋虚血を生じた1例	○河合孝真、兼子隆次、岡部一登、宇佐見一公、望月大督	日本口腔外科学会雑誌 Vol.64 No.12:720-725 2018
4	再発後に顕在化した G-CSF・PTHrP 産生舌癌の1例	○兼子隆次、河合孝真、岡部一登	日本口腔腫瘍学雑誌 Vol.31 No.1:17-23 2019
5	Evaluation of the effect of polaprezinc against oral mucositis associated with concurrent chemoradiotherapy	○Kazuto Okabe, Ryuji Kaneko, Kazutada Usami, Takamasa Kawai, Fumiya Kano, Hideharu Hibi	Oral Science in Japan: 9-10, 2018

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	歯科用金属アレルギーのパッチテストを実施した患者の臨床的検討	○望月大督、兼子隆次、宇佐見一公、河合孝真	第43回日本口腔外科学会中部地方会	2019.6.23
2	口腔外科疾患に対する粘度可変型栄養法導入症例の検討	○兼子隆次、宇佐見一公、望月大督、河合孝真	第67回日本農村医学会総会	2019.10.10
3	当科における口腔悪性腫瘍剖検症例の検討	○兼子隆次、宇佐見一公、河合孝真、望月大督	第63回日本口腔外科学会総会	2019.11.2
4	当科における低亜鉛血症患者の臨床的検討	○宇佐見一公、兼子隆次、河合孝真、望月大督	第63回日本口腔外科学会総会	2019.11.2
5	口腔外科疾患術後の経管栄養管理における半固形化栄養法の検討	○河合孝真、兼子隆次、宇佐見一公、望月大督	第63回日本口腔外科学会総会	2019.11.3

## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	口腔外科疾患に対する半固形化栄養法による栄養管理について	兼子隆次	第72回日本口腔科学会総会	2018.5.12
2	半固形化栄養剤による栄養管理の取り組み	兼子隆次	第2回千種ニュートリションセミナー	2018.9.13

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
3	口腔領域に関わる栄養管理の意義	兼子隆次	豊田加茂歯科医師会医療連携講演会	2019.1.29

## 22) 整形外科

### 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	Dupuytren 拘縮に対する Collagenase 注射療法について	○稲垣弘進	日本手外科学会誌 第 35 巻 6 号 1263 頁 -1267 頁
2	尺骨茎状突起衝突症候群の 4 例	○増田高将、稲垣弘進、佐伯岳紀	日本手外科学会誌 第 35 巻 6 号 1296 頁 -1299 頁
3	当科における骨粗鬆症に対するデノスマブの治療成績	○金山康秀、村田盛郎、稲垣弘進、佐伯岳紀	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 61(4), 789-790, 2018
4	小児大腿骨頸部骨折 Delbet-Colonna 分類 II 型の治療経験	○館寛人、金山康秀、稲垣弘進、辻太一、二村尚久、村田盛郎	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 61(5), 1131-1132, 2018
5	橈骨遠位端骨折術後に示指深指屈筋腱断裂を来した 1 例	○館寛人、稲垣弘進、金山康秀、長田直祥	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 62 巻 2 号 311 頁 -312 頁

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	成人脊柱変形術後のロッド折損 (RF) - 傾向と対策 -	○辻太一、村田盛郎	第 47 回日本脊椎椎髄病学会学術集会	2018.4.14
2	当科における骨粗鬆症に対するデノスマブの治療成績	○金山康秀、村田盛郎、稲垣弘進、辻太一、二村尚久、佐伯岳紀	第 130 回中部日本整形災害外科学会	2018.4.20
3	小児大腿骨頸部骨折 (Delbet-Colonna 分類 II 型) の治療経験	○館寛人、金山康秀、稲垣弘進、二村尚久、佐伯岳紀、村田盛郎	第 130 回中部日本整形災害外科学会	2018.4.21
4	Dupuytren 拘縮に対する Collagenase 注射療法の治療成績	○稲垣弘進、佐伯岳紀、増田高将	第 61 回日本手外科学会学術集会	2018.4.26
5	イブラチモド投与症例の 52 週時寛解予測に関する関節エコー評価の有用性について	○金山康秀、長坂日登美	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2018.4.26
6	セルトリズマブペゴルの治療成績～TBCR より 2 年経過例における検討	○金山康秀、金子敦史、高橋伸典、加藤武史、平野裕司、服部陽介、浅井信之、藤林孝義、塩浦朋根、渡邊剛、林真利、矢部裕一朗、石黒直樹、小嶋俊久	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2018.4.27
7	Infliximab の RA 頸椎病変進行抑制効果について～多施設研究登録症例 (TBCR) における IFX、MTX 投与例との 3 年経過例における比較検討～	○金山康秀、小嶋俊久、平野祐司、高橋伸典、石黒直樹	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2018.4.27
8	RA 骨粗鬆症に対するデノスマブの治療効果におけるステロイドの影響について～多施設登録研究 (TBCR-BONE) より 36 ヶ月投与例の検討～	○金山康秀、平野裕司、高橋伸典、浅井秀司、石黒直樹、小嶋俊久	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2019.4.28
9	当科における RA 骨粗鬆症と原発性骨粗鬆症に対するデノスマブの治療成績	○金山康秀	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2019.4.28
10	臨床的寛解達成時の関節エコー所見がその後の疾患活動性に与える影響について	○長坂日登美、金山康秀	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2019.4.28



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
11	B型肝炎キャリア RA に対して TNF- $\alpha$ 阻害薬を投与し骨関節破壊の改善を認めた一例	○水野幸奈、金山康秀	第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会	2019.4.28
12	小児脊柱変形手術の問題点 -PJK- & あの症例のその後	○辻太一	名古屋大学合同カンファレンス	2019.5.17
13	リウマチ診療における関節エコーの活用について	○金山康秀	名古屋大学合同カンファレンス	2019.5.17
14	生物学的製剤の RA 頸椎病変進行抑制効果と疾患活動性の関連について ～他施設登録症例 (TBCR) における検討～	○金山康秀、小嶋俊久、平野裕司、矢部裕一郎、高橋伸典、石黒直樹	第 9 1 回日本整形外科学会学術集会	2018.5.25
15	EFFICACY OF INFLIXIMAB FOR SUPPRESSING RADIOGRAPHIC PROGRESSION OF CERVICAL LESIONS IN PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS COMPARISON WITH METHOTREXATE ; THREE YEARS OF FOLLOWUP ~A MULTICENTER REGISTRY STUDY ~	○ Yasuhide Kanayama, Toshihisa Kojima, Yuji Hirano, Nobunori Takahashi and Naoki Ishiguro	第 1 9 回欧州リウマチ学会 (E U L A R)	2018.6.14
16	INFLUENCE OF ORAL PREDNISOLONE ON EFFECT OF DENOSUMAB ON OSTEOPOROSIS IN PATIENTS WITH JAPANESE RHEUMATOID ARTHRITIS ; 36 MONTHS OF FOLLOW-UP ~A MULTICENTER REGISTRY STUDY~	○ Yasuhide Kanayama, Yuji Hirano, Nobunori Takahashi, Shuji Asai, Naoki Ishiguro and Toshihisa Kojima	第 1 9 回欧州リウマチ学会 (E U L A R)	2018.6.14
17	繰り返す骨折より骨形成不全症が疑われた一例	○足立維、金山康秀、稲垣弘進、辻太一、二村尚久、長田直祥、館寛人、杉本遼介、等々力一徳	第 4 4 回日本骨折治療学会	2018.7.7
18	リウマチ診療における関節エコーの位置付けについて	○金山康秀	第 23 回西三河 (全三河) 研究会	2019.8.25
19	MTX 投与中に骨びらの進行を認めたためイグラチモドを追加併用し骨びらの修復が得られ、3 年にわたり維持されている一例	○等々力一徳、金山康秀、長坂日登美	第 3 0 回中部リウマチ学会	2018.8.31
20	当科におけるアバタセプト投与症例の関節エコー所見改善効果に関する検討 ～ 2 4 週経過例の検討～	○金山康秀、長坂日登美、等々力一徳	第 3 0 回中部リウマチ学会	2018.8.31
21	Influence of glucocorticoids on effect of denosumab on osteoporosis in patients with Japanese rheumatoid arthritis; 36 months of follow-up ~a Multicenter Registry Study~	○ Yasuhide Kanayama, Yuji Hirano, Nobunori Takahashi, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima and TBCR-BONE study group	第 40 回米国骨代謝学会 (ASBMR)	2018.9.30
22	B e n n e t t 骨折に大菱形骨骨折を合併した 3 例の治療成績	○稲垣弘進、館寛人、長田直祥	第 1 3 1 回中部日本整形外科学会	2018.10.5
23	橈骨遠位端骨折術後に示指深指屈筋腱断裂をきたした 1 例	○館寛人、稲垣弘進、金山康秀、二村尚久、佐伯岳紀、長田直祥	第 1 3 0 回中部日本整形外科学会	2018.10.5
24	当院における骨粗鬆症治療薬の使用状況について	○杉本遼介、金山康秀	第 10 回三河骨粗鬆症研究会	2018.10.13



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
25	RA 骨粗鬆症に対するデノスマブの治療成績におけるステロイドの影響について～多施設登録研究 (TBCR-BONE) よりステロイド併用例と非併用例における 36 ヶ月投与例の比較検討～	○金山康秀、平野裕司、高橋伸典、石黒直樹、小嶋俊久	第 20 回日本骨粗鬆症学会	2018.10.26
26	脊柱変形矯正手術における医療安全 (出欠対策を中心に)	○辻太一	第 52 回日本側彎症学会学術集会	2018.11.2
27	生物学的製剤の R A 頸椎病変進行抑制効果について～多施設研究登録症例 (T B C R) における B I O、M T X 投与例の比較検討～	○金山康秀、小嶋俊久、平野裕司、矢部裕一郎、高橋伸典、石黒直樹	第 33 回日本臨床リウマチ学会	2018.11.24
28	Panner 病の 2 例	○稲垣弘進	第 31 回日本肘関節学会学術集会	2019.2.8
29	TKA 後に生じた大腿骨骨折に対して順行性髄内釘による骨接合術を施行した一例	○杉本遼介、金山康秀、稲垣弘進、辻太一、二村尚久、長田直祥、舘寛人、等々力一徳	名古屋大学合同カンファレンス	2019.2.21
30	大腿骨頸部骨折の現状と治療	○長田直祥	大腿骨頸部骨折地域連携パス合同プログラム	2019.3.1
31	骨粗鬆症患者に対するエルデカルシトール初回投与例の治療成績	○杉本遼介、金山康秀	第 11 回三河骨粗鬆症研究会	2019.3.9

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	RA 治療における新規 JAK 阻害薬の臨床的意義 ～関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	西三河 /JAK FRONTIER	2018.5.19
2	乾癬性関節炎に対する治療戦略と 当科の診療状況について	○金山康秀	乾癬性関節炎の連携を考える会	2018.5.30
3	RA 治療における新規 JAK 阻害薬の臨床的意義 ～関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	岐阜 JAK カンファレンス	2018.5.31
4	アダリムマブ投与症例における関節エコー所見と骨関節破壊抑制について	○金山康秀	ヒュミラ 10 周年記念講演会	2018.6.2
5	関節エコーの有用性と当院での使用状況について	○金山康秀	関節リウマチエコーセミナー in 桜山	2018.7.13
6	RA 治療における画像評価の検討	○金山康秀	Summer seminar in Asahikawa	2018.8.3
7	一次骨折予防としてのビタミン D の重要性	○金山康秀	豊田骨粗鬆症懇話会	2018.8.8
8	Life Event を見据えた RA 診療～ WoCBA 女性のリウマチについて考える～	○金山康秀	関節リウマチ WEB シンポジウム	2018.9.20
9	RA 骨粗鬆症に対する治療戦略	○金山康秀	リウマチと骨粗鬆症フォーラム in 浜松	2018.9.26
10	関節リウマチ診療における関節エコー活用法について	○金山康秀	豊田加茂医師会	2018.10.18
11	関節リウマチ診療におけるアバタセプトの至適症例像とは？～自験例における関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	2018.10.18
12	骨粗鬆症紹介外来の現状と地域連携	○金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症学術講演会	2018.10.31



No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
13	関節リウマチ診療におけるアバタセプトの至適症例像とは？～自験例における関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	東海地区エリアリウマチ WEB セミナー	2018.11.8
14	関節エコーの有用性と当院での使用状況について	○金山康秀	第3回 豊田関節エコー研修会	2018.11.18
15	関節リウマチ診療における関節エコーの臨床的意義と活用術について	○金山康秀	第2回静岡リウマチを考える会	2018.11.28
16	RA 治療における画像評価について	○金山康秀	中外製薬	2018.12.6
17	関節エコーの有用性と当院での使用状況について	○金山康秀	第4回 豊田関節エコー研修会	2018.12.9
18	RA 治療における画像評価について	○金山康秀	中外製薬	2018.12.6
19	関節リウマチ診療における ABT 至適症例像とは？ ～自験例における関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	平成 RA セミナー in 津	2018.12.15
20	関節リウマチ診療における関節エコーの臨床的意義と活用術について～アバタセプト投与例における関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	第5回リウマチ治療セミナー in SASEBO	2019.2.21
21	実臨床におけるセルトリズマブペゴルの特徴と WoCBA 関節リウマチ患者の治療について	○金山康秀	RA Dr. & Ns. Seminar in Toyohashi	2019.3.2
22	脊椎関節炎疾患における鑑別診断と治療のポイント	○金山康秀	脊椎関節炎を考える会	2019.3.13
23	関節リウマチ診療における関節エコーの臨床的意義と活用術について	○金山康秀	ヤンセンファーマ	2019.3.19
24	Life Event を見据えた RA 診療～ WoCBA 女性のリウマチについて考える～	○金山康秀	Tokai RA Forum in Toyota	2019.3.23
25	リウマチ性関節炎における画像所見のポイント	○金山康秀	Biologics Seminar for young Rheumatologist	2019.3.23

## 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	稲垣弘進	第61回日本手外科学会学術集会	2018.4.26
2	座長	辻 太一	豊田厚生病院せばね病診連携の会	2018.4.19
3	座長	金山康秀	RA small meeting in 豊田	2018.6.6
4	座長	金山康秀	Biologics Users' Forum	2018.6.23
5	座長	金山康秀	RA FRONTIER ～ TOYOTA KAMO ～	2018.7.25
6	座長	金山康秀	関節リウマチフォーラム 2018	2018.9.8
7	座長	金山康秀	第6回 MAESTRO SEMINAR	2018.9.22
8	座長	金山康秀	IL-6 RA Meeting in 三河	2018.10.12
9	座長	金山康秀	第10回三河骨粗鬆症研究会	2018.10.13
10	座長	金山康秀	第6回愛知 DMARD 研究会	2018.10.19
11	座長	金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症学術講演会	2018.10.31
12	座長	金山康秀	第1回 RA-BETTER 研究会	2018.11.7

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
13	座長	金山康秀	第5回三河関節エコー研究会	2018.11.10
14	司会	金山康秀	第3回豊田関節エコー研修会	2018.11.18
15	座長	金山康秀	西三河 PsA 診療を考える会	2018.11.27
16	座長	金山康秀	TOYOTA JAK FORUM	2018.12.5
17	司会	金山康秀	第4回豊田関節エコー研修会	2018.12.9
18	座長	金山康秀	ASAHI IL-6 SEMINAR	2019.2.8
19	座長	金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症フォーラム	2019.3.6
20	座長	金山康秀	第2回西三河 JAK FRONTIER	2019.3.30

### 23) 形成外科

#### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	両側鼻翼を含む外鼻欠損を耳甲介複合組織移植を前額皮弁にて再建した一例	○水野玲子、川端明子、今井弘恵、茂木公佑	第36回日本頭蓋骨顔面外科学会学術集会	2018.10.12

### 24) 産婦人科

#### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	切迫早産の治療患者は治療終了早期に早産に至るのか？	○溝口真以、新城加奈子、南洋介、山本靖子、村上真由子、針山由美	第70回日本産婦人科学会学術講演会	2018.5.12
2	婦人科悪性腫瘍に皮膚科筋炎を合併した2例	○神谷知都世、正木希世、溝口真以、山本靖子、新城加奈子、水野伸宏、針山由美	第107回愛知産科婦人科学会	2018.6.30
3	当院における回復移行した腹腔鏡下手術についての検討	○溝口真以、神谷知都世、正木希代、山本靖子、新城加奈子、針山由美	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	2018.8.2

### 25) 臨床研修科

#### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	B型肝炎キャリアRAに対してTNF- $\alpha$ 阻害薬を投与し骨関節破壊の改善を認めた一例	○水野幸奈、金山康秀	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	2018.4.28
2	脳生検により原発性中枢神経系血管炎の確定診断に至り、経過良好であった1例	○水野幸奈、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第151回日本神経学会東海北陸地方会	2018.6.23
3	脳生検により原発性中枢神経系血管炎の確定診断に至り、経過良好であった1例	○水野幸奈、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第151回日本神経学会東海北陸地方会	2018.6.23
4	脳卒中、脳炎などの多彩な中枢神経症状を呈した血管内、リンパ腫の1例	○櫛谷香菜子、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第37回The Mt. Fuji Workshop on CVD	2018.8.25



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
5	節外性NK/T細胞リンパ腫とびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の同時発生	○長井伸、千賀潤二、鈴木奈留子、高木雄介、成田道彦、鏡味良豊	第80回日本血液学会学術集会	2018.10.13
6	奇前大脳動脈の解離により脳梗塞と脳出血を認めた一例	○長井伸、森悠、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第152回日本神経学会東海北陸地方会	2018.11.10
7	脊髄障害で発症し、PET-CTが診断の一助となった血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の1例	○近藤大也、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第152回日本神経学会東海北陸地方会	2018.11.10
8	腹腔鏡内視鏡合同手術を施行した十二指腸球部NETの一例	○緒方諒仁	第51回愛知臨床外科学会	2019.2.11
9	Chlamdophilia pneumoniae 感染に併発した腸間膜脂肪膜炎の1例	○長井伸、渡口賢隆、加藤誓子、西本泰浩	日本内科学会第237回東海地方会	2019.2.17
10	Tolosa-Hunt症候群を呈した下垂体卒中の1例	○馬場万里子、今井絵利華、田中かずみ、加藤誓子、渡口賢隆、西本泰浩、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	日本内科学会第237回東海地方会	2019.2.17
11	発症早期に陰性ミオクローヌスを主徴としたクロイツフェルト・ヤコブ病の1例	○馬場万里子、赤塚和寛、富田稔、伊藤瑞規、服部直樹	第153回日本神経学会東海北陸地方会	2019.3.2
12	脳梗塞との鑑別を要した脊髄硬膜外血腫2例の臨床検討	○佐藤萌美、伊藤瑞規、富田稔、赤塚和寛、森悠、服部直樹	第153回日本神経学会東海北陸地方会	2019.3.2

## 26) 放射線技術科

### 著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	Evaluation of Radiation Dose in Coronary Computed Tomography-Angiography Examinations: Using Organ dose and Effective dose	○Hideki Shibata, Yuya Kondo, Shinji Fukada, Yasuki Asada, Isao Kozawa	Radiation Physics and Chemistry
2	64列MDCTにおけるCoronary CT-Angiography検査の被ばく線量評価について—人体等価ファントムを用いた臓器線量と実効線量の推定—	○柴田英輝	藤田医科大学リポジトリ

### 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	異なる管電圧を用いた心z脳CT検査における被ばく線量評価について	○柴田英輝、近藤 佑哉、深田真司、浅田恭生、小澤功	第74回日本放射線技術学会総会学術大会	2018.4.12
2	心房細胞ABLに対してCryoRF使用時の術者・看護師被ばく線量の報告	○村山和宏、柴田貴行、浅野功一、鷹羽正悟、杉下雄大、小林晋也、小寺直人、阪口明、伊藤友障、小澤功	近畿心血管治療ジョイントライブ2018 KCLS 2018	2018.4.14
3	PET-CTをみよう！ここが気になるPET-CT	○柴田貴行	愛知県臨床検査技師会 血液検査研究班 講演会	2018.8.18
4	心房細胞に対するクライオアブレーション施行時の撮影管電圧変更前後に」における患者被ばく線量の報告	○村山和宏、柴田貴行、浅野功一、鷹羽正悟、杉下雄大、小林晋也、伊藤健二、小寺直人、阪口明、小澤功	CCT2018	2018.10.25

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
5	左心耳内の血栓評価を目的とした心臓CTの撮影プロトコルの検討	○鷹羽正悟	平成30年度西三技師会第2回研修会	2018.11.22
6	Iliac EVT時におけるESDについて、PCXMCを用いた場合と臨床値の比較 患者被ばく線量、組織臓器線量の把握	○村山和宏、小林晋也、小澤功	JET 2019	2019.2.23
7	Iliac 領域におけるCO2造影時の造影効果に影響を与える因子の基礎代謝	○小林晋也、柴田英輝、村山和宏、小澤功	JET 2019	2019.2.23

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	平成30年度 第1回厚生連新規採用者研修会	小澤 功	愛知県厚生連診療放射線技師会	2018.7.7
2	第13回東海造影CTゼミナール「頭頸部血管造影」	深田 真司	東海造影CTゼミナール	2019.3.3
3	SCENARIO CUSTOMER SUMMIT, 臨床を考慮したIPVの物理特性について	柴田 英輝	日立製作所	2019.3.9
4	平成30年度医療基礎コース「救急医療学(実習)」	深田 真司	日本診療放射線技師会	2019.3.10
5	Abbott Co-medical seminar	村山 和宏	アボット	2019.3.23

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	International session 座長 (chair person)	Hideki Shibata	第34回日本診療放射線技師学術大会	2018.9.22
2	座長	深田 真司	愛知県診療放射線技師会 第3回研修会	2018.11.10
3	座長	深田 真司	西三河地区診療放射線技師会 第2回研修会	2018.11.22
4	座長	深田 真司	第60回東海四県診療放射線技師学術大会	2019.2.3
5	座長	深田 真司	第30回愛知県診療放射線技師会 学術大会	2019.3.17

27) 臨床検査技術科

著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	ワンポイントアドバイス『鼻腔咽頭からの検体採取のポイント』	○加藤雄大	検査と技術

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	臨床的寛解達成時の関節エコー所見がその後の疾患活動性に与える影響について	○長坂日登美、金山康秀	第62回日本リウマチ学会学術集会	2018.4.26 ～ 28
2	病理検査室におけるホルマリンの適正管理	○田中浩一	第67回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13
3	愛知県における遺伝子検査の検査前フェーズに関する調査結果報告	○杉山裕衣	第67回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13



No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
4	当院若手技師の自己啓発への取り組み～緊急臨床検査士認定資格取得を例に～	○加藤雄大、長坂日登美中根生弥	第 67 回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13
5	ダニ媒介性感染症との鑑別に苦慮した非定型末梢性 T 細胞性リンパ腫の 1 例	○酒巻尚子、藤上卓馬熊谷美希末武祐介、松久保修、三澤千鶴、高嶋幹代、中根生弥	第 67 回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13
6	平成 29 年度中部圏支部医学検査学会「中高生向け進学支援ガイダンス」その 1 概要と生物化学検査体験ブース	○高井美帆、齊藤翠、有馬武史、林克彦、杉本恵子、中根生弥	第 67 回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13
7	平成 29 年度中部圏支部医学検査学会「中高生向け進学支援ガイダンス」その 3 病理細胞検査体験ブース	○末武祐介、鈴木康太、北島聖晃、川島佳晃、杉本恵子、中根生弥	第 67 回日本医学検査学会	2018.5.11 ～ 13
8	当院における MRSA 菌血症の臨床的背景と診療支援に向けての取り組み	○加藤雄大、杉山裕衣、永田悠起、塩谷厚代、内藤淳、長坂日登美、中根生弥	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
9	患者移乗時の技師負担の軽減への取り組み	○赤羽舞花、倉光敏行、下竹美由紀、永田篤志、長坂日登美、中根生弥	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
10	ホルター心電図において緊急報告した症例の検討	○高本智史、下竹美由紀、永田篤志、長坂日登美、中根生弥	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
11	赤血球光溶血試験と赤血球蛍光試験が診断の一助となった骨髄性プロトポルフィリン症の一例	○藤上卓馬、酒巻尚子、鈴木康太、三澤千鶴、高嶋幹代、中根生弥、梶田光春	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
12	総蛋白異常低値を契機に発見された M 蛋白血症の一例	○高井美帆、岡松友美子、鈴木梢、高嶋幹代、中根生弥	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
13	当院における輸血後感染症実施率向上への取り組み	○松井貴弘、木村有里、高嶋幹代、中根生弥	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
14	右鎖骨窩皮膚腫瘍に発生した分泌癌 (Secretory carcinoma) の一例	○宮島里枝、鈴木康太、加納由美、黒木雅子、田中浩一	東海連合会例会	2018.9.6
15	胸水から非チフス性 Salmonella 属菌を検出した 1 例	○永田悠起、加藤雄大、杉山裕衣、塩谷厚代、長坂日登美、中根生弥	第 43 回 日本医用マスペクトル学会年会	2018.9.6 ~ 7
16	当院における整形外科領域 術中モニタリングの現状と今後の課題	○林健太、高本智史、下竹美由紀、永田篤志、長坂日登美、中根生弥	第 57 回日臨技中部圏支部 医学検査学会	2018.11.23 ～ 25
17	ホルター心電図におけるパニック値報告症例の検討	○高本智史、下竹美由紀、永田篤志、長坂日登美、中根生弥	第 57 回日臨技中部圏支部 医学検査学会	2018.11.23 ～ 25
18	当院小児における MRSA の現状	○加藤雄大、永田悠起、杉山裕衣、塩谷厚代、長坂日登美、中根生弥	第 7 回小児診療多職種研究会	2018.11.24 ～ 25
19	検査機器の変遷と人材育成	○中根生弥	生物試料分析科学会・愛臨技生物化学検査研究会	2018.12.1

## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	症例検討会（貧血編）	酒巻尚子	愛知県臨床検査技師会血液研究班研究会	2018.5.19
2	病棟臨床検査技師の実践とその先	中根生弥	アボットジャパン（株）名古屋支店	2018.6.15

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
3	病棟臨床検査技師の実際	中根生弥	平成 30 年度第 54 回日本赤十字社 臨床検査技師業務研修会	2018.6.23
4	関節エコーを始める前に	長坂日登美	関節リウマチエコーセミナー	2018.7.3
5	初心者の登竜門 GPC 耐性菌の巻 実習のまとめ・ねらい	永田悠起	平成 30 年度微生物研究班基礎講座	2018.9.9
6	RA 診療における関節エコー検査	藤田啓介	第 1 回 RA BETTER 研究会	2018.11.7
7	平成 30 年度愛臨技サーベイ解説 (腹部・表在エコー)	藤田啓介	愛知県臨床検査技師会生理検査研究班研究会	2019.1.19

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	中根 生弥	第 67 回日本医学検査学会	2018.5.12 ～ 13
2	座長	鈴木 梢	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
3	座長	永田悠起	第 18 回愛知県医学検査学会	2018.7.1
4	座長	中根 生弥	西三河救急セミナー	2018.9.21
5	座長	中根 生弥	第 50 回 日本臨床検査自動化学会	2018.10.11 ～ 13
6	座長	中根 生弥	平成 30 年度 愛臨技スキルアップ研修会	2019.2.3
7	座長	中根 生弥	第 29 回 生物試料分析科学会年次学術集会	2019.2.9 ～ 10

28) リハビリテーション技術科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	当院嚥下チームの活動報告～摂食嚥下アセスメントシートの作成とこれからの展望～	○荻野周作、渡口賢隆、林真千子、岩谷奈央子	第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2018.9.9
2	大腿骨頸部骨折により人口骨頭置換術を施行した 50 代女性の一例	○今村祐介	愛知県理学療法士学会 生涯学習部症例検討会	2019.3.3

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	「のぼそう！健康寿命」	板倉美佳	J A あいち豊田 ふれあい振興部 北部地域 (猿投支店)・当院企画室	2018.7.27
2	多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会	佐藤太亮・山下宗大・日高範久	公益社団法人 愛知県臨床検査技師会	2018.10.28
3	臨床に生きる！訪問リハビリ入門	中根裕基	一般社団法人 国際統合リハビリテーション協会	2019.3.21



## 29) 臨床工学技術科

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	VT storm に対して星状神経節光線療法が効果的であったと思われる症例	○沖島正幸、中前健二、兵藤好行、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、太田委住、谷亮太、遠藤泉樹	第 28 回日本臨床工学技士会	2018.5.26
2	臨床工学技士による内視鏡業務への新規参入と今後の展望	○西山和芳、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、谷亮太、太田委住、谷亮太、遠藤泉樹	第 28 回日本臨床工学技士会	2018.5.26
3	整形外科手術領域への新奇参入に向けた当院臨床工学技士の取り組み	○近藤浩史、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、太田委住、谷亮太、遠藤泉樹	第 28 回日本臨床工学技士会	2018.5.27
4	HBO 施行突発性難聴症例における予後因子の検討	○中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、太田委住、谷亮太、遠藤泉樹	第 28 回日本臨床工学技士会	2018.5.27
5	甲状腺クリーゼに対して選択的血漿交換が有用であった 1 例	○太田委住、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、谷亮太、遠藤泉樹	第 28 回日本臨床工学技士会	2018.5.27
6	CHDF に CE が関わる意義～当院のこだわり～	○中前健二	第 13 回東海 CHDF 技術検討会	2018.8.4
7	心外膜アプローチでカテーテルアブレーションを行った Brugada 症候群の 1 例	○小川正博、沖島正幸、近藤浩史、藤井夕貴、西山和芳	第 67 回日本農村医学会学術総会	2018.10.11
8	アンケート調査に基づく東海・北陸地区における持続血液浄化療法の現状	○中前健二	第 67 回日本農村医学会学術総会	2018.10.12
9	当院における遠隔モニタリングシステム運用の反省点	○沖島正幸、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、太田委住、谷亮太、遠藤泉樹	第 67 回日本農村医学会学術総会	2018.10.12
10	Score map を活用した流出路起源特発性心室不整脈アブレーションの 2 例	○辻川圭亮、篠田政典、金子鎮二、窪田龍二、大橋大器、藤田雅也、豊陽佑、鈴木淳也、鈴木伯征、堀仁美、足立健太郎	日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018	2018.11.10
11	高気圧酸素治療件数増加への取り組み	○佐野公俊、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、太田委住、遠藤泉樹	第 19 回 中部臨床工学会 in 岐阜	2018.11.25
12	当院での HBO に対する業務改善と過去 3 年間の実績	○西山和芳、兵藤好行	第 53 回日本高気圧環境・潜水医学会	2018.12.1
13	当院の遠隔モニタリングシステムの取り組み	○辻川圭亮、金子鎮二、藤田雅也	第 11 回植込みデバイス関連冬季大会	2019.2.16



会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	司会	沖島 正幸	第 6 回 JaSECT 東海地方会学術セミナー	2018.6.16
2	会長・司会	中前 健二	第 13 回東海 CHDF 技術検討会	2018.8.4
3	座長	中前 健二	第 19 回日本臨床工学会 in 岐阜	2018.11.24
4	座長	酒出 篤弥	第 42 回日本体外循環技術医学会 / 東海地方会	2019.1.26
5	座長	中前 健二	第 1 回チームで行う安全な輸液・栄養に関する研究会	2019.3.2

30) 栄養科

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	2 型糖尿病患者への基礎カーボカウントの効果について	○江口真奈美	第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会	2019.1.11 ～ 13

31) 薬剤部

著書・論文

No.	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	非ホジキンリンパ腫患者に対する CHOP 療法に伴う発熱性好中球減少症の 1 次予防におけるペグフィルグラスチムの費用対効果	○近藤有、杉本智哉、一木万奈美、荒川裕貴、間瀬広樹、牛腸沙織、佐久間昌基、小山佐知子、大島有美子、宮崎雅之、築山郁人、佐藤由美子、久田達也、板倉由縁、山田清文	医療薬学 2018 年 44 巻 9 号、441-448
2	レゴラフェニブにより薬剤性急性性膀胱炎を発症した 1 例	○近藤有、堀貴洋、横山尚美、榊原崇芳、加藤潤、平岩いずみ、酒井幹康、森田清	日本病院薬剤師会雑誌 2018 年 54 巻 12 号、1483-1487
3	悪性リンパ腫患者に対する CHOP 療法に伴う悪心・嘔吐におけるアプレピタントの有用性に関する検討	○近藤有、江尻将之、間瀬広樹、宮崎雅之、荒川裕貴、築山郁人、佐藤由美子、大島有美子、小山佐知子、牛腸沙織、横山聡、町支優和、佐々木英雄、壁谷めぐみ、久田達也、板倉由縁	日本病院薬剤師会雑誌 2019 年 55 巻 3 号、279-285

学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	新規血糖測定器 FREE STYLE リブレの導入について	○松田詩乃	平成 30 年度第 2 回愛知県厚生連薬剤師会相互啓発研修会	2018.9.15
2	当院集中治療室における薬剤師業務の現状と課題	○戸田州俊、中尾圭介、藤森和則、中村治彦、三宅芳男	第 67 回日本農村医学会学術集会	2018.10.10
3	プラスグレル内服患者による出血リスクの要因検討	○加藤恭平、酒井幹康、中尾圭介、三宅芳男	第 28 回日本医療薬学会年会	2018.11.23
4	がん化学療法施行患者における救急外来受診の実態調査	○横山美里、榊原崇芳、間瀬悟、佐々木英雄、三宅芳男	第 28 回日本医療薬学会年会	2018.11.23
5	小児抗菌薬適正使用支援加算が経口抗菌薬使用動向に与える影響の調査	○酒井幹康	第 34 回日本環境感染学会総会・学術集会	2019.2.22



## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	講演会名：【健康づくり講演会】 くすりって一体なんだ？ ～うまく付き合うには相手をよく知ることが大事～	井上 健	豊田厚生病院 地域医療福祉連携部 浄水交流館	2018.6.23
2	講演会名：【平成30年10月薬剤師勉強会】 緩和ケアで使用される薬剤の使い方、考え方	近藤 有	豊田加茂薬剤師会	2018.10.10
3	講演会名：【第6回中部実践感染対策セミナー】 (各施設における抗菌薬適正使用支援加算対応の実際と課題) 当院における抗菌薬適正使用支援加算対応の実際と課題 - 市中病院の薬剤師の視点から -	酒井 幹康	愛知県病院薬剤師会ほか	2019.1.6

## 32) 看護部

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	外来トリアージの現状と今後の課題	○池田秀子	第20回日本救急看護学会学術集会	2018.10.18
2	せん妄や疼痛コントロールに難渋する患者の「家に帰りたい」希望を支える在宅療養に繋がられた1例	○近藤久美子、齋藤靖子、井口多恵子、安井円、渡部恵、蟹江恭和、小島康裕、村松雅人	第1回日本緩和医療学会東海・北陸支部学術大会	2018.11.3

## 33) 地域医療連携福祉部

## 学会・研究会

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	訪問看護師が認識する筋委縮性側索硬化症療養者の終末期における在宅療養継続の障害 / ～人口呼吸器を希望しない療養者に焦点を当てて～	○古賀智美、池田美穂、伊藤美由起、畠中京子	第49回日本看護学会一在宅看護一学術集会	2018.7.28

## 34) 健康管理室

## 講演会等講師

No.	演題名	発表者及び共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	第12回乳房超音波技術講習会 乳房超音波検査用語「腫瘍」 カテゴリー診断樹に即した診断法「腫瘍」	浦野 美和子	日本乳がん検診精度管理中央機構	2019.3.16 ～ 17

## 2. 院内研修活動

### 1) 全体講演会・全体発表会

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
1	第3回褥瘡予防対策委員会全体講演会「医療関連機器圧迫創傷について」	コンバテック ジャパン株式会社 赤井澤淳子 氏	褥瘡予防対策委員会	2018.05.24
2	第28回医療安全全体講演会「症例から学ぶ医療安全」	副院長 服部直樹	医療安全対策委員会	2018.07.10
3	第5回医療倫理全体講演会「生命倫理の基礎と終末医療の在り方」	藤田医科大学 医学部倫理学教授 佐藤芳 氏	治験倫理審査委員会	2018.07.31
4	第1回コンプライアンス全体委員会「SNS 情報漏洩」「守秘義務違反」	DVD 研修	コンプライアンス委員会	2018.09.03 ～04
5	第1回認知症サポート委員会全体講演会「せん妄と認知症について」「認知症とのかかわり方」	精神科代表部長 前川和範 看護係長 石川雅恵	治験倫理審査委員会	2017.8.30
6	第20回感染対策委員会全体講演会「安心のための感染対策、明日のためのAMR（AMR）対策」	トヨタ記念病院 感染症科部長 川端厚 氏	認知症サポート委員会	2018.09.14
7	第7回輸血療法委員会全体講演会「安全な輸血医療を目指して」	愛知医科大学輸血部 教授 加藤栄史 氏	感染対策委員会	2018.10.02
8	第1回ハラスメント・メンタルヘルスケア全体講演会「ハラスメント・メンタルヘルスケアについて」	(株) なごや産業医事務所 所長 新井孝典 氏	輸血療法委員会	2018.10.04
9	第1回防災対策委員会全体説明会	副院長 篠田政典	安全衛生委員会	2018.10.29
10	第16回患者サービス向上委員会全体講演会「組織活性化のためのアンガーマネジメント講座」	日本アンガーマネジメント協会 シニアファシリテーター 高田しのぶ 氏	防災対策委員会	2018.10.30
11	第14回保険診療委員会全体講演会「平成30年度診療報酬改定の影響と次回改定に向けて」	日本血液製剤機構 参事 谷川正明 氏	患者サービス向上委員会	2018.11.13
12	第22回豊田がんフォーラム「患者さんに早く死なせてくれと言われたら～もうひとつの苦痛、スピリチュアルペインと対応について～」	安城更生病院 緩和ケア内科代表部長・緩和医療センター長 足立康則 氏	保健診療委員会	2018.11.20
13	救命救急センター外来委員会全体講演会「ラピッド レスポンス システムについて」	三重大学医学部附属病院 救命センター 川本英嗣 氏	緩和ケア委員会	2018.11.21
14	第1回感染対策研修会	感染対策委員会	感染対策委員会	2018.12.13 ～14 2018.12.19 2018.12.25 ～26 2019.1.07～ 09
15	第10回臓器移植倫理委員会全体講演会「すべてが有難し～生きててよかった～」	NPO 法人 日本移植未来プロジェクト 理事 加藤みゆき 氏	臓器移植倫理委員会	2018.12.17

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
16	第17回院内学会発表会 かも学会	総合内科部長 西本康浩 臨床検査技術科 川上恵美 訪問看護ステーション 古賀智美 臨床工学技術科 遠藤泉樹	教育委員会	2019.01.18
17	第9回豊田地域緩和ケア交流会「在宅医療の実際 在宅緩和ケアを考える」	とくしげ在宅クリニックみかわ 院長 伊藤剛 氏	緩和ケア委員会	2019.01.30
18	第25・26回医療事故ワークショップ	弁護士法人 後藤・太田・立岡法律事務所 顧問弁護士 服部千鶴 氏	医療安全対策委員会	2019.02.02 2019.02.16
19	第15回保険診療委員会全体講演会「重症度、医療・看護必要度～当院の現状報告と今後について～」	医事課 柴田雅弘	保険診療委員会	2019.02.28
20	第23回豊田がんフォーラム「irAEマネジメントにおけるステロイド・免疫抑制薬の使い方～膠原病内科医の視点から～」	名古屋医療センター 膠原病内科 峯村信嘉 氏	化学療法委員会・がん診療連携推進委員会事務局	2019.03.04
21	第10回豊田感染症フォーラム「AS(抗菌薬適正使用支援)について」	名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部助教 森岡悠 氏	感染対策委員会	2019.03.05

## 2) 研究会・勉強会

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
1	第 73 回平成 30 年 4 月薬剤師勉強会「関節リウマチの薬物療法について」	リウマチ科部長 金山康秀	薬剤部	2018.04.12
2	第 1 回ボランティア合同研修会「健康いきいき体操」	豊田市ボランティア 鹿島ヘレン 氏	ボランティア委員会	2018.04.13 2018.04.20
3	第 140 回救急症例検討会	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2018.04.18
4	第 1 回平成 30 年度看護部全体研修会「看護部方針 平成 30 年度診療報酬改定に対して」	看護部長 阪口浩美 医事課長 加藤信也	看護部教育委員会	2018.04.20
5	第 13 回看護技術研修会（第 16 回地域連携勉強会）「急変対応～バイタルサインから異常をキャッチ～」	看護係長 吉田栄里	地域医療連携課	2018.04.25
6	第 45 回豊田厚生病院 ICLS 講習会「BLS/ モニター・電気ショック/ 気道管理など」	救命救急センター長兼救急科代表部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2018.04.29
7	第 14 回看護技術研修会（第 17 回地域連携勉強会）「急変対応～バイタルサインから異常をキャッチ～」	看護係長 吉田栄里	地域医療連携課	2018.05.31
8	第 3 回臨床研究セミナー「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の概説」	ビデオ講習会	治験倫理審査委員会	2018.06.05 2018.06.12 2018.06.13 2018.06.25
9	第 1 回豊田市学童指導員研修会（第 18 回地域連携勉強会）「アレルギーを持った小児への対応～エピペン操作～」	小児科 中西久美子	地域医療連携課	2018.06.12
10	第 74 回平成 30 年 6 月薬剤師勉強会「不整脈の薬物療法について」	循環器センター長 金子鎮二	薬剤部	2018.06.14
11	第 77 回 BLS/AED 講習会「1 次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	看護部 岩下香代、松本亜紀	救命救急センター 外来委員会	2018.06.14
12	第 141 回救急症例検討会「救急移送症例発表会」	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2018.06.20
13	第 15 回看護技術研修会（第 19 回地域連携勉強会）「アレルギーを持った小児への対応～エピペン操作～」	小児科 中西久美子	地域医療連携課	2018.06.28
14	第 16 回看護技術研修会（第 20 回地域連携勉強会）「スキントラブル・おむつのあて方」	看護課長 林真千子 看護部 福岡沙織	地域医療連携課	2018.07.04
15	第 1 回愛知厚生連診療放射線技師会 新人研修会	愛知厚生連診療放射線技師長	厚生連診療放射線 技師会	2018.07.07
16	第 46 回豊田厚生病院 ICLS 講習会「BLS/ モニター・電気ショック/ 気道管理など」	救命救急センター長兼救急科代表部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2018.07.14
17	第 20 回第 2 回ボランティア合同研修会「骨粗鬆症について」	整形外科 稲垣弘進	ボランティア委員会	2018.07.26

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
18	第17回看護技術研修会（第21回地域連携勉強会）「スキントラブル・おむつのあて方」	看護課長 林真千子 看護部 福岡沙織	地域医療連携課	2018.08.02
19	第4回乳腺勉強会（第22回地域連携勉強会）「画像と病理の対比」	副院長 久留宮康浩 病理診断科代表部長 成田道彦 外科 丹羽多恵	外科（地域医療連携課事務局）	2018.08.08
20	第75回平成30年8月薬剤師勉強会「肝炎ウイルス治療について」	顧問 西村大作	薬剤部	2018.08.09
21	第142回救急症例検討会	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2018.08.22
22	第1回看護技術研修会（第23回地域連携勉強会）「スキントラブル・おむつのあて方」	看護課長 林真千子 看護部 福岡沙織	地域医療連携課	2018.08.30
23	第18回看護技術研修会（第22回地域連携勉強会）「スキントラブル・おむつのあて方」	看護課長 館向幸子 看護係長 浅井陽子 看護部 泉あかね、中村智子、兼子祐香、今井洋子	地域医療連携課	2018.09.05
24	第1回医療機器講習会「院内にある医療機器の講習会」	臨床工学技術科技師長 中前健二 臨床工学技術科課長 兵藤好行、沖島正幸 臨床工学技術科係長 井上宏隆	臨床工学技術科	2018.09.10 2018.10.05
25	第78回BLS/AED講習会「3次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	看護部 岩永香、姉川夏未	救命救急センター 外来委員会	2018.09.13
26	新人職員研修	病院長 川口鎮 事務部長 近藤良夫 総務課長 池田真紀 庶務係長 織田ちづる 医療安全管理課長 浅野真奈美 看護部 駒井博子	教育委員会	2018.10.01
27	第76回平成30年10月薬剤師勉強会「緩和ケアで使用される薬剤の使い方、考え方」	薬剤部 近藤有	薬剤部	2018.10.11
28	第143回救急症例検討会	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2018.10.17
29	第19回看護技術研修会（第23回地域連携勉強会）「スキントラブル・おむつのあて方」	看護課長 館向幸子 看護係長 浅井陽子 看護部 泉あかね、中村智子、兼子祐香、今井洋子	地域医療連携課	2018.10.25
30	第4回がん看護基礎研修会「第4回がん看護基礎研修会」	薬剤部医薬情報室病棟業務課長 間瀬悟 看護課長 古橋美直子、林真千子 看護係長 中王子美保、吉田栄里、佐藤修秀 看護部 藤本歩、古賀智美、安居円	がん診療連携推進委員会	2018.10.27 ～28
31	第1回平成30年度放射線講習会「放射線業務従事者の教育訓練」	放射線技術科 小林晋也	放射線技術科	2018.11.01

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
32	第5回乳腺勉強会(第28回地域連携勉強会)「画像と病理の対比」	副院長 久留宮康浩 病理診断科代表部長 成田道彦 外科 丹羽多恵	外科(地域医療連携課事務局)	2018.11.07
33	第3回ボランティア合同研修会「最近流行の感染症対策」	看護部 駒井博子	ボランティア委員会	2018.11.13
34	第47回豊田厚生病院 ICLS 講習会	救命救急センター長兼救急科代表部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2018.11.18
35	第20回看護技術研修会(第26回地域連携勉強会)「経路別感染予防」	看護部 駒井博子	地域医療連携課	2018.11.21
36	第21回看護技術研修会(第27回地域連携勉強会)「経路別感染予防」	看護部 駒井博子	地域医療連携課	2018.11.29
37	第2回介護技術研修会(第29回地域連携勉強会)「STOP!感染拡大」	看護部 駒井博子	地域医療連携課	2018.12.05
38	第77回平成30年12月薬剤師勉強会「骨吸収抑制剤と顎骨壊死(ARONJ)」	歯科口腔外科 兼子隆次	薬剤部	2018.12.13
39	第79回BLS/AED講習会「2次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストラーション」	看護部 彦坂みち子、藤崎裕子	救命救急センター 外来委員会	2018.12.13
40	第144回救急症例検討会	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2018.12.19
41	第48回豊田厚生病院 ICLS 講習会「BLS/モニター・電気ショック/気道管理など」	救命救急センター長兼救急科代表部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2019.01.14
42	第1回居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション研修会「がん患者の在宅療養の検討～化学療法の副作用に対するサービスの介入の事例を通して～」	看護係長 森めぐみ、中王子美保 看護部 渡部恵、小島尚美、原奈緒	地域医療連携課	2019.01.24
43	第78回平成31年2月薬剤師勉強会「パーキンソン病の薬物療法について」	副院長 服部直樹	薬剤部	2019.02.14
44	第145回救急症例検討会	副院長 篠田政典	救命救急センター 外来委員会	2019.02.20
45	第16回大腿骨頸部骨折地域連携パス合同会議「大腿骨頸部骨折地域連携パスの実績報告 豊田厚生病院の取り組み」	整形外科 長田直祥 看護部 宮川聖子	地域医療福祉連携部 地域医療連携課 在宅支援コーディネーター	2019.03.01
46	平成30年度豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同CPC「症例1:心筋梗塞にてPCI後、発熱が続いた70代男性」「症例2:尿管結石砕石後、数日後突然死亡した60代女性」	血液内科病棟部長 平賀潤二 泌尿器科内視鏡部長 宇佐美 雅之	内科・地域医療連携課	2019.03.13
47	第80回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストラーション」	看護部 小関育美、齋藤瑞穂	救命救急センター 外来委員会	2019.03.14
48	平成31年度新入職員オリエンテーション	豊田厚生病院職員	教育委員会	2019.03.29



### 3. 市民講座・市民公開講座（一般市民対象講座）

No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
1	平成30年度新入職員研修	豊田厚生病院職員	教育委員会	2018.04.03 ～4
2	第90回がんサロン煌「がんサロン7年間の実績報告」	医療福祉相談課 八木隆太	がん相談支援センター	2018.04.21
3	第35回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 岩本拓郎、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.04.26
4	第91回がんサロン煌「乳がんについて」	副院長 久留宮康浩	がん相談支援センター	2018.05.19
5	第36回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 岩本拓郎、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.05.24
6	第61回糖尿病バイキング教室	内分泌・代謝内科部長 澤井喜邦 栄養科 飯田直樹	栄養科	2018.06.13
7	第92回がんサロン煌「乳房再建について」	形成外科代表部長 川端明子	がん相談支援センター	2018.06.16
8	第37回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.06.28
9	第40回在宅酸素療法 ひまわり会総会	リハビリテーション科 鈴木香奈 広久手町太鼓クラブ 大高知華子	在宅酸素療法患者会 ひまわり会	2018.07.07
10	第93回がんサロン煌「がん治療と食事」	栄養管理課長 小林憲司	がん相談支援センター	2018.07.21
11	第38回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.07.26
12	第94回がんサロン煌「肺がんについて」	呼吸器内科 二村圭祐	がん相談支援センター	2018.08.18
13	第39回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.08.23
14	第25回腎臓病教室	腎臓内科 重本絵実 臨床工学技術科技師長 中前健二 栄養科 日比祥代	栄養科	2018.09.12
15	第95回がんサロン煌「放射線治療について」	看護部 松原路子	がん相談支援センター	2018.09.15
16	第36回肝臓病教室「肝臓の病気はどう変わる？」	顧問 西村大作 栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 後藤美紗	栄養科	2018.09.26
17	第40回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.09.27



No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
18	第22回市民公開講座「食欲の秋 忍び寄る糖尿病合併症 ☆し・め・じ☆を見逃すな！～眼科受診、足のフットチェックを～」	内分泌・代謝内科病棟部長 加藤大也 眼科代表部長 山田麻理 看護部 鈴木泰子	教育委員会	2018.10.06
19	第9回肥満教室	内分泌内科 加藤大也 栄養科 金子広奈	栄養科	2018.10.18
20	第96回がんサロン煌「抗がん剤の副作用～薬剤師からのワンポイントアドバイス～」	薬剤部医薬情報室病棟業務課長 間瀬悟	がん相談支援センター	2018.10.20
21	第41回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.10.24
22	第97回がんサロン煌「アドバンスケアプランニングについて～もしもの場合について話し合しましょう～」	緩和ケア内科代表部長 村松雅人	がん相談支援センター	2018.11.17
23	第42回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.11.28
24	第7回がんを考える市民公開講座「肺がんの予防と新しい治療薬について」「肺がんの外科治療と術後の地域連携～体に優しい手術を目指して～」	呼吸器内科病棟部長兼アレルギー科病棟部長 青山昌広 呼吸器外科代表部長 平松義規	がん診療連携推進委員会	2018.12.01
25	第62回糖尿病バイキング教室	内分泌内科 澤井喜邦 看護部 小森正子 栄養科 近藤早	栄養科	2018.12.12
26	第62回糖尿病バイキング教室	内分泌・代謝内科代表部長 澤井善邦 看護部 鈴木泰子 栄養科 近藤早	栄養科	2018.12.12
27	第97回がんサロン煌「在宅における訪問看護」	豊田厚生訪問看護ステーション 古賀智美	がん相談支援センター	2018.12.15
28	第42回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2018.12.19
29	第99回がんサロン煌「がん免疫療法について」	消化器内科代表部長 都築智之	がん相談支援センター	2019.01.19
30	第44回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2019.01.24
31	第6回健診スクール「心不全の大流行がやってくる？～心不全を知って、予防・治療をしよう～」	副院長 篠田政典	健康管理室	2019.02.08
32	第100回がんサロン煌「緩和ケア病棟見学会」	緩和ケア認定看護師 安居円	がん相談支援センター	2019.02.16



No.	題名	講師	主催部署 主催委員会	開催日
33	第6回1型糖尿病教室「塩分カットでおいしく料理」	内分泌・代謝内科病棟部長 加藤大也 薬剤部 田端祐莉香 看護部 鈴木泰子	栄養科	2019.02.16
34	第26回腎臓病バイキング教室	腎臓内科 吉岡知輝 栄養科 杉浦彩紀	栄養科	2019.02.27
35	第45回病院食ワンポイントアドバイス「糖質カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2019.02.28
36	第101回がんサロン煌「医療用ヴィットグと外見ケアについて～メイク、爪のケア、頭皮のケアについて～」	株式会社スヴェンソン 毛髪技能士 田澤直子	がん相談支援センター	2019.03.16
37	第46回病院食ワンポイントアドバイス「塩分カットでおいしく料理」	栄養科技師長 岩田弘幸 栄養科 村瀬美咲、飯田直樹、牛田浩司	栄養科	2019.03.28

## 4. 学生実習等受入状況

### 1) 実習

受入部署	職種	学校数	実習人員	実習延人員
各診療科	大学医学部	4	51	56
薬剤部	大学薬学部	4	8	440
臨床検査技術科	臨床検査技師	3	6	148
リハビリテーション技術科	理学療法士	5	6	35
	作業療法士	3	2	22
	言語聴覚士	2	4	64
	小計	10	12	121
臨床工学技術科	臨床工学技士	5	15	80
栄養科	管理栄養士等	10	33	271
医療福祉相談課	社会福祉士	2	3	33
看護部	短期大学・大学・専門学校	5	250	7,010
訪問看護ステーション	看護師等	4	26	124
地域包括支援センター	看護師等	1	2	4
居宅介護支援事業所	看護師等	1	1	3
医事課／情報システム課	診療情報管理士等	3	4	25
救命救急センター	救急救命士・消防士等	5	18	158
保育所	看護師	1	36	84
合計		58	465	8,557

### 2) 職場体験・見学

学校別	件数	実習人員	実習延人員
大学・専門学校等	11	22	186
高等学校	5	92	92
中学校	18	39	68
合計	34	153	346

## IV 委員会活動

---



## 1. 委員会一覧

H 31 年 3 月末現在

名 称	設置 年月日	目的	開催回数
栄養食事委員会（法）（保）	S63.4.1	豊田厚生病院の行う患者の食事療養と及び、賄食に関する必要な事項を検討協議する	4 回
治験倫理審査委員会（法）	H9.4.1	委員会は病院長の諮問に応じ、審査の対象とされる治験及び臨床研究等が倫理的及び科学的に妥当であるかを審査することを目的とする。医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議及び検討することを目的とする	6 回
輸血療法委員会	H10.6.1	「輸血療法の適正化に関するガイドライン」に示された望ましい輸血の管理体制に基づいた適切な輸血療法を推進する（厚生省健康政策局通知健政発第 502 号、平成元年 9 月 19 日制定「輸血療法の適正化に関するガイドライン」）	6 回
臓器移植倫理委員会	H14.4.1	医の倫理に基づき検討し、適正に実施する（平成 9 年法律第 104 号臓器移植に関する法律（平成 9 年 10 月 16 日施行））	7 回
診療録管理委員会（保）	H12.4.20	豊田厚生病院の診療録（電子カルテ含む）および印刷物に関する事項について協議し、診療録の内容の向上と適切な管理を行う	12 回
研修管理委員会（法）	H11.5.1	豊田厚生病院および関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理する	3 回
臨床研修委員会（法）	H27.4.1	研修医がプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、『患者に適切な医療を提供』できるようになる為に、臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	12 回
歯科医師研修管理委員会（法）	H24.4.1	歯科研修医が『歯科医師として患者を全人的な視点に配慮した上で、基本的・総合的な臨床能力を修得し、患者や家族の信頼に応じられる姿勢を身に付ける』ことを主旨として、歯科医師臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	2 回
栄養サポート委員会	H15.5.1	入院患者の栄養の評価と栄養改善に関する提言を行い、栄養教育を支援する	12 回
褥瘡予防対策委員会	H15.5.1	入院患者の褥瘡の発生の予防をし、既造の褥瘡の治療を集約的に行う	6 回
摂食・嚥下推進委員会	H16.4.1	豊田厚生病院における摂食・嚥下障害を有する患者の機能評価および機能回復の推進に関する事項について協議する	12 回
クリニカルパス委員会	H11.8.6	医療資源の効率的な活用と医療の質の向上を図り、クリニカルパスの作成とその運用についての協議を行い、病院の発展に寄与する	12 回
化学療法委員会	H15.10.17	豊田厚生病院の化学療法の安全かつ適正な運用を図り、診療内容の向上に寄与する	12 回
緩和ケア委員会	H16.4.1	患者の QOL に配慮して様々な苦痛や症状の緩和を図ることを検討し、緩和医療の適応基準や緩和プログラムの具体的な支援について協議する	12 回
がん診療連携推進委員会	H19.4.1	患者や家族の相談にあたる他、がんに関する専門的、学術的または総合的な研究を推進するとともに、がんの予防、診断、治療等に係る技術の向上、その他、がん医療を提供する体制の整備を図る	6 回

診療関連

	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
診療関連	電子カルテ運用委員会	H20.2.1	豊田厚生病院における医療情報システムを円滑に運用する	6回
	認知症サポート委員会	H28.10.1	認知症の容態に応じた適時・適切な医療を提供するため、職員へ認知症患者のサポートに関する提言を行い、認知症対応能力の向上を目的とする	6回
広報・教育	教 育 委 員 会	H15.4.1	職員の知識および患者サービス向上を目的とする	12回
	ボ ラ ン テ ィ ア 委 員 会	H6.4.1	職員とボランティアの協議により、地域の人たちのための病院づくりの活動をする	6回
安全管理関連	防 災 対 策 委 員 会 ( 法 )	H1.4.1	地震・火災・その他の災害が発生した場合に人的、物的被害を最小限に防止するため防災管理対策を徹底することを目的とする。また、災害拠点病院として常に行動できるよう調整する。	12回
	医療ガス安全管理委員会(法)	H2.4.1	医療ガス(医療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する	2回
	廃棄物管理委員会(法)	H10.8.1	病院としての特殊性に鑑み、廃棄物処理法及び廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに従って、主として感染性廃棄物を中心に、加えて一般廃棄物および産業廃棄物について、厚生連廃棄物処理規程に基づき必要な事項を定め、適正な処理を確保し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上、推進を図る	1回
	感 染 対 策 委 員 会 ( 保 )	H3.4.1	豊田厚生病院における院内感染防止に関する事項について協議し、感染対策を立案、実施する	12回
	医療安全対策委員会(保)	H12.4.1	医療事故・再発防止・対策などを検討及び具体化して、患者に安全で質の高い医療を提供する	12回
	医療事故防止対策委員会	H14.4.1	重大な医療事故への具体的対応を行い、併せて再発防止策を検討し、患者に安心と安全な診療を提供する	1回
	虐 待 対 応 委 員 会	H12.11.1	この委員会は、子ども虐待、高齢者虐待、障害者虐待、配偶者暴力(DV)の予防及び早期発見と被虐待児、被虐待者の救済を目的とする	6回
	透析機器安全管理委員会(保)	H22.4.1	血液浄化療法を安全に運用するため、関連機器の管理ならびに使用する透析液水質管理をする	3回
	コンプライアンス委員会	H25.4.1	この委員会は、コンプライアンスに関する意識の向上とコンプライアンス態勢の確立を図ることを目的とする	4回
業務改善	患者サービス向上委員会	H13.2.6	医療はサービス業であるとの認識を持って患者により良いサービスを提供する	12回
	業 務 分 担 推 進 委 員 会	H24.4.1	病院勤務医、看護職員・負担の軽減及び処遇の改善を検討することを目的とする	3回
経営関連	薬 事 委 員 会	S55.4.22	医薬品その他薬品の管理、適正使用、医療内容の向上および病院経営の発展に寄与する	6回
	医 療 材 料 委 員 会	H16.4.1	医療材料・検査試薬の管理及び適正合理化を図り、医療内容の向上、病院経営の発展に寄与する	6回
	購 買 委 員 会	H8.12.12	事業年度における固定資産枠内取得品目の選定を適正かつ円滑に行う	1回
	保 険 診 療 委 員 会	H12.4.1	診療報酬の効率的な算定、返戻・査定減に関する事項、DPCの運用、適切なコーディングに関する事項および病床管理について協議を行い、病院診療の運営に寄与する	6回

	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
各部門運営関連	放射線安全委員会（法）	H60.10.1	法律に基づき、放射線発生装置の取扱による放射線障害の発生を防止すると共に、公共の安全を確保する	1回
	中央放射線部運営委員会	H13.6.1	中央放射線部の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し、病院の発展に寄与する	6回
	臨床検査運営委員会（保）	H12.4.1	臨床検査の適正な活用と臨床検査の質の向上を目的とする	6回
	救命救急センター外来委員会	H15.4.8	救命救急センター外来に係る諸問題を検討し、円滑な救急医療ができる体制を整える	12回
	救命救急センター病棟委員会	H15.4.1	豊田厚生病院におけるICU・HCUの利用状況を把握し、問題点などを検討及び協議する	6回
	中央手術室運営委員会	H14.4.1	手術室の運営に関わる諸問題を検討し、円滑な手術室の運営ができる体制を整える	7回
	外来運営委員会	H20.9.26	外来の運営に関わる諸事項を検討し、円滑な外来診療ができる体制を整える	6回
	入退院支援センター運営委員会	H24.8.1	術前検査センターの円滑な運営に資する	12回
	供給委員会	H27.10.1	豊田厚生病院における薬品、医療材料及び物品の適正な供給と管理を目的とする	5回
職員関連	安全衛生委員会（法）	H1.4.1	豊田厚生病院における職員の安全と健康を確保し、業務の向上と円滑な遂行を図る	12回
	保育委員会（法）	H5.4.1	愛知県健康性農業協同組合連合会 保育所管理要領第4条第3項の規程に基づき、院内保育所、病児保育室、小児病棟、その他附帯する業務の円滑な運営を行う	6回
	総務委員会（法）	H10.4.1	愛知県厚生農業協同組合連合会の規程改訂及び病院業務運営の改善向上に関する意見を集約し病院長に具申する	2回
	厚生委員会	H10.8.1	職員の親睦ならびに資質の向上と、健全明朗な環境を作り上げ、豊田厚生病院の繁栄に寄与する	12回
	人事考課制度推進委員会	H12.4.1	事業所における人事考課制度の実施・推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図る	2回
	看護職確保対策委員会	H25.4.1	看護職の確保に係ることについて検討することを目的とする	12回
特別	病院機能評価受審準備委員会	H15.4.1	病院機能評価の受審を通じ、より良い病院機能の知識・確立を図ることを目的とする	9回
	病院祭実行委員会	H21.2.16	病院祭の開催を目的とする	1回

(法)：法律に基づく設置

(保)：診療報酬に基づく設置



豊田厚生病院 平成 30 年度年報

2020 年 1 月 発行

発行・編集 愛知県厚生農業協同組合連合会  
豊田厚生病院

〒 470 - 0396

愛知県豊田市浄水町伊保原 500 - 1

Tel (0565) 43 - 5000

印刷部数 290 部

印 刷 株式会社 上郷印刷



JA愛知厚生連

豊田厚生病院

TOYOTA KOSEI HOSPITAL